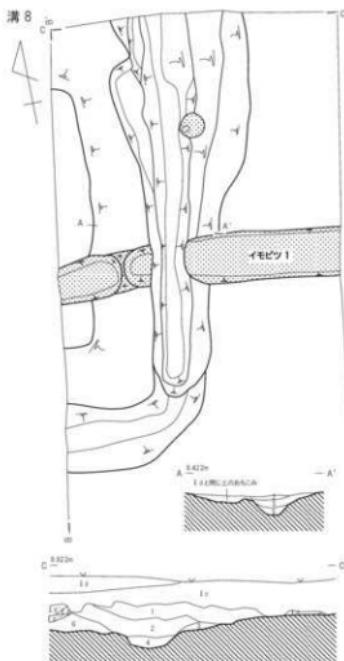


溝7

- 1a. 緑褐色土 細粒質、粘性有、ロームブロック、10mm以下礁多く含む、プラスチック含む
- 1b. 緑褐色土 細引強、粘性有、灰色味あり、5mm以下ローム粒、15mm大ロームブロック少し含む
- 1c. 北部付近にあり、北部付近は、H31住居近く同様にロームブロック・ローム粒さらに少なく、60mm以下黒色土ブロック混ざる、耕作土
- 1d. 黒褐色土 細引強、粘性有、50mm以下ロームブロック多く、5mm以下ローム粒やや多く含む、旧耕作土
1. 黒色土 細引強、粘性有、1mm以下ローム粒約一に少し含む
2. 緑褐色土 細引強、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く含む
3. 黑褐色土 細引強、粘性有、2mm以下ローム粒をやや多く含む、10mm大ロームブロック少し含む
- 3'. 黑褐色土 細引強、粘性有、5mm以下ローム粒を3層より多く含み、全体の色調明るい
- 3". 黑褐色土 細引強、粘性有、色調は3'よりも3層に近い、3mm以下ソフ質のローム粒やや多く含む
- 3''. 黑褐色土 細引強、粘性有、5mm以下ローム粒を3層より多く含む、5~40mmロームブロック少しある
4. 緑褐色土 細引強、粘性有、灰色味あり、2mm以下ローム粒やや多く含む
5. 緑褐色土 細引強、粘性有、黒褐色土分を含み、全体の色調は4層より明い、3mm以下ローム粒を多く、5~10mmロームブロック少し含む
6. 緑褐色土 細引強、粘性有、20mm以下ハードロームブロック多く、3mm以下ローム粒やや多く含む（ハードロームブロックは、明る褐色土と黒褐色土混ざる）
- 6'. 緑褐色土 細引強、粘性有、6層と同様ロームブロックを多く含むが、10~80mmと大きい風化土少し含む
7. 暗褐色土 細引強、粘性有、ロームを多く含み色調明るい、しかし黑色土を多く、2mm以下ローム粒やや多く（4~6層と比べ少）、5~10mm（重壓で40mm）ロームブロック少し含む、（8層と3~5'が混ざり合った様相）斑状
- 7'. 緑褐色土 細引強、粘性有、7層より黒褐色土を多く含む、5~20mmソフロームブロック、3mm以下ローム粒少し含む
- 7''. 黑褐色土 細引強、粘性有、類似する7'~7'層に暗層のよう挟まれる、5mm以下ローム粒少し含む
8. 稲葉褐色土 細引強、粘性有、ローム土、3mm以下ローム粒主体、30mm以下ソフ質の黒褐色土ブロック少し含む
9. 稲葉褐色土 細引強、粘性有、8層と同じローム土、3mm以下ローム粒主体だが、5~10mm以ロームブロックやや多く含む、20mm以下ソフ質の黒褐色土ブロック少し含む
10. 稲葉褐色土 細引強、粘性有、3mm以下ローム粒多く、5~30mmロームブロック少し含む
11. 稲葉褐色土 細引強、粘性やや弱、ローム土と5mm以下ローム粒主体、10~50mmロームブロックやや多く含む
12. 稲葉褐色土ベース 細引強、粘性有、50mm以下ロームブロック主体で細密な堆積

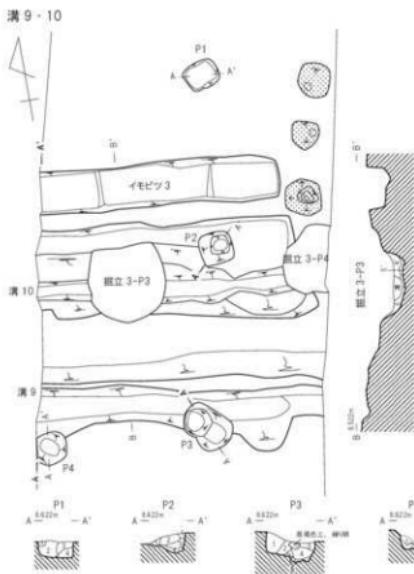
第76図 松山遺跡第45地点溝7 (1/100)



- 溝 8
1. 緑褐色土 細り強、粘性有。灰色味あり。5mm以下ローム粒・15mm大ロームブロック少し含む
 2. 緑褐色土 細り強、粘性有。灰色味あり。最大70mm 平均30mm以下ローム粒少し含む。北部分は、H31住村近くと同様にロームブロック・ローム粒などに多くなる。
 3. 緑褐色土 細り有。粘性有。5~60mmロームブロック多く含む。1d層に比べブロック少ない。旧耕作地
 4. 黒褐色土 細り強、粘性有。100mm以下ロームブロック多く、5mm以下ローム粒やや多く含む。旧耕作土
 5. 緑褐色土 細り有。粘性有。15mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む
 6. 黑褐色土 細り有。粘性有。20mm以下ロームブロック・ローム粒少し含む。1d層に似る
 7. 黑褐色土 細り強、粘性有。最大80mm、平均5~30mmロームブロックやや多く含む
 8. 緑褐色土 細り強、粘性有。5~80mm大型のロームブロック多く含む
 9. 緑褐色土 細り強、粘性有。5mm以下ローム粒やや多く含む。ロームブロックはない（北壁 seeでは、5~50mmロームブロックやや多く含む）
 10. 黑褐色土 細り強、粘性有。5~30mmロームブロック多く含む（1d層に似る）
 11. 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒やや多く含む。上部に5mm層で緑褐色土の水成堆積を2層はさむ

- 溝 9・10
1. 緑褐色土 細り強、粘性有。盛土。ローム土多く含む
 2. 緑褐色土 細り強、粘性有。耕作土。ロームブロック・ローム粒少し含む
 3. 黑褐色土 細り強、粘性有。20mm以下ロームブロックやや多く含む
 4. 黄褐色土 細り強、粘性有。ローム主体。斑状に黒褐色土が混ざる。旧耕作土
 5. 地山ローム
 1. 黑褐色土 細り強、粘性有。20mm以下ロームブロックやや多く含む。1c層より色調暗め
 2. 斑黄褐色土 細り強、粘性有。ローム土主体。斑状に黒褐色土含む
 3. 黑褐色土 細り有。粘性やや弱。10~50mmロームブロック多く含む。色調灰色がある

- ピット 1
1. 黄褐色土 細り強、粘性有。緑褐色土ベース。10mm以下ソフトロームブロック主体
 2. 黑褐色土 細り強、粘性有。10mm以下ソフトロームブロック少し含む
 3. 黑褐色土ベース 細り強、粘性有。ソフトロームブロック主体
 4. 黑褐色土ベース 細り弱い。粘性有。5~30mmロームブロック・ローム土主体



- ピット 2
1. 緑褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒やや多く含む
 2. 黑褐色土 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒少し含む
 3. 黑褐色土 細り弱。粘性有。15~50mmロームブロック・2mm以下ローム粒少し含む
 4. 黑褐色土 細り弱い。粘性有。2~10mmロームブロック・ローム粒多く含む
- ピット 3
1. 黑褐色土 細り強、粘性有。30~70mmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む
 2. 黑褐色土 細り弱い。粘性有。10mm以下ロームブロック・ローム粒やや多く含む
 3. 黑褐色土 細り強、粘性有。5mm以下ソフトローム粒多く含む
 4. 黑褐色土 細り強、粘性有。5~20mmソフトロームブロック・2mm以下ローム粒少し含む
 5. 黑褐色土ベース 細り強、粘性有。5~20mmロームブロック主体
- ピット 4
1. 黑褐色土 細り弱い。粘性有。しめ状の緑褐色土・2mm以下ローム粒少し含む
 2. 緑褐色土 細り有。粘性有。10~30mm黒褐色土ブロック少し含む

第77図 松山遺跡第45地点溝8～10・ピット (1/60)

第34表 松山遺跡第45地点遺構一覧表 (単位cm)

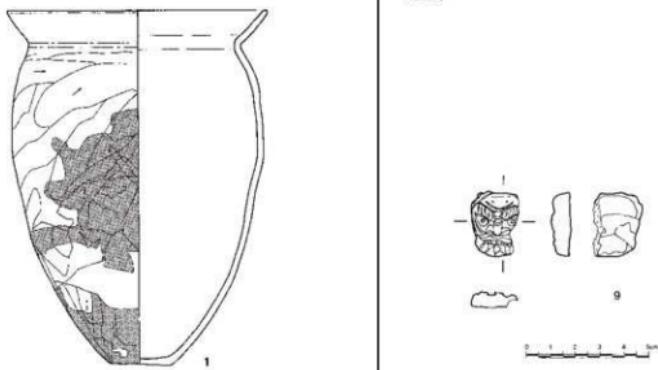
| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|---------|------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|----------------|------------------------|
| H34住P1 | 楕円形 | 33 × 28 | 7 × 5 | 26 | |
| H34住P2 | 楕円形 | 29 × 28 | 16 × 15 | 40 | |
| H34住P3 | 楕丸方形 | 18 × 18 | 14 × 10 | 16 | |
| H34住P4 | 楕円形 | 16 × 14 | 10 × 6 | 22 | |
| H34住P5 | 楕円形 | 25 × 18 | 6 × 5 | 34 | |
| 1号掘立柱P1 | 楕丸長方形 下段1:楕卵形 下段2:楕丸方形 | 125 × 100 84 × 47 54 × 42 | 110 × 90 79 × 33 32 × 21 | 49 67 54 | 暗褐色土と黄褐色土の交差堆積、板張 |
| 1号掘立柱P2 | 楕円形 | 97 × 69 | 74 × 56 | 34 | 22次調査開 |
| 1号掘立柱P3 | 楕丸方形 | 153 × | 127 × | 40 | 22次調査開 |
| | 下段(楕円) | 103 × 55 | 90 × 35 | 55 | |
| 3号掘立柱P1 | 楕円形 | 105 × 86 | 80 × 59 | 52 | 板張土(黒褐色土)中に柱頭 |
| | 柱頭 | 20 × | × | 43 | |
| 3号掘立柱P2 | 楕丸方形 | 95 × 83 | 53 × 53 | 45 | 板張土(黒褐色土)中に柱頭 |
| | 柱頭 | 32 × | × | 45 | |
| 3号掘立柱P3 | 楕丸方形 | 95 × 93 | 75 × 64 | 29 | |
| 3号掘立柱P4 | (楕丸方形) 柱頭 | 82 × 30 × | 63 × 108 × | 55 45 | 板張土(粘土)中に柱頭 (合)中に柱頭 |
| 溝1 | 直線、断面直状 | 78 ~ | 20 ~ 23 | 14 | 溝2、イモビ ツより新 |
| 溝2 | 直線、断面 延やかなV字 | 130 ~ | 10 ~ 15 | 36 | 溝1、3より 旧 |

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-------|---------------------|------------|------------|-----------------|-----------------------------|
| 溝3 | 直線、 断面V字 | 180 ~ | 10 ~ 15 | 44 | 溝より新 |
| 溝4 | 直線、 断面直状 | 27 ~ 45 | 8 ~ 12 | 10 | |
| 溝5 | 直線、 断面直状 | 64 ~ 80 | 10 ~ 12 | 16 | |
| 溝6 | 直線、 断面V字 | 80 ~ 85 | 14 ~ 18 | 23 | 方形のビット が50cm間隔 で直面に並ぶ |
| 溝6P1 | 台形 | 40 × 27 | 15 × 10 | 33 | |
| 溝6P2 | 方形 | 37 × 30 | 15 × 10 | 33 | |
| 溝7 | 直線、12m ~ V字(墓研削) | 190 ~ 220 | 10 ~ 28 | 140 144 80cm | 埋没後に削り 直し有。深さ |
| 溝8 | L字形、 断面直状 | 145 ~ 215 | 15 ~ 20 | 38 | 南北4.4m、 坪~1.4m |
| 溝9 | 直線、 断面直状 | 115 ~ | 20 ~ 28 | 9 | P4より新 |
| 溝10 | 直線、 断面直状 | 185 ~ | 12 ~ 20 | 34 | 掘立3より新 |
| P1 | 楕丸丘方形 | 41 × 34 | 34 × 24 | 19 | |
| P2 | 楕丸方形 | 40 × 38 | 18 × 13 | 31 | |
| P3a | 円形 | 47 × 40 | 23 × 22 | 30 | F3bより新 |
| P3b | 円形 | 42 × 40 | 23 × 22 | 40 | P3aより旧 |
| P4 | 円形 | 40 × 37 | 23 × 19 | 25 | |
| 溝1道構1 | 長方形 | (292) × 50 | (290) × 42 | 40 | イモビツ |
| 溝1道構2 | 長方形 | (300) × 55 | (300) × 44 | 35 | イモビツ、 H34住の北 |
| 溝1道構3 | 長方形 | (340) × 57 | × 48 | 25 | イモビツ、 溝8より新 |

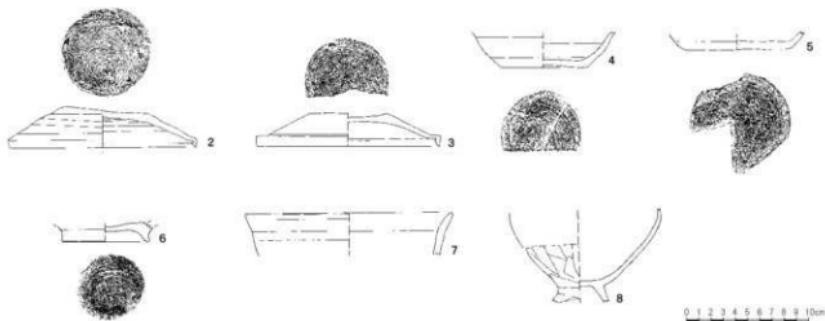
第35表 松山遺跡第45地点出土遺物観察表 (単位cm)

| 回数 番号 | 記載番号 | 遺構名 | 種別・器種 | L径・ 幅 | 底径・ 幅 | 高さ・ 厚 | 特徴・文様・その他 | 石材 / 推定 生産地 | 推定年代・ 時期 | 現存・備考 | |
|----------|---------|-------------|--------|----------|----------|----------|---|----------------|-------------------|---------|------|
| 1 | H34号住居跡 | 土師器・壺 | 21.4 | 5.1 | 29.1 | | 粘土織成土。口縁部横縫で。底部外表面斜方向への少割り。側面部内横縫で。縫目部「く」字、口部は右内側寄る/砂色/砂粒(~1mm)多量含む。輪郭部左右に側面部に保たれて/注36力マドNo.1~7, 10, 12~22, 24, 25, 27~30, 33 | | | 8C | ほぼ完形 |
| 2 | H35号住居跡 | 須恵器・蓋 | 15.2 | 7.0 | 3.4 | | 織成底形。天井部右捻軸系切削。未調査。口縁部先端は折り返し/灰褐色/砂粒(~5mm)多量含む/注36B区No.11~14, 19 | 南北企 | 9C中葉 | 完形 | |
| 3 | H35号住居跡 | 須恵器・蓋 | (15.0) | 6.0 | 2.7 | | 織成底形。天井部右捻軸系切削。未調査。口縁部先端は折り返し/灰褐色/砂粒(~5mm)、油滴状斜多量含む/注36B区No.4 | 南北企 | 9C中葉 | 1/2以下残存 | |
| 4 | H35号住居跡 | 須恵器・环 | — | (6.8) | — | | 織成底形。右捻軸系切削未調整/浅褐色/砂粒(~1mm)多量含む/注36B区No.10, 20, 32 | 不明 | 8C後半 | 底部片 | |
| 5 | H35号住居跡 | 須恵器・环 | — | (8.6) | — | | 織成底形。右捻軸系切削未調整/灰色/砂粒(~1mm)多量含む/注36B区No.16, 23 | 南北企 | 9C前半~ 中葉 | 底部片 | |
| 6 | H35号住居跡 | 須恵器・环 | — | 7.2 | — | | 織成底形。右捻軸系切削。高台突付付/灰色/砂粒(~1mm)多量含む/注36B区No.2 | 南北企 | 9C前半~ 中葉 | 底部片 | |
| 7 | H35号住居跡 | 土師器・壺 | (17.0) | — | — | | 粘土織成土。口縁部横縫で/明赤褐色/砂粒(~1mm)少量含む。脚右寄り/脚連続。口縁部内側保たれて/注36B区No.28, 30 | | 9C | 口縫部片 | |
| 8 | H35号住居跡 | 土師器・ 台付壺 | — | — | — | | 粘土織成土。内外面へ少割りに/淡い褐色/砂粒(~1mm)少量/外側縁付肩/注36B区No.5 | | 9C | 脚縫接合部 | |
| 9 | 遺構外 | 土製品・ 泥面土 | 2.6 | — | 0.8 | | 型押成形/白面。裏面に削痕/灰褐色/砂粒少量含む/注36H5 | | 1790年代~ 1890年代 | 一部欠 | |

H34号住居跡



H35号住居跡



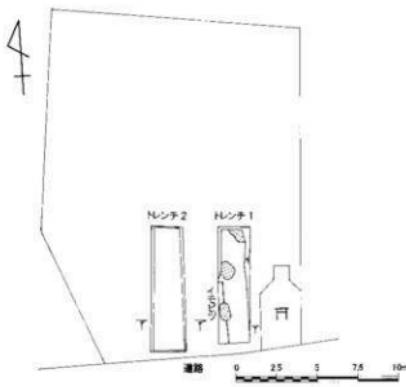
第78図 松山遺跡第45地点 H34・H35号住居跡・遺構外出土遺物（1/2・1/4）

IV 松山遺跡第46地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年1月6日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年2月17日に行った。2m幅のトレチを2カ所設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかつたため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで80～90cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第79図 松山遺跡第46地点遺構区域図（1/300）

第7章 東久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は約3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東大久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、町立亀久保小学校が建ち、現在は区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川間に平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保堀跡遺跡が位置する。

本遺跡の調査は1976年以来2010年3月現在まで、66地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

旧石器時代礫群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石土坑等、中・近世は溝や柵跡が確認されている。

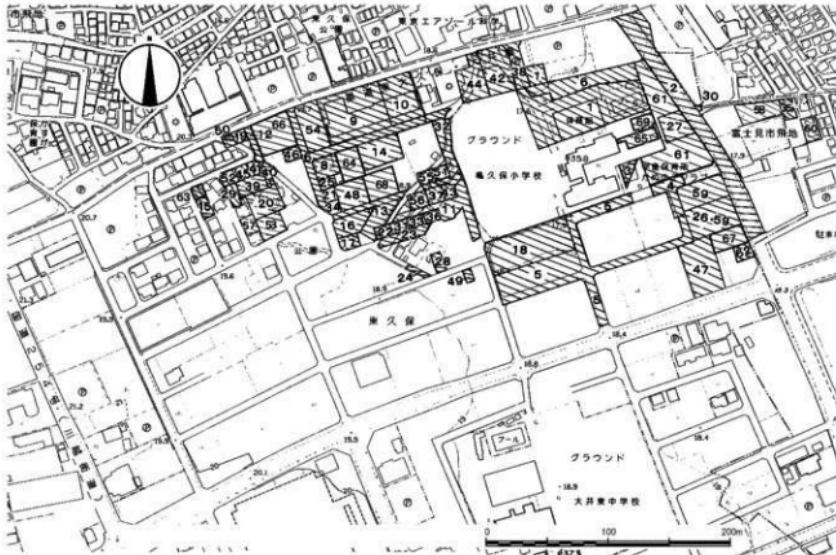
II 東久保遺跡第66地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2008年3月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡西側に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は2008年5月22日から同年6月11日まで行なった。幅約2mのトレンチを5本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、溝跡と思われるプランを検出した。遺構の性格を確認するため検出部分のみ調査した。確認面まで90cmを測る。建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

(2) 遺構と遺物

【溝】調査区中央トレンチ2から4にかけ、東西方向の溝を3条検出した。西側は搅乱により不明。溝3は東側のトレンチ2で溝4と連続する。溝底の工具



第36表 東久保遺跡調査一覧表

| 所在地 | 所在地 | 調査期間()は試掘調査 | 面積(㎡) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 取扱い報告書 |
|-----|--------------------------|--|--------|----------|--|----------------------|
| 1 | 東久保字東久保285-1他 | (1976.6.29～7.27) | 10,000 | 小学校建設 | 調文：集石土坑6、土坑3、井戸2、溝2、甕文土器・石器 | 大井町文化財報告第7集 東久保遺跡 |
| 2 | 東久保293-1他 | 1994.12.19～1995.3.23 (1995.5.18～5.22) | 2,472 | 区间整理道路 | 中近世の溝4、ピット4、土坑2 | 調査会報告第14集 |
| 3 | 東久保284-1 | (1996.5.20～5.29) | 270 | 学習保存作業組 | 溝2、堀川1、遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 4 | 東久保364-1 | (1996.6.7～6.10) (1996.9.2～9.4) | 320 | 区间整理道路 | 日暮西原駅1 | 町内遺跡調査・ 調査会報告第14集 |
| 5 | 東久保366 | 1996.11.22～1997.3.5 | 3,314 | 区间整理道路 | 土坑3、中世の堀川1、溝2、ピット1 | 調査会報告第14集 |
| 6 | 東久保271-3 | -A区(1997.1.20～2.13) -B区(1997.2.24～3.19) -C区(1997.7.24～7.25) -D区(1997.8.6) | 2,309 | 区间整理道路 | 調文：落とし穴2、集石土坑1、土坑1、ピット5、溝8 | 調査会報告第14集 |
| 7 | 東久保駅跡第1地点(必要) | | | | | 調査会報告第14集 |
| 8 | 東久保18番地24番地 | (1997.7.29～8.2) | 305 | 個人住宅 | 調文：土坑2、ピット2 | 町内遺跡調査 |
| 9 | 東久保279-280 | 1997.8.18～8.28 (1998.3.1～5.18) | 2,117 | 馬祖住宅 | 調文：集石土坑5、土坑13、ピット7、 近世の溝の3處 | 町内遺跡調査・ 調査会報告第14集 |
| 10 | 東久保19街区 | (1997.9.2～10.1) | 1,067 | 分譲住宅 | 調文：集石土坑1、近世以降の溝1 | 町内遺跡調査 |
| 11 | 東久保 | 1998.7.13～8.6 | 588 | 区间整理道路 | 中世に亘る堀川1、ピット3、溝1 | 調査会報告第14集 |
| 12 | 東久保 | 1999.3.11～3.12 | | | | |
| 13 | 東久保 | 1999.1.19～1.21 | 282 | 区间整理道路 | 調文：集石土坑1、セト10、近世以降の溝2 | 調査会報告第14集 |
| 14 | 東久保381-5他 | 1999.5.19～5.20 | 360 | 区间整理道路 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 15 | 東久保18街区3・4番地 | (1999.6.29～7.14) | 823 | 馬祖住宅 | 溝2、堀川1、甕文土器片、瓦質陶片 | 町内遺跡調査・ 調査会報告第14集 |
| 16 | 東久保5番地14～16番地 | (1999.8.20) | 178 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 17 | 東久保15番地14～532番地 | (1999.10.1～10.6) | 334 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 18 | 東久保15番地14～532番地 | (1999.10.1～10.6) | 334 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 19 | 東久保27番地2・2番地 | (1999.11.30～12.13) | 14,089 | 小学校グランド | 調文：土坑2 | 町内遺跡調査 |
| 20 | 東久保3番地9・10番地 | (1999.12.20～12.22) | 108 | 店舗用住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 21 | 東久保4番地9・9番地 | (2000.2.28～3.3) | 478 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 22 | 東久保18番地14番地 | (2000.3.23～3.28) | 114 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 23 | 東久保18番地13・33番地 | (2000.3.22～3.23) | 150 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 24 | 東久保 | 2000.3.13～3.16 | 280 | 区间整理道路 | 調文：土坑1、横土1 | 調査会報告第14集 |
| 25 | 東久保 | 2000.3.27～4.6 | | | | |
| 26 | 東久保14番地 | 2000.3.19 | 390 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 調査会報告第14集 |
| 27 | 東久保18番地13・13番地 | (2000.4.13～4.14) | 135 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 28 | 東久保31番地9・9番地 | (2000.4.14) | 1,107 | 駅前駅駐車場 | 溝2、ピット1 | 町内遺跡調査 |
| 29 | 東久保26街区 | 2000.5.17～6.8 | 560 | 区间整理道路 | 調文：ピット15、近世の土坑1、堀川1、溝2 | 調査会報告第14集 |
| 30 | 東久保14番地8・9番地 | (2000.6.29～7.4) | 130 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 31 | 東久保4番地14番地 | (2000.6.30～7.4) | 218 | 個人住宅 | 溝2、堀川1 | 町内遺跡調査 |
| 32 | 東久保29番地2・2番地 | 2000.7.4 | 48 | 区间整理道路 | 遺構・遺物無し | 調査会報告第14集 |
| 33 | 東久保15番地20番地 | (2000.6.7) | 126 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 34 | 東久保 | 2000.9.13～9.14 | 285 | 区间整理道路 | 調文：土坑1、横土1 | 調査会報告第14集 |
| 35 | 東久保277-38番地 | 2001.7.16～7.30 | 990 | 区间整理道路 | 日暮駅・石切作業所跡、調文：土坑2、ピット12、 定期不動の溝、権利附合 | 調査会報告第14集 |
| 36 | 東久保15番地4・24番地 | (2000.8.2～8.3) | 128 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 37 | 東久保18番地15番地 | (2000.8.29～8.30) | 110 | 個人住宅 | ピット2 | 町内遺跡調査 |
| 38 | 東久保25番地3・34番地 | (2000.12.7～12.9) | 179 | 個人住宅 | 土1、ピット1 | 町内遺跡調査 |
| 39 | 東久保15番地21・22番地 | (2001.1.19～1.25) | 132 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 40 | 東久保15番地8・13・33番地 | (2000.12.17) | 149 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 41 | 東久保15番地20番地 | (2001.6.7) | 126 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 42 | 東久保15番地20番地 | 2000.9.12～9.4 | 285 | 区间整理道路 | 調文：土坑2、横土1 | 調査会報告第14集 |
| 43 | 東久保277-38番地 | 2001.7.16～7.30 | 990 | 区间整理道路 | 日暮駅・石切作業所跡、調文：土坑2、ピット12、 定期不動の溝、権利附合 | 調査会報告第14集 |
| 44 | 東久保15番地4・24番地 | (2000.8.2～8.3) | 128 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 45 | 東久保18番地15番地 | (2000.8.29～8.30) | 110 | 個人住宅 | ピット2 | 町内遺跡調査 |
| 46 | 東久保25番地3・34番地 | (2000.12.7～12.9) | 179 | 個人住宅 | 土1、ピット1 | 町内遺跡調査 |
| 47 | 東久保15番地21・22番地 | (2001.1.19～1.25) | 132 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 48 | 東久保15番地8・13・33番地 | (2000.12.17) | 149 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 49 | 東久保15番地20番地 | (2001.6.7) | 126 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 50 | 東久保17番地3・4番地 | (2001.6.4～6.9) | 135 | 個人住宅 | 土1、横土1 | 町内遺跡調査 |
| 51 | 東久保31番地6・13番地 | (2001.10.1～10.26) | 1,260 | 店舗 | 調文：土坑2、横土1 | 町内遺跡調査 |
| 52 | 東久保18番地9・10番地 | (2001.12.12～12.23) | 518 | 分譲住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 53 | 東久保15番地7・7番地 | (2002.2.12～2.13) | 100 | 分譲住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 54 | 東久保3番地21・22番地 | (2002.9.24) | 182 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 55 | 東久保15番地11・11番地 | (2002.12.3) | 155 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 56 | 東久保4番地3・3番地 | (2003.2.6～2.7) | 64 | 個人住宅 | 溝1、井1 | 町内遺跡調査 |
| 57 | 東久保4番地10番地 | (2003.5.7～5.22) | 408 | 分譲住宅 | ピット1 | 町内遺跡調査 |
| 58 | 東久保4番地10番地 (19番地1番地) | (2003.5.9～5.22) | 798 | 馬祖住宅 | 溝3、ピット4、落とし穴1 | 町内遺跡調査 |
| 59 | 東久保字東久保48番地 (18番地1番地) | (2003.6.5～6.12) | 165 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 60 | 東久保字東久保15番地 (15番地1番地) | (2003.7.31～8.10) | 162 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 61 | 東久保字東久保15番地 (15番地1番地) | (2003.9.29～10.1) | 130 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡調査 |
| 62 | ふじみ野2-2-27 | (2004.4.13～4.14) | 557 | 分譲住宅 | 溝2 | 町内遺跡調査 |
| 63 | ふじみ野2-25～9 | (2004.6.29) | 1,804 | 店舗 | 土坑4、ピット9、溝2 | 町内遺跡調査・ 調査会報告第14集 |
| 64 | ふじみ野2-25～9 | (2004.7.12～7.23) | 1,804 | 店舗 | 土坑4、ピット9、溝2 | 町内遺跡調査 |
| 65 | ふじみ野2-26 | (2004.7.23～7.24) | 336 | 個人住宅 | ピット1 | 町内遺跡調査 |
| 66 | 東久保26街区 | 2004.9.29～11.26 | 2,376 | 区间整理公園用地 | 調文:時代の土坑7、ピット2、溝1、 (調査区内)一部は第27地点で調査済 | 調査会報告第14集 |
| 67 | ふじみ野2-2-2-16 | (2004.10.12～10.13) | 220 | 瓦工場 | 溝3 | 町内遺跡調査 |
| 68 | ふじみ野2-5-10-12 | (2006.2.11) | 105 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡調査 |
| 69 | ふじみ野2-18-6の一部 | (2006.10.12～10.20) | 437 | 馬祖住宅 | 近世の堀川1、溝2 | 市内遺跡調査 |
| 70 | ふじみ野2-22-2～7 | (2008.1.18～2月) | 260 | 小学校施設 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡調査 |
| 71 | ふじみ野2-19-19-5 | (2008.5.22～6.11) | 862 | 分譲住宅建設 | 溝3 | 市内遺跡調査 |
| 72 | ふじみ野2-25-10-11 | 2009.11.9 | 492 | 分譲住宅建設 | 遺構・遺物無し | 未報告 |
| 73 | ふじみ野2-18-3 | 2010.11.22～2010.11.29 | 791 | 分譲住宅建設 | 調文：集石1、近世以降溝2、堀川1 | 未報告 |

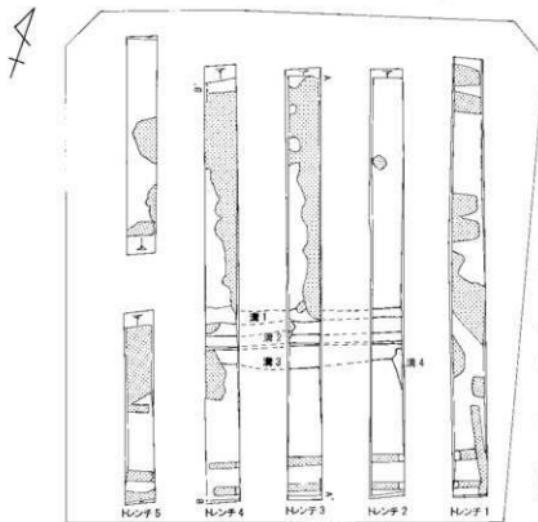
痕や土層が溝3と溝4で類似しており、底に段差はあるが、同一遺構の可能性が高い。

【溝状土坑】調査区南端で、断面「L」の長方形土坑を検出した。いわゆるイモ類を貯蔵する「イモビツ」と思われる。

【遺物】1は溝2出土で、内面に幅広押引文2列、間に三角押文を波状に巡らす浅鉢口縁。2はトレンチ3の遺構外出土で、隆帯脇に1列の角押文を施す深鉢口縁。3もトレンチ3の遺構外出土で、雲母片含む胎土で、指頭圧痕が巡る深鉢胴部。5は溝2出土の片岩製打製石斧で完形品。抉りの入る擦痕。

第37表 東久保遺跡第66地点遺構一覧表 (単位cm)

| No. | 平面形態 | 壁面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-----|-----------------|----------|---------|---------|---------------------------|
| 溝1 | 東西北露 断面U字形 | 47 ~ 95 | 20 ~ 23 | 34 ~ 47 | 東へ傾斜 |
| 溝2 | 12m ~, 断面U字形 | 42 ~ 68 | 25 ~ 47 | 25 ~ 31 | 東へ傾斜 |
| 溝3 | 東西北露 断面U字形 | 95 ~ 105 | 12 ~ 32 | 23 ~ 38 | 東へ傾斜。北側に幅25 ~ 30cmの段差有 |
| 溝4 | 南北北露 断面U字形 | (65) ~ | (35) ~ | 42 | 溝3と傾方、土層相似する。 連続する可能性有 |
| 溝1道 | 長方形 断面L | 45 ~ | 40 ~ | 62 | イモビツ |
| 溝2道 | 長方形 断面L | 43 ~ | 43 ~ | 45 | イモビツ |



I-a 黒褐色土 細り有、粘性有、3mm以下ローム粒や多く含む、近年の耕作土。

I-a' 黒褐色土 細り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む、土質はI-dに似るが、I-cを切っている。これも近年の耕作土。

I-b 黒褐色土 細り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・ローム粒を多く含む、近年の盛土。

I-c 黑褐色土 細り弱、粘性有、ロームブロック・ローム土主体 I-cには多く含む、黒褐色土を多く含む箇所もある、近年の盛土。

I-d 通過色土 細り強、粘性有、5~60mmロームブロックを多く含む、ローム粒や多く含む。

I-d' 黒褐色土 細り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し、下部にソーブットのロームブロックやや多く含む、現代の旧耕作土(トレンチヤードの覆土)。

I-e 黒褐色土 細り有、粘性有、30mm以下ロームブロック、5mm以下ローム粒や多く含む、耕作間隔掘り込みの覆土、これにイモビツが切られる。

III-a 地山の通過色土(堆積層)。

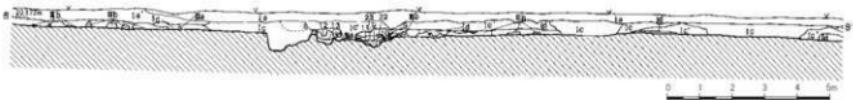
III-b 地山のローム。

0 25 5 75 10m

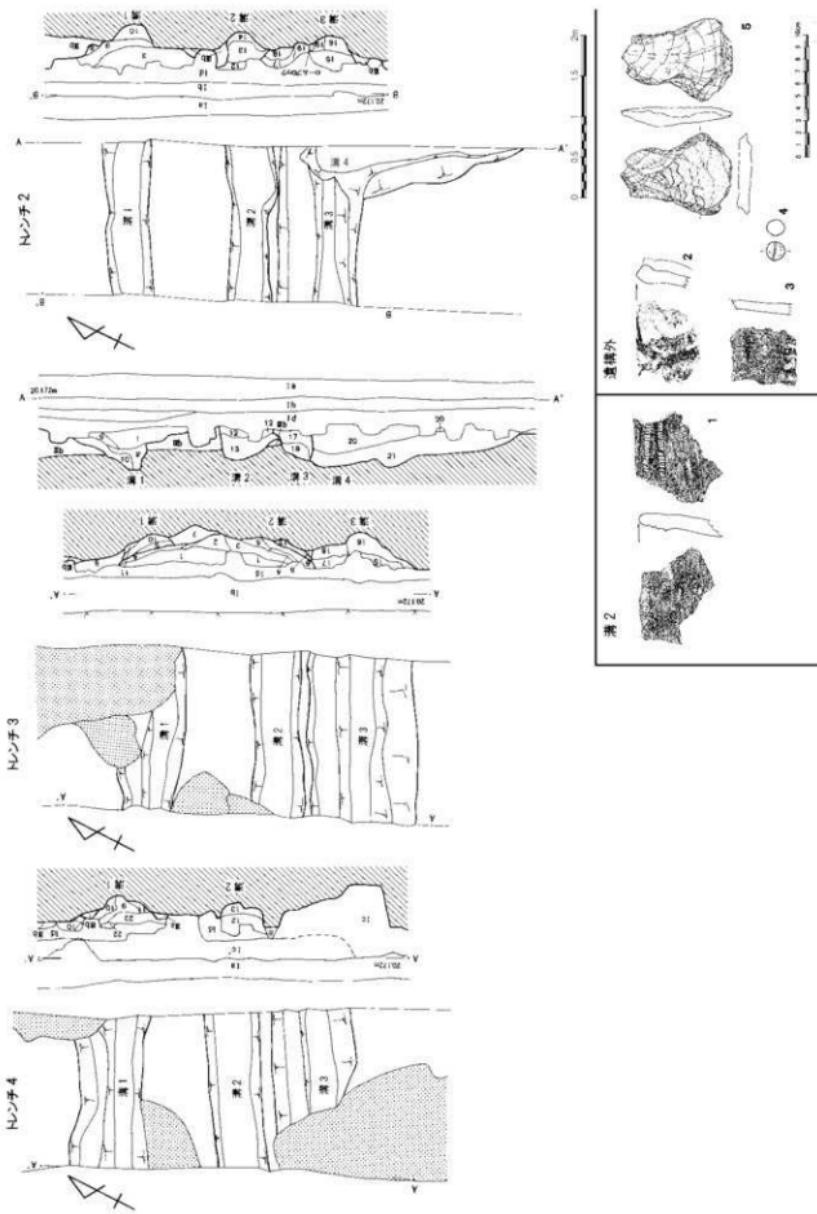
トレンチ3



トレンチ4



第81図 東久保遺跡第66地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)



第38表 東久保遺跡第66地点出土遺物観察表 (単位cm)

| 回収番号 | 面積高さ | 遺構名 | 種別・基種 | 口径・底径・高さ・幅 | 部高・厚 | 技法 / 文様 / その他 | 石材 / 離定生産地 | 推定期・時期 | 残存 / 古考 |
|------|------|-----|---------|------------|------|--|------------|-------------|---------|
| 8244 | 1 | 溝2 | 縦文土器・深鉢 | 一 | 一 | 輪組み成形 / 内面凸縁部に平載竹管による連續押引き文を2列と。その間に三角脚支を波紋に施す / 砂粒多量 / 注36.2M2トレー | | 縄文中期・後期 | 口緑部片 |
| | 2 | 遺構外 | 縦文土器・深鉢 | 一 | 一 | 輪組み成形 / 陶管による舟形凹縁部を、舟形文で押える / 砂粒、雲母多量含む / 注36.3トレー | | 縄文中期・阿玉台1-b | 口緑部片 |
| | 3 | 遺構外 | 縦文土器・深鉢 | 一 | 一 | 輪組み成形 / 梅輪組み部分にヒダ状斜面直面 / 砂粒、褐色粘土多量含む / 注36.3トレー2 | | 縄文中期・阿玉台1-b | 網町片 |
| | 4 | 遺構外 | 土製品・小玉 | 1.4 | 1.45 | 粘土玉、系を組み込んだ跡がある / 注36.5トレーカララン | | | 完形 |
| | 5 | 溝2 | 石器・打製石斧 | 9.06 | 6.70 | 1.60 重量 96.5g / 先端斜打技法 / 注36.2M2トレー | 燧石片岩 | 縄文時代 | 完形 |

1. 黒褐色土・縋り強・粘性有。5~30mmロームブロック多く、5mm以下ローム粒や多く、黒褐色土の薄層を挟む
 2. 黄褐色土・縋り強・粘性有。50mm以下ロームブロック・ローム土主体、黒褐色土ブロック少く含む
 3. 黄褐色土・縋り強・粘性有。ローム土主体 30mm以下ロームブロック・ローム粒多く含む、黒褐色土少し含む
 4. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒少く含む
 5. 黑褐色土ベース・縋り強・粘性有。5~10mmロームブロック主体、黒褐色土少し含む
 6. 暗黄褐色土・縋り強・粘性有。5~15mmロームブロック少し、5mm以下ソフローム粒主体、ベースは暗褐色土
 7. 黄褐色土・縋りやや弱・粘性有。5~10mm以下ロームブロック主体、隙間モールム土が埋めらる。黒褐色土を少し含む、この辺の底面は起伏著しい
 8. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~40mm(平均10mm以下)ロームブロックやや多く、5mm以下ローム粒多く含む
 9. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~30mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む
 9' 黑灰色土・シリカドロップ60~10mm やや多く含む
 10. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~50mmロームブロック多く、ローム粒やや多く含む
 11. 黑褐色土・縋り有・粘性有。5mm以下ローム粒やや多く含む
 12. 粘褐色土・縋り強・粘性有。10~20mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む
 13. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~20mmロームブロックたゞ 5mm以下ローム粒多く含む
 14. 粘褐色土・縋り強・粘性有。5~20mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む、ベースの土はローム分を多く含み色調明るい
 15. 粘褐色土・縋り強・粘性有。5~30mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む、5~10mm 黒色土少し含み、色調は3番より暗い
 16. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~40mmロームブロック多く、5mm以下ローム粒やや多く含む、色調は4番より暗い
 17. 粘褐色土・縋り強・粘性有。平均15mm以下ロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む、削に落ち込むような堆積
 18. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~30mmロームブロック多く、5mm以下ローム粒やや多く含む、北壁側に堆積する
 19. 黑褐色土・縋り強・粘性有。5~10mmロームブロック多く、ローム粒やや多く含む
 20. 粘褐色土・縋り強・粘性有。10~30mmロームブロック少し、5mm以下ローム粒やや多く含む、最大 20cmの黒褐色土ブロックを少し含む
 21. 黑褐色土・縋り強・粘性有。10~80mmロームブロック多く、ローム粒やや多く含む
 22. 粘褐色土・縋り強・粘性有。10mmロームブロック、2mm以下ローム粒少し含む
 23. 黑褐色土・縋り強・粘性有。黒褐色土ベース、ソフトロームブロック主体 15mm以下ハードロームブロック少く含む

第8章 東久保西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保西遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間の低位台地に位置する。

遺跡の南側から東側にかけて埋没河川が流れ、現在では用水路になっている。以前は埋没河川を取り巻くように段差などがみられたが、こうした地形や環境も、区画整理事業と大規模開発により無くなりつつある。以前の標高は 18.0 ~ 21.0 m だったが、区画整理後は 19.5 ~ 20.0 m である。

周辺の遺跡は北西に江川南遺跡、北側に亀久保堀跡遺跡・東久保遺跡、南側に東中学校西遺跡が隣接する。

本遺跡は遺物の散布地であったが、1993 年に東久保西遺跡として新規登録し、さらに 1997 年東久保土地区画整理事業に伴い区画道路部分を調査した際、遺構の検出範囲が広がったため、遺跡の変更増補を行なった。

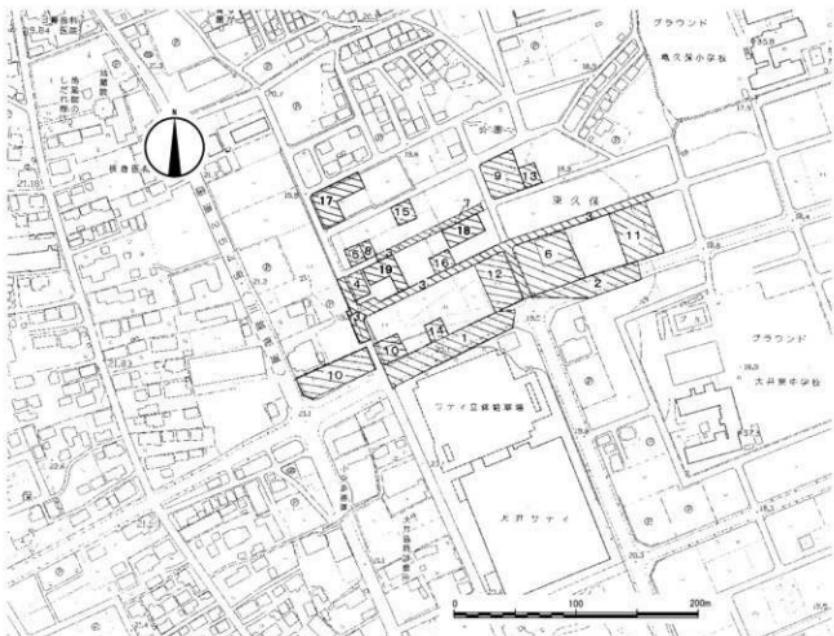
1994 年の初調査以来、2010 年 3 月現在 19 地点で調査を行ない、埋没河川であった用水路周辺から旧石

器時代の礫群、縄文時代の落とし穴、屋外炉、中・近世の溝などを検出している。

II 東久保西遺跡第 19 地点

(1) 調査の概要

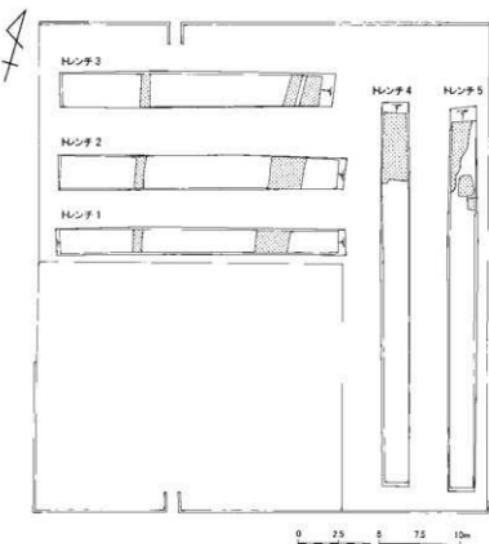
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 16 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡西側に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は 2008 年 7 月 2 日から 3 日まで行なった。幅約 2 m のトレーナーを 5 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったが、イモビツの他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで 40 cm を測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 83 図 東久保西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第39表 東久保西遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間 ()は試掘調査 | 面積(m ²) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|----|----------------------------------|---|---------------------|--------|--------------------------------------|------------------------|
| 1 | 東久保399-1, 400-1, 407-1, 408-1 | 1995.1.9 ~ 2.1 | 1,392 | 区画整理道路 | 溝状プラン確認、遺物無し | 遺跡調査会報告第14集 |
| | | (1993.8.24 ~ 26) | 75 | 区画整理堅坑 | 第1地点調査内で工事立合へ、遺構・遺物無し | |
| 2 | 東久保 419-1 他 | 1997.11.27 ~ 1998.1.27 1998.2.23 ~ 3.9 | 1,400 | 区画整理道路 | 縄文：落とし穴1、土坑1、 ビット16 | 遺跡調査会報告第14集 |
| 3 | 東久保 | <A区>1998.1.19 ~ 2.3 <B区>1998.6.1 ~ 15 <C区>1998.7.14 ~ 29 <D区>1998.12.21 ~ 22 <E区>1999.1.18 ~ 22 | 680 1,754 | 区画整理道路 | 縄文：落とし穴1、土坑1、ビット9、溝3 | 遺跡調査会報告第14集 |
| 4 | 東久保 10街区1画地 | (1998.12.1 ~ 2) | 298 | 移行敷駐車場 | 溝1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 5 | 東久保 9街区9画地 | (1998.12.10 ~ 14) | 194 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 6 | 東久保 12街区1,2,10 画地 | (1999.2.9 ~ 15) 1999.2.24 ~ 3.1 | 1,959 | 店舗 | 旧石器時代の石器ブロック3、縄文時代の落とし穴1 黒曜石製の有茎1 | 町内遺跡群Ⅳ、 遺跡調査会報告第14集 |
| 7 | 東久保 250 - 1 他 | 1999.6.8 ~ 7.24 | 528 | 区画整理道路 | 中近世以降の溝1 | 遺跡調査会報告第14集 |
| 8 | 東久保 9街区 13 画地 | (1999.11.2 ~ 5) | 135 | 個人住宅 | ビット1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 9 | 東久保 14街区 1,2,12 画地 | (2000.1.28 ~ 2.9) | 1,074 | 共同住宅 | 溝1、ビット11 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 10 | 東久保 11街区3,11 画地 | (2000.5.8 ~ 10) | 1,760 | 店舗 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 11 | 東久保 12街区 59 画地 | (2006.6.11 ~ 12) | 1,445 | 駐車場 | 遺構無し、土器片3 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 12 | 東久保 11街区 9,33 画地 | (2001.6.23 ~ 7.2) | 1,074 | 店舗 | 遺構無し、近世以降の陶器断片7 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 13 | 東久保 14街区 11 画地 | (2001.10.13 ~ 26) | 275 | 個人住宅 | 黒色プラン確認、遺物無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 14 | 東久保 11街区 10 画地 | (2002.1.31 ~ 2.4) | 237 | 店舗 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 15 | 東久保 9街区 3 画地 | (2003.2.3 ~ 5) | 225 | 個人住宅 | 遺構2、土坑1、ビット1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 16 | 東久保 10街区 6 画地 | (2003.6.3 ~ 4) | 273 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 17 | ふじみ野 2-9-1,2,3 | (2006.10.26) | 919 | 共同住宅 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡群 3 |
| 18 | ふじみ野 2-11-8,11-5 | (2007.1.16 ~ 19) | 478 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡群 3 |
| 19 | ふじみ野 2-11-3,11-4 | (2008.7.23) | 824 | 個人住宅建設 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡群 6 |



第84図 東久保西遺跡第19地点調査区域図 (1/300)

第9章 東中学校西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東中学校西遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間の標高は 20.0 ~ 21.0 m の低位台地に位置する。現在は平坦であるが、区画整理事業以前は遺跡の北側に、西から北東側にかけて埋没河川（現在用水路）が流れ、東側には僅かな窪地もみられた。

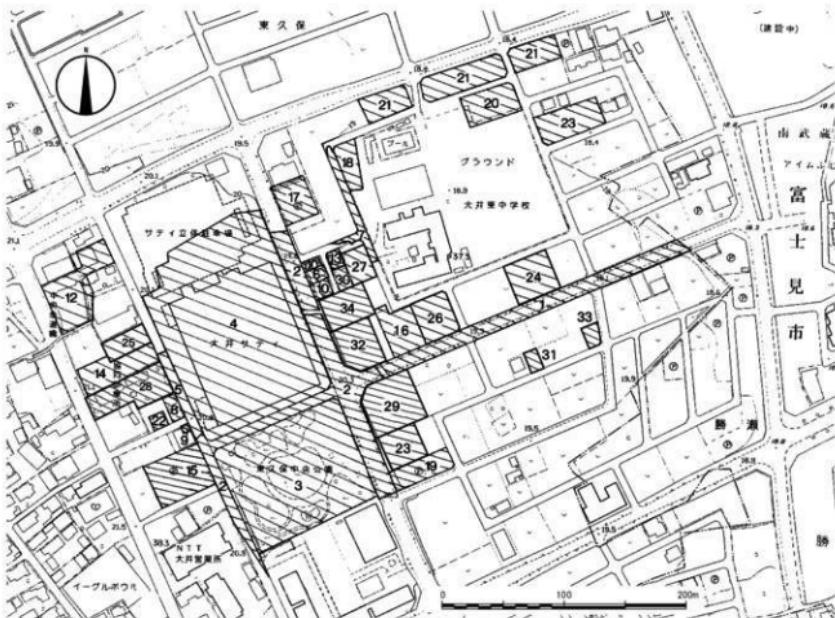
遺跡は埋没河川と窪地の縁に位置するが、遺構は埋没河川からやや離れた遺跡の中央部から西部にかけて分布する。周辺の遺跡は、前述した埋没河川を隔てた北側約 50 m に東久保西遺跡、南東に東久保南遺跡が隣接する。

遺跡の時期は縄文時代では早期の炉穴群、縄文時代中期前葉の屋外埋甕、落とし穴や集石土坑などを検出している。中・近世では墓塚・溝・柵列などが確認されている。本遺跡の調査は 1995 年以来 2008 年 1 月現在、30 ケ所で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

II 東中学校西遺跡第 32 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅及び店舗建設に伴うもので、原因者より 2008 年 4 月 25 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は 2008 年 6 月 13 日から 25 日まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 5 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。トレンチ 1 で覆土らしき暗褐色土を検出したが、確認したところ自然の窪みであった。遺構・遺物を検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで 110 ~ 130 cm を測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 85 図 東中学校西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

III 東中学校西遺跡第33地点

(1) 調査の概要

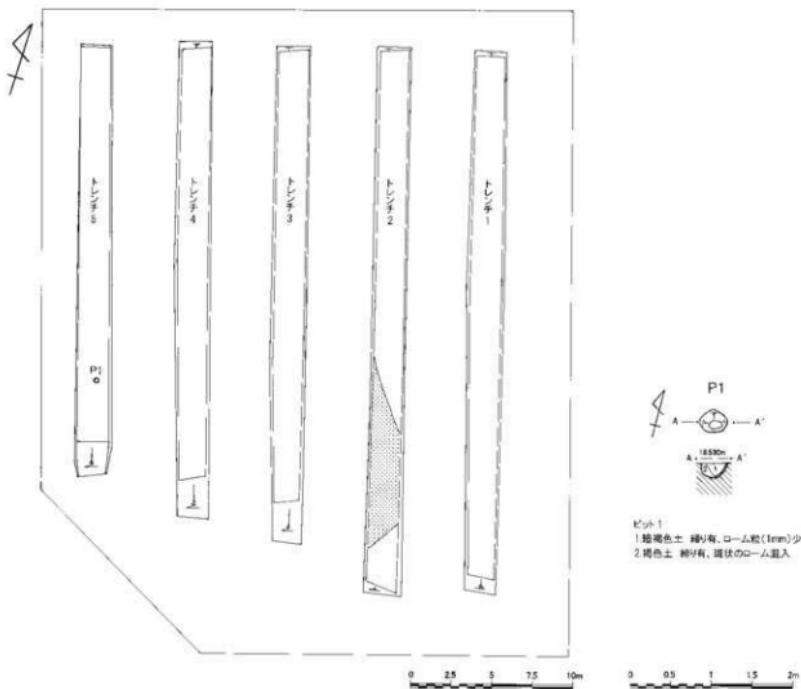
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2008年10月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南西に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試

掘調査は2008年10月3日に行なった。幅約2mと1.5mのトレンチを1本ずつ設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで110cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

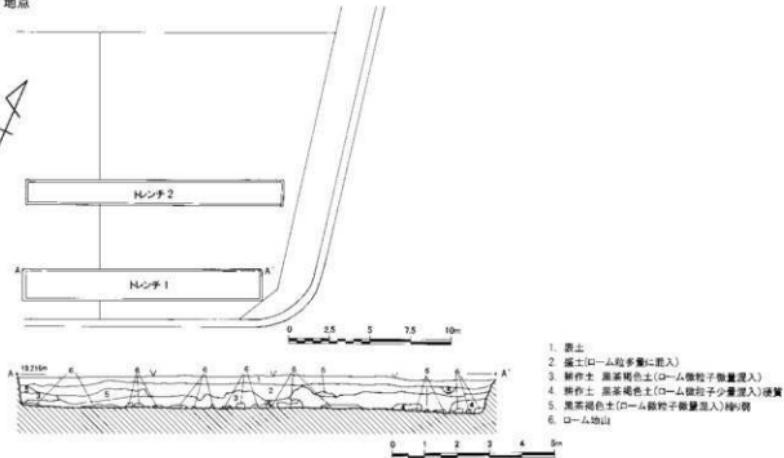
第40表 東中学校西遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間()は試掘調査 | 面積(m ²) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|----|-------------------------|--|---------------------|---------|--|--------------------------|
| 1 | 東久保 551.525.531 他 | 1994.10.6 ~ 11.9 <A区>1996.10.7 ~ 11.15 <B区>1996.12.2 ~ 17 <C区>1997.3.5 ~ 19 | 3,168 | 区画整理道路 | 縦文: 土坑1、ビット8 | 遺跡調査会報告第14集 |
| 2 | 亀久保 466-1 他 | <D区>1997.6.12 ~ 19 <E区>1997.7.8 ~ 8.8 <F区>1996.1.18 ~ 31 <G区>1996.1.25 | 1,168 | | 縦文: 炉穴26、集石土坑1、落とし穴4、土坑2、ビット26。中世: 溝5. | 遺跡調査会報告第14集 |
| 3 | 東久保 465.500 他 | (1996.8.29 ~ 9.13) 1996.10.7 ~ 21 | 10,200 | | 縦文: 落とし穴1、溝1、土坑6、ビット4、石礫1 | 町内遺跡群Ⅳ・ 遺跡調査会報告第14集 |
| 4 | 東久保 326 他 | (1997.2.6 ~ 10.29) 1997.6.12 ~ 8.8 | 24,681 | 店舗 | 縦文: 落とし穴3、集石土坑2、屋外理便1、近世: 土壌1、溝9、縄列1、ビット多数 | 町内遺跡群Ⅳ・Ⅴ・ 遺跡調査会報告第14集 |
| 5 | 東久保 487-1.1474-4 他 | 1997.6.12 ~ 7.24 | 688 | 区画整理道路 | 縦文: 炉穴6、落とし穴1、溝2、ビット2 | 遺跡調査会報告第14集 |
| 6 | 亀久保 325-1.7.8.9 | (1997.6.26 ~ 27) | 136 | 事務所 | 遺構・遺構無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 7 | 東久保 402-1 他 | 1997.7.21 ~ 31 | 636 | 区画整理道路 | 縄列1、ビット5 | 遺跡調査会報告第14集 |
| 8 | 東久保 44 街区13.14 開発 | 1997.8.5 ~ 9 | 252 | 個人住宅 | 縦文: 落とし穴1、溝1、ビット9。(落とし穴は第5地点で報告) | 町内遺跡群Ⅳ |
| 9 | 東久保 45 街区2.3 開発 | (1997.8.19 ~ 9.1) | 325 | 個人住宅 | 溝2、ビット9 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 10 | 東久保 42 街区1 開発 | (1997.12.10 ~ 20) | 135 | 店舗 | 遺構・遺構無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 12 | 東久保 44 街区2.3.24 開発 | (1998.1.6 ~ 24) | 1,879 | 店舗 | 遺構・遺構無し | 町内遺跡群Ⅳ |
| 13 | 東久保 2 街区12 開発 | (1998.6.9 ~ 11) | 218 | 専用住宅 | ビット1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 14 | 東久保 44 街区11.20.26 開発 | (1998.6.23 ~ 26) | 1,231 | 共同住宅 | ビット2、風呂木痕 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 15 | 東久保 45 街区1.4.6 開発 | (1998.8.17 ~ 24) | 2,649 | 店舗専用駐車場 | 中世以降: ビット2 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 16 | 東久保 42 街区6 開発 | (1998.8.17 ~ 31) | 1,347 | 店舗専用駐車場 | ビット2 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 17 | 東久保 38 街区7.8 開発 | (1998.8.19 ~ 24) | 1,131 | 店舗専用駐車場 | 縦文: 石礫1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 18 | 亀久保 319-1 | (1999.2.8 ~ 24) | 850 | テニスコート | ビット5、縄列1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 19 | 東久保 52 街区8 開発 | (1999.3.17) | 944 | アパート駐車場 | 遺構無し、陶器2 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 20 | 東久保 39 街区1 開発 | (1999.6.16 ~ 7.19) | 900 | 区画整理調整池 | 溝1、ビット26 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 21 | 東久保 37 街区1 ~ 3 開発 | (1999.11.18 ~ 12.9) | 1,314 | 店舗 | 縦文: 土坑1、溝3、ビット23 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 22 | 東久保 44 街区4 開発 | (2000.3.7 ~ 9) | 150 | 個人住宅 | 中世以降: 溝1、ビット5 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 23 | 東久保 33 街区6 開発 | (2003.8.5 ~ 13) | 1,233 | 共同住宅 | 焼土跡1、ビット1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 25 | ふじみ野4-1-6の一部 | (2005.5.24 ~ 30) | 926 | 店舗 | 土坑1 | 市内遺跡群2 |
| 24 | ふじみ野3-9-5 | (2005.6.20 ~ 7.7) 2005.7.11 ~ 13 | 1,425 | 店舗 | 縦文: 炉穴5 | 市内遺跡群2 |
| 26 | ふじみ野1-1-9-10 | (2005.6.28 ~ 7.2) | 604 | 分譲住宅 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群2 |
| 27 | ふじみ野3-10-8 ~ 11 | (2006.1.5 ~ 10) | 1,060 | 店舗 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群2 |
| 28 | ふじみ野3-10-3の一部4 | (2006.1.11) | 120 | 個人住宅 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群2 |
| 29 | ふじみ野1丁目1-13.14.15.32.23 | (2006.4.24 ~ 5.10) | 1,568 | 共同住宅 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群3 |
| 30 | ふじみ野4-4-1 | (2006.5.15 ~ 19, 7.28 ~ 8.1) | 2,004 | 店舗 | 縦文: 土坑検出 | 市内遺跡群3 |
| 31 | ふじみ野3-10-13 | (2006.7.3) | 634 | 保育所 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群3 |
| 32 | ふじみ野4-3-14 | (2008.2.14) | 165 | 個人住宅 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群4 |
| 33 | ふじみ野3-10-12 | (2008.6.13 ~ 25) | 1,231 | 分譲及び店舗 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群6 |
| 34 | ふじみ野4-3-8の一部 | (2008.10.3) | 215 | 個人住宅 | 遺構・遺構無し | 市内遺跡群6 |
| | ふじみ野3-10-6 | (2011.2.2 ~ 4) | 1,032 | 宅地造成 | 遺構・遺構無し | 未報告 |

32 地点



33 地点



第86図 東中学校西遺跡第32・33地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、ピット(1/60)

第10章 魁久保堀跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀久保堀跡遺跡は、福岡江川とさかい川の間の低位台地に位置している。遺跡の標高は 18.0 ~ 21.0 m で、堀跡は自然の地形を考慮せずに直線的にのびる。

周辺の遺跡は、北側に東久保遺跡、南側に東久保西遺跡が隣接する。

これまでの調査から、堀跡は福岡江川付近から南下し江川南遺跡の中央部を南北にのぎた後、地蔵院の東約80m付近で南東に向きを変える。向きを変えた堀跡は、東久保遺跡と東久保西遺跡の間を約600m以上直線で延び富士見市域へと続く。富士見市域では調査が行なわれていないため遺跡の有無は不明である。

堀跡の規模は上幅約3m、底幅約1.5m、深さは地表面から約1m、長さは800m以上で断面形は逆台形を呈する。覆土層上層に焼土を多く含む層が所々で確認されているが出土遺物は無く、時代などは不明であるが、本遺跡の第30地点と江川南遺跡第17・19地点の調査で検出した堀跡の覆土層に含まれるテフラ分析を行なった結果、堀跡の時期が平安時代の11世紀以前に遡るとする検査結果が出ている。

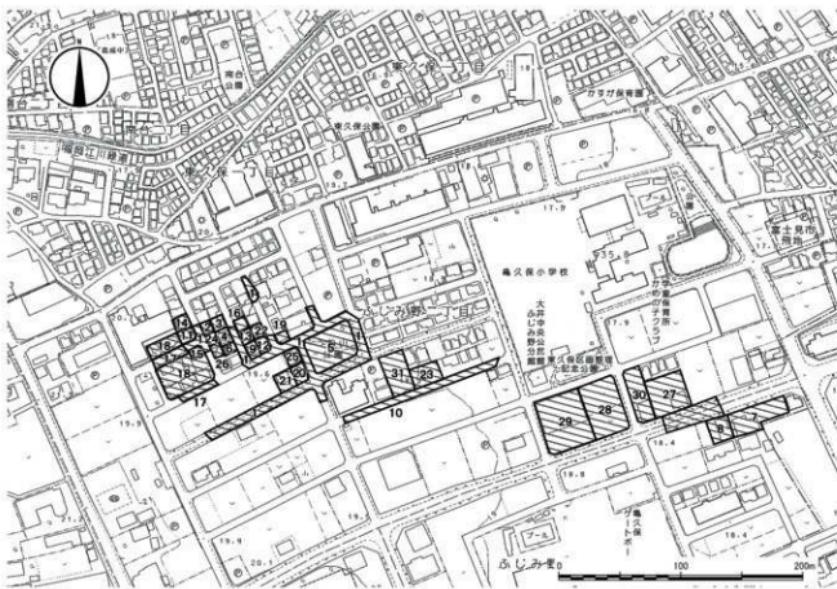
Ⅱ 長久保堀跡遺跡第31地点

(1) 調査の概要

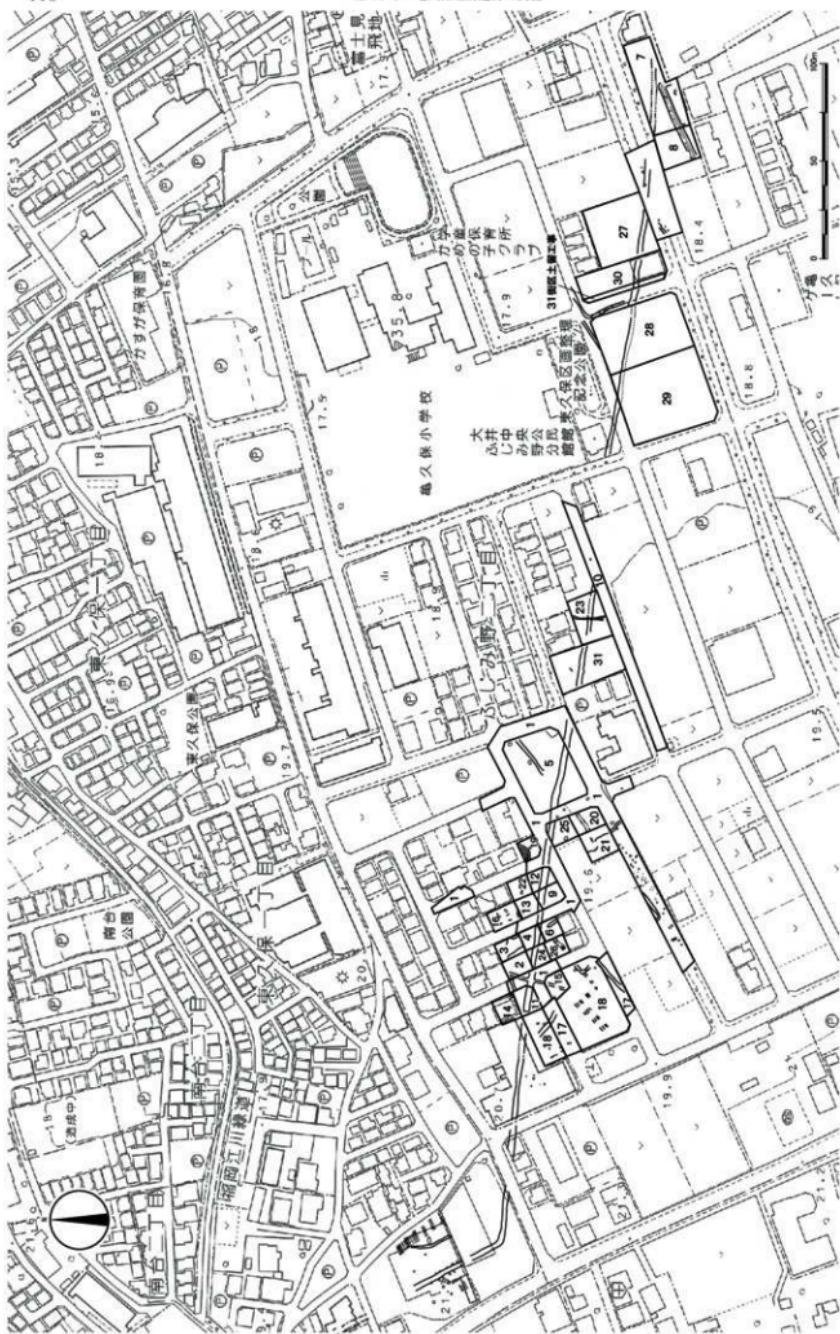
調査は分譲住宅及び個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年2月4日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣接地の調査で堀跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年2月6日から同月10日まで幅約2mのトレンチを3本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、堀跡を確認した。遺構確認面まで70cmあった。分譲住宅部分は当面の開発がないため、遺構の確認に留め、個人住宅部分は本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2009年2月12日から13日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を人力で表土除去後調査を行なった。調査の結果、古代から中世と思われる壙跡を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第87図 龜久保堀跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第88図 亀久保烟跡遺構分布図 (1/2,500)

(2) 遺構

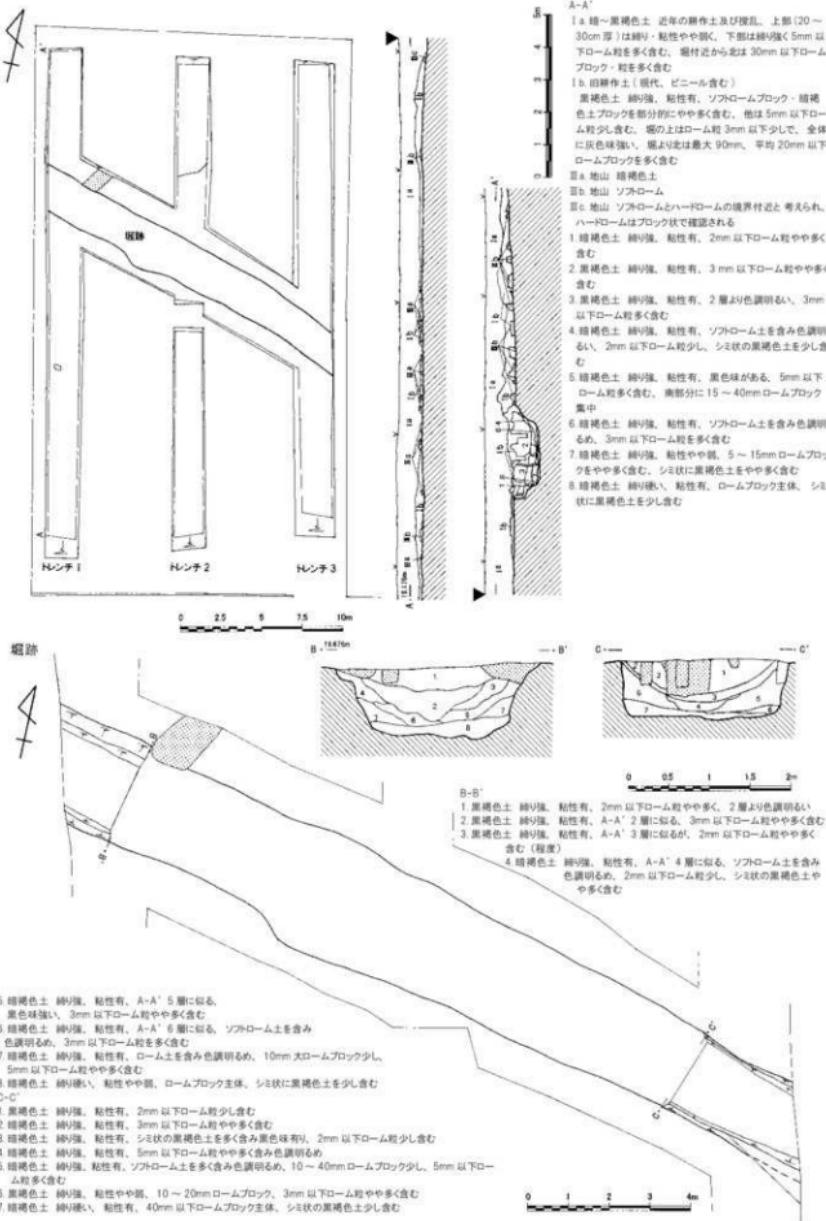
【堀跡】東西800mにわたって検出されている堀跡の一部を21mにわたって検出した。断面形は逆台形のいわゆる「箱兼研」底直上は掘り返したままの状態で、ロームブロック主体。覆土は全体に黒褐色から暗褐色土で縋り強く粘性がある。水性堆積の様相は認められない。

第42表 龜久保堀跡遺跡第31地点遺構一覧表(単位cm)

| No. | 平面形地 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-----|--------------------|---------|---------|--------|----------------------------------|
| 掘跡 | 東西直線21m～、断面透視形「箱型」 | 190～300 | 150～168 | 95～109 | 東西800m近く続く場 跡の一部。底はローム 圭主体 |

第41表 魚久保掘跡遺跡調査一覽表

| 地点 | 所在地 | 調査期間() | は試掘調査 | 面積(m ²) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|------------------------------------|---|---------|---------|--|------|------------|-------------|
| 1 東久保 260-1.2 他 | <A> C区-1997.4.2 ~ 6.19 <D> K区-1997.9.8 ~ 12 <E> K区-2000.5.16 ~ 19 | 2,610 | 区画整理道路 | 縄文：屋外炉1、土坑3、ビット73、中世：輪跡、講6、縄文土器片他。 (東久保区道跡第7地点) | | | 遺跡調査会報告第14集 |
| | | 120 | | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 東久保 6街区 4.5 両地 | (1997.9.11 ~ 25) | 127 | 個人住宅 | 近世以降：溝2。 | | | 町内遺跡群Ⅷ |
| 3 東久保 6街区 7.8 両地 | (1997.9.11 ~ 25) | 130 | 個人住宅 | 近世以降：溝1 | | | 町内遺跡群Ⅸ |
| 4 東久保 6街区 9.10 両地 | (1997.9.11 ~ 25) | 113 | 個人住宅 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 5 東久保 264-1.264-2.264-3.260 (2号跡地) | 1997.9.22 ~ 10.27 | 1,200 | 区画整理公園 | 縄文：落し穴1、土坑4、中世：輪跡、溝2、櫛列1 | | | 遺跡調査会報告第14集 |
| 6 東久保 6街区 11.12 両地 | (1997.9.11 ~ 25) | 102 | 個人住宅 | 中世：輪跡、近世以降：溝1。 | | | 町内遺跡群Ⅺ |
| 7 東久保 32街区 5.5.6 両地 | (1997.10.29 ~ 11.4) | 739 | 店 舗 | 縄文：落し穴1、中世：輪跡、溝2、櫛列1 | | | 町内遺跡群Ⅻ・Ⅹ |
| | 1998.2.2 ~ 19 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 8 東久保 32街区 7 両地 | (1998.11.12 ~ 16) | 165 | 砂利敷駐車場 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅼ |
| 9 東久保 32街区 2 両地の一部 | (1998.2.6 ~ 19) | 318 | 共同住宅 | 近世以降：溝2、櫛列 | | | 町内遺跡群Ⅶ |
| 10 東久保 5街区 9.10 両地 | 1998.2.24 ~ 3.10 | 131 | 個人住宅 | 中世：輪跡、縄文土器片2 | | | 町内遺跡群Ⅺ |
| 11 東久保 382.385 他 | <A> K区-1998.3.9 ~ 16 K区-1998.4.23 <C> K区-1998.5.20 ~ 21 | 436 | 区画整理道路 | 縄文：落し穴1、ビット3、石礫1。 | | | 遺跡調査会報告第14集 |
| | | 324 | 区画整理道路 | 近世：陶器片 | | | |
| | | | | | | | |
| 12 東久保 258-46 | (1998.5.8 ~ 21) | 123 | 個人住宅 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 13 東久保 5街区 11.12 両地 | (1998.5.8 ~ 21) | 107 | 個人住宅 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅺ |
| 14 東久保 2街区 11 両地 | (1998.5.1 ~ 7) | 132 | 個人住宅 | 近世以降：溝1 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 15 東久保 7.2街区 4.5 両地 | (1998.5.8 ~ 21) | 111 | 個人住宅 | 近世以降：溝1 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 16 東久保 5街区 18.19 両地 | (1998.5.29 ~ 6.1) | 117 | 個人住宅 | 溝2 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 17 東久保 253.254 億 | 1998.10.21 ~ 12.2 | 360 | 区画整理道路 | 田石器：削片2、中世以降：溝2、近世以降：土坑2 | | | 遺跡調査会報告第14集 |
| 18 東久保 7.2街区 1.2 ~ 9 両地 | (1998.11.3 ~ 30) | 908 | 個人住宅4軒分 | 縄文：落し穴1、溝6、土坑2、ビット3 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 19 東久保 4街区 11.12 両地 | (1998.11.3 ~ 10) | 99 | 個人住宅 | 溝3、土坑1、ビット2 | | | 町内遺跡群Ⅺ |
| 20 東久保 8街区 5 両地 | (1998.11.21 ~ 24) | 185 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 21 東久保 262.263.266 | (1999.4.19 ~ 22) | 232 | 個人住宅 | 溝1、ビット7 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 22 東久保 5街区 7.20 両地 | (1999.6.10 ~ 12) | 99 | 個人住宅 | 近世以降：ビット5 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 23 東久保 14街区 10 両地 | (1999.10.4 ~ 8) | 386 | 駐車場 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅺ |
| 24 東久保 6街区 14 両地 | 1999.12.14 ~ 16 | 105 | 個人住宅 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 25 東久保 8街区 9 両地 | 2000.4.10 ~ 12 | 187 | 個人住宅 | 中世：輪跡、土坑1 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 26 東久保 6街区 13 両地 | (2000.5.11 ~ 17) | 105 | 個人住宅 | 溝、櫛列 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 27 東久保 31街区 2.3 両地 | (2000.5.29 ~ 6.1) | 1,011 | 駐 車 場 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| | | | | | | | |
| 28 東久保 31街区 2.3 両地 | (2002.6.10 ~ 11) | 980 | 店 舗 | 試掘調査、土坑2 | | | 町内遺跡群Ⅺ |
| 29 東久保 29街区 3.6.9 両地 | (2000.9.28 ~ 29) | 1,365 | 整地工事 | 中世：輪跡（西側半分は第29地点で内調査） | | | 町内遺跡群Ⅹ |
| 30 ふじみ野 2丁目25番1号 | (2001.4.17) | 1,769 | 店 舗 | 中世：輪跡 | | | 町内遺跡群Ⅺ |
| | 2001.4.18 ~ 20 | | | (第28地点でプラン確認した部分の内調査) | | | |
| 31 ふじみ野 2-15-4 | (2009.2.6 ~ 10) | 695 | 店 舗 | 中世：輪跡、土坑1(風呂桶本体) | | | 遺跡調査会報告第14集 |
| | 2009.2.12 ~ 13 | 661 | 個人住宅建設 | 古代～中世：輪跡1 | | | 市内遺跡群6 |



第89図 亀久保塙跡遺跡第31地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150・1/60)、塙跡(1/120)

第 11 章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

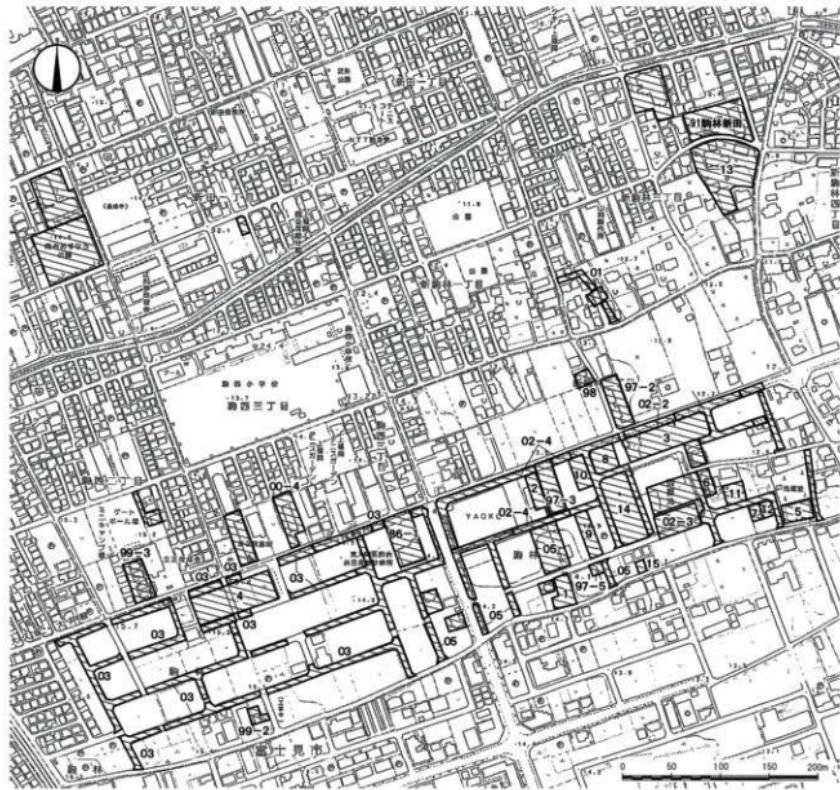
駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武藏野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高 12 ~ 15 m 前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北 300 m、東西 800 m の広大な範囲であったが、2002 年から 2004 年にかけて行なった駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大半の地域で遺構を確認できなかったため、大溝を検出した南北 160m、東西 80m の範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として 2004 年 3 月に追加した。

しかし、今回第 3 地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺 140

~ 160m の台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、北側にある葺石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側にある地下式坑を検出した駒林新田前遺跡を統合して駒林とし、2008 年 2 月に遺跡範囲の変更増補を行なった。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ、部分的に畠が残っている。

周辺の遺跡は、500m 下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稻荷久保北遺跡がある。

2002 年以降の試掘調査の結果、幅 4.2m、深さ 1.7m の大溝や茶毬跡を検出する。周辺の遺跡の様相から遺跡の時期は中世から近世と思われる。



第 43 表 駒林遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間() | 面積(m ²) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|--------------|--|-------------------------------------|---------------------|---------|---|--------------|
| 1 次 | 駒林字南原 353.354 | 1986.8.13 ~ 25 | 1,536 | 範囲確認調査 | 平安土器散在地 | 埋蔵文化財の調査(IX) |
| 1992 年度試掘(1) | 大字駒林字南原 341 | (1992.9.16 ~ 18) | 987 | 共同住宅 | 遺構・遺物無し | 埋蔵文化財の調査(15) |
| 1995 年度試掘(1) | 駒林字新田前 271-2 | (1995.11.8 ~ 24) | 231 | 個人住宅 | 溝 1 | 埋蔵文化財の調査(18) |
| 1996 年度試掘(1) | 駒林本町 153-3.4 | (1996.6.10 ~ 13) | 231 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 埋蔵文化財の調査(19) |
| 1997 年度試掘(1) | 駒林字新田前 266-2 | (1997.5.8 ~ 12) | 132 | 個人住宅 | 溝(1)時期不明 | 埋蔵文化財の調査(20) |
| 1997 年度試掘(2) | 駒林字新田前 223 | (1997.5.9 ~ 15) | 991 | 宅地造成 | 溝 1(時期不明) | 埋蔵文化財の調査(20) |
| 1997 年度試掘(3) | 駒林字新田前 291-1.2 | (1997.10.6 ~ 17) | 991 | 診療所 | 溝 1(時期不明) | 埋蔵文化財の調査(20) |
| 1998 年度試掘(1) | 駒林字新田前 312 | (1998.8.10) | 234 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 埋蔵文化財の調査(21) |
| 1999 年度試掘(1) | 駒林字南原 424-2 の一部 20 の一部 | (1999.4.9) | 330 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 埋蔵文化財の調査(22) |
| 1999 年度試掘(2) | 駒林字南原 394-2 | (1999.5.25) | 125 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 埋蔵文化財の調査(22) |
| 1999 年度試掘(3) | 駒林字南原 420-1 | (1999.7.1) | 1,322 | 札井堂(道場) | 溝 1(時期不明) | 埋蔵文化財の調査(22) |
| 2000 年度試掘(1) | 駒林字南原 344-2 | (2000.1.18 ~ 20) | 785 | 共同住宅 | 溝 1(時期不明) | 埋蔵文化財の調査(22) |
| 2002 年度試掘(1) | 駒林字新田前 238.240 ~ 242-1 の一部 | (2002.6.3 ~ 21) | 650 | 区画整理 | 溝 8、土坑 7、地下式坑 1 | 埋蔵文化財の調査(25) |
| 2002 年度試掘(2) | 駒林字新田前 243 ~ 245 | (2002.8.9 ~ 30) | 275 | 区画整理 | 溝 1、遺物無し | 埋蔵文化財の調査(25) |
| 2002 年度試掘(3) | 駒林字新田前 262-1.263.264 の一部 | (2002.8.30 ~ 9.19) | 1,120 | 区画整理 | 土坑 1、遺物無し | 埋蔵文化財の調査(25) |
| 2002 年度試掘(4) | 駒林字新田前 280 ~ 282.282.290.292-1 ~ 298 の一部 | (2002.11.11 ~ 27) | 1,150 | 区画整理 | 溝 4、遺物無し | 埋蔵文化財の調査(25) |
| 2003 年度試掘(1) | 駒林字新田前 263.273.275(字新田前) 試掘調査 | (2003.5.16 ~ 21) | 558 | 区画整理 | 溝 1 | 埋蔵文化財の調査(26) |
| 2003 年度試掘(2) | 駒林字南原 364 号外 41 第の一部(字南原) 試掘調査 | (2003.4.25 ~ 12.22) | 7,278 | 区画整理 | 遺構・遺物無し | 埋蔵文化財の調査(26) |
| 2003 年度試掘(3) | 駒林字南原 409.410 の一部(字南原) 試掘調査(区 6-10 号線予定地東端) | (2004.1.21) | 292 | | 遺構・遺物無し | 15 年度教育委嘱 |
| 2004 年度試掘(1) | 駒林字新田前 281 | (2006.1.7 ~ 24) | 1,487 | 範囲確認調査 | 溝 1 | 埋蔵文化財の調査(27) |
| 1 | 駒林土地区画整理事業地内 20 街区 4.8.9 | (2006.7.13 ~ 28) | 646 | 共同住宅 | 範跡、茶道具検出 | 市内遺跡群 3 |
| 2 | 駒林土地区画整理事業地内 17 街区 7.8 の一部 | (2006.11.21 ~ 29) | 421 | 専用住宅 | 範跡検出 | 市内遺跡群 3 |
| 3 | 駒林土地区画整理事業地内 21 街区 3.4 の一部 | (2006.11.30 ~ 12.18) | 1,916 | 店舗 | 近世遺構建設 | 市内遺跡群 3 |
| 4 | 駒林 B 地区 7 街区 3.4 | (2007.6.11 ~ 13) | 1,866 | 共同住宅 | 縄文: 土坑 1 | 市内遺跡群 4 |
| 5 | 大字駒林字新田前 256 (仮換地指定 30 街区 2) | (2008.4.9 ~ 16) 2008.5.30 ~ 6.28 | 509 | 分譲住宅 | 縄文: 葉石 3、中世: 地下式坑 1、竪穴状遺構 25、溝 4、縄文、ビット | 市内遺跡群 5、6 |
| 6 | 大字駒林字新田前 248-2 (仮換地 1 街区 27 号 1) | (2008.8.27) | 257 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡群 6 |
| 7 | 駒林土地区画整理事業地内 28 街区 5 画地 | (2009.2.3) 2009.2.4.5 | 152 | 個人住宅 | 時期不詳の甕・溝跡 2 | 市内遺跡群 6 |
| 8 | 大字駒林字新田前 245-5 | (2009.6.8) | 132 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 未報告 |
| 9 | 大字駒林字新田前 284 | (2009.7.22 ~ 30) 2009.7.30 ~ 8.5 | 892 | 共同住宅 | 縄文: 葉石土坑 1、土坑 2、ビット 9、溝 1 | 未報告 |
| 10 | 大字駒林字新田前 288-1 の一部 | (2010.2.17.18) | 400 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 未報告 |
| 11 | 駒林地区画整理事業 2 街区 2.10 画地, 11 画地 2 の一部 | (2010.4.12 ~ 21) | 689 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 未報告 |
| 12 | 駒林字新田前 258-2(28 街区 12 画地) | (2010.7.14) | 115 | 個人住宅 | 中世～近世: 溝確認 | 未報告 |
| 13 | 新駒林 3-722-1.3.4 | (2010.7.27 ~ 29) | 927 | 共同住宅 | 近世の土坑 2、ビット 11 | 未報告 |
| 14 | 駒林字新田前 285 ~ 287、288-2.3 (22 街区内) | (2010.9.1 ~ 8) | 2,000 | 公園工事 | 遺構・遺物無し | 未報告 |
| 15 | 大字駒林字新田前 266-3 (24 街区 12 号弓) | (2011.2.16.17) 2011.2.17 | 115 | 個人住宅 | 時期不詳の土坑 1 | 未報告 |

II 駒林遺跡第5地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2007年5月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南西端に立地し、隣接地では地下式坑や溝を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月9日から同年4月16日まで行った。幅約2mのトレンチを5本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、集石や暗褐色土の遺構プラン多数を確認した。遺構の性格を確認するため一部調査したところ、溝跡や地下式坑群であった。遺構確認面まで30cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はし

ていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で2008年5月30日から同年6月28日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、縄文時代の集石、中世以降の地下式坑、溝跡を検出した。

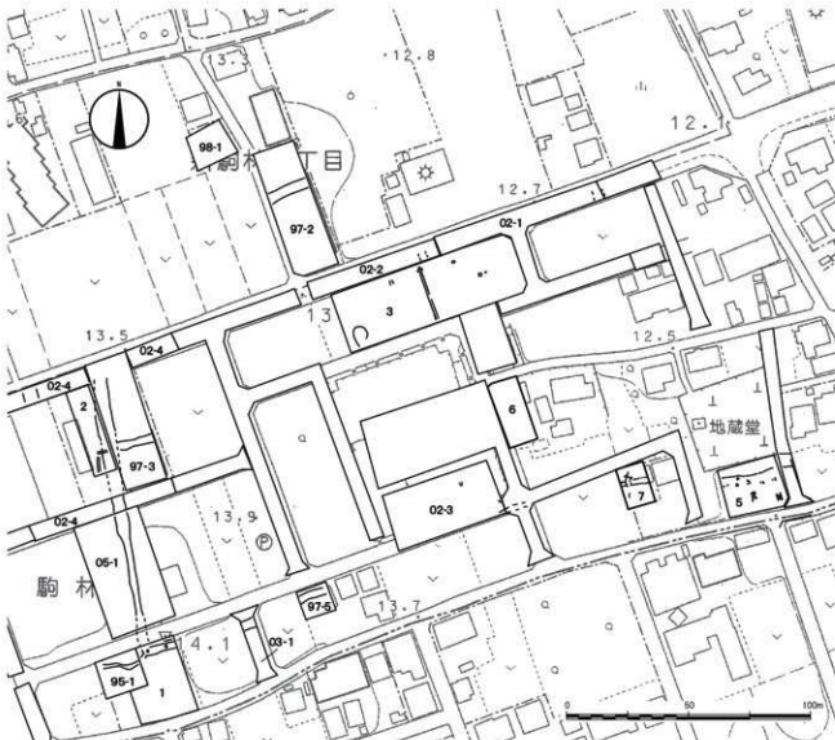
(第II部第1章「駒林遺跡第5地点の本調査」参照)

III 駒林遺跡第6地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年7月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡西側に立地するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年8月27日に行なった。幅約2



m のレンチを 2 本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで 40 cm を測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

【遺物】遺構外から泥メンチが 1 点出土した。

IV 駒林遺跡第 7 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2009 年 1 月 23 日付けて「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端に立地し、大溝の検出が予測されるため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2009 年 2 月 3 日に行なった。2 × 2m のグリッドを 5 カ所設定し、人力で表土除去し表面精査を行なった結果、溝跡らしき黒褐色土プランを検出した。確認面まで 70 cm を測り、保護層が確保されるため工事立会いとしたが、浄化槽設置箇所の E グリッドと駐車場の北西部分のみ本調査することとした。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2009 年 2 月 4 日から 5 日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、時期不明の溝跡 2 条を検出した。写真撮影・平板測量による全測図作成・遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【溝 1】調査区中央に東西方向の溝を 11m 検出した。本調査区東側の第 5 地点で検出した溝や、西側の 2002 年度試掘（3）で検出した溝に連なると思われ、遺跡全体では一辺 140 ~ 160m の台形区画に巡る溝に連なると思われる。中央で南北方向の溝 2 と重複し、溝 2 より古い。溝 2 は溝 1 が完全に埋没した後に構築している。

断面形態は「V」字形の薬研堀で、溝は黒褐色土で埋まるが、最上層の土が硬化している。

【溝 2】調査区中央に南北から東西へ湾曲する溝を 6 m 検出した。中央で東西方向の溝 1 と重複し、溝 1 より新しく、北側で重複する性格不明遺構より古い。溝 2 は溝 1 が完全に埋没した後に構築している。

断面形態は「V」字形の薬研堀で、溝は黒褐色土で埋まる。南側の溝 3 に連なる可能性がある。

【溝 3】調査区南側のグリッド内で検出した。

断面形態は「V」字形の西側が緩やかな片薬研堀で、溝は黒褐色土で埋まる。

【性格不明遺構】調査区北側に段差 20cm ほどの掘り込みを検出した。溝 2 と重複し溝 2 より新しい。

【遺物】全て遺構外出土。

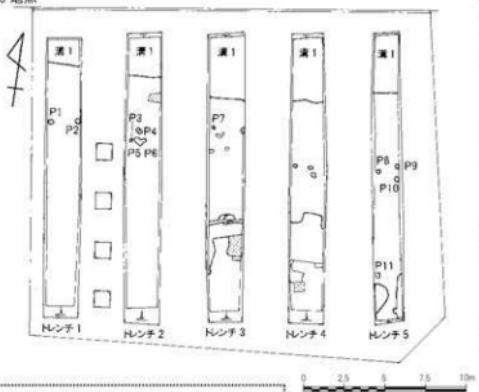
第 44 表 駒林遺跡第 7 地点遺構一覧表 (単位:cm)

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|------------|---------------------------------|-----------|------|-----|-----------------------|
| 溝 1 | 南北直線 11m ~、断面 V 字 形。「薬研堀」 | 225 ~ 235 | 62 ~ | 130 | 上層に硬化層。溝 2 より古 |
| 溝 2 | 南北、断面 V 字形。「薬研堀」 | 180 ~ 200 | 20 ~ | 114 | 溝 1 より新。性格不明遺構 より古 |
| 溝 3 | 南北、断面 V 字形。「薬研堀」 | (160) ~ | 25 ~ | 66 | 溝 2 と連なる可能性有 |
| 性格不 可追跡 | | 320 ~ | ~ | 20 | 溝 2 より新 |

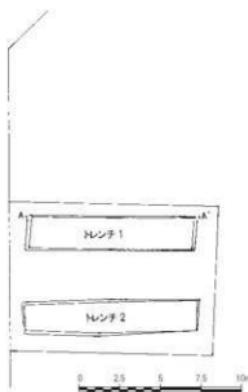
第 45 表 駒林遺跡第 6・7 地点出土遺物観察表 (単位:cm)

| 回数 番号 | 用紙 番号 | 遺構名 | 種別・器種 | 口径・長 | 底径・幅 | 高さ・厚 | 技法 / 文様 / その他 | 石材 / 推定生産地 | 推定年代・時期 | 残存 / 番号 |
|----------|----------|----------------|--------------|------|------|------|---|----------------------|----------------------|---------|
| 92-08 | 1 | 第 6 地点・ 遺構外 | 土製品・ 配面子 | 2.5 | 2.1 | 0.9 | 型押成形 / 連縛。裏面に初期江戸 / 砂粒少量含む / 棕色 / 注 目 No.1 トレー - 1 | 1790 年代 ~ 1890 年代 | 完形 | |
| 93-08 | 2 | 第 7 地点・ 遺構外 | 陶器・ ミニチュア | — | 1.7 | 0.5 | 型押成形 / 裏面に布目庄麻 / 透明釉、輪縁 / 灰白色 / 砂粒少 量含む / 注 No. H2 | 京都 | 17C 末 ~ — 漢代 | |
| | 3 | 第 7 地点・ 遺構外 | 土製品・ 配面子 | — | 2.9 | 0.9 | 型押成形 / 極 / 字。裏面に初期江戸 / 棕色 / 雲母、砂粒少 量含む / 注 No. H2 | | 1790 年代 ~ 1890 年代 | 一部欠 |
| | 4 | 第 7 地点・ 遺構外 | 土製品・ 基石? | 2.6 | 2.5 | 0.9 | 砂粒少量含む / 浅黄色 / 注 No. H2 | | | 完形 |

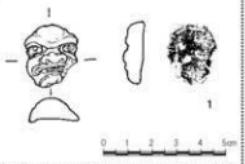
5 地点



6 地点



6 地点



6 地点

- 1 表土 ローム 硬く陥る
- 2 表土 粘土質 黒褐色土 緩ゆ有
- 3 埋土 黒褐色土とローム層の混合
- 4 ソフトローム 地山 黄褐色土 やや色は暗い
- 5 地山 黄褐色土

7 地点

7 地点

測定 A-A'

- 1 表土 粘作土 黒褐色土 細り有、粘性有。3mm以下ローム粒少し含む。黒色味がある
- 2 地山 粘褐色土 細り有、粘性有。地山の表面層、但し所々5mm以下ローム粒少し含む
- 3 黒褐色土 細り有、粘性有。2mm以下ローム粒わずかに含む。斑状に粘褐色土ブロックやや多く含む
- 4 黑褐色土 硬化。粘性有。5mm以下ローム粒少し含む。1mm以下ローム粒が目立つ
- 5 黑褐色土 細り有。5～10mmロームブロック。2mm以下ローム粒やや多く含む
- 6 黑褐色土 細り有、粘性有。3mm以下ローム粒少し含む
- 7 黑褐色土 細り有、粘性有。2mm以下ローム粒少し含む。黒色味は強い
- 8 黑褐色土 細り有、粘性有。ローム土を含む調子やや明るい。3mm以下ローム粒少し含む
- 9 黑褐色土 細り有、粘性有。ローム土を含み色調は明るい。15mm以下ロームブロックやや多く、5mm以下ローム粒多し含む

8 黑褐色土 細り有、粘性有。斑状にソフロームブロックをやや多く含む

B-B'

- 1 黑褐色土 細り有、粘性有。40mm以下ロームブロック多く含む
- 2 黑褐色土 細り有、粘性有。5mm大ロームブロック多く含む

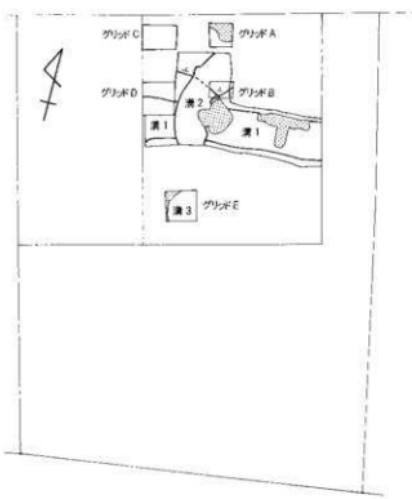
測定 C-C'

- 1 粘褐色土 細り有、粘性有。上部に黒褐色土の層が認められる。10mm大ロームブロック、5mm以下ローム粒やや多く含む
- 2 粘褐色土 細り有、粘性有。5～40mmロームブロック多く含む
- 3 粘褐色土 細り有、5mm以下ローム粒少し含む。粘性の有るシルト質の土が混ざる
- 4 粘褐色土 細り有、3mm以下ローム粒少し含む
- 5 粘褐色土 細り有、粘性有。5～10mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む
- 6 粘褐色土 細りや粗、粘性有。5～10mmロームブロック少しある
- 7 粘褐色土 細り有、粘性有。5～40mmロームブロック多く含む

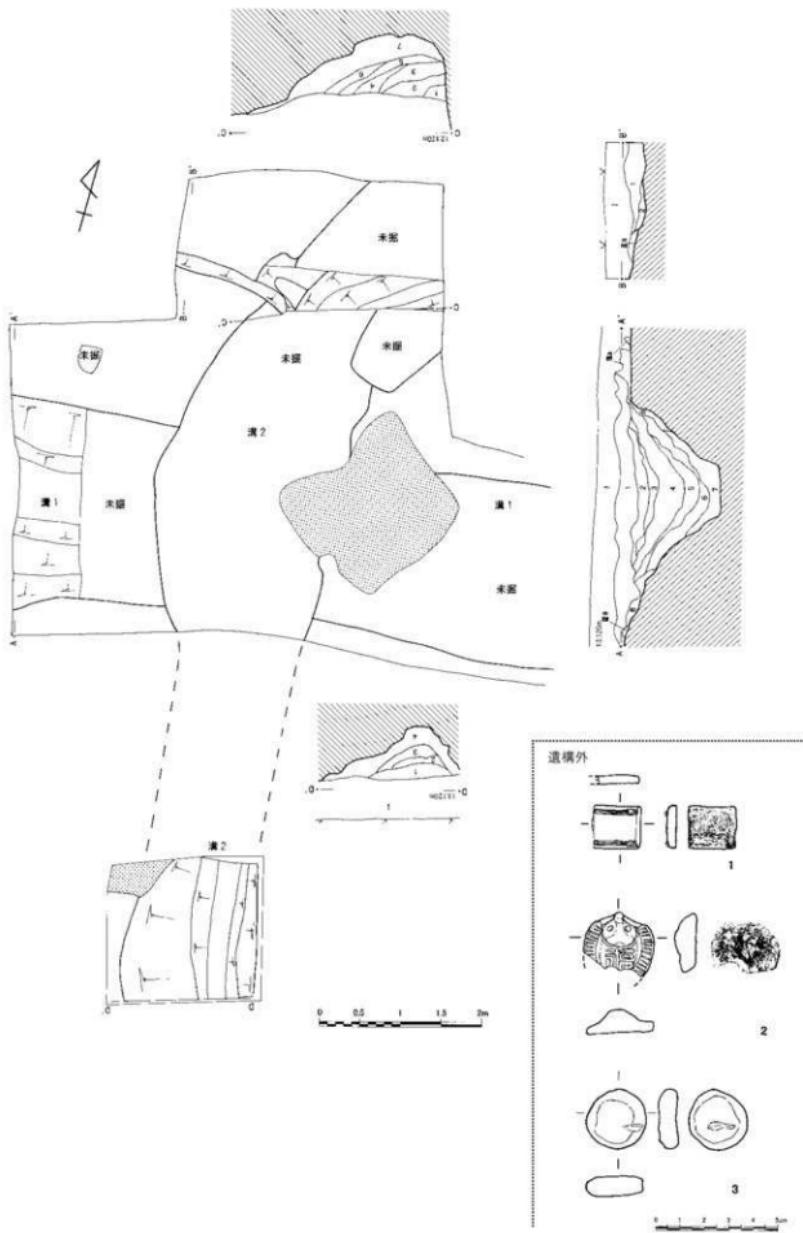
測定 D-D'

8 黑褐色土層Ⅲ

- 1 黑褐色土 細り有、粘性有。黒褐色土ベース、ソフロームブロック主体
- 2 粘褐色土 細り有、粘性有、黒褐色土ベース、粘褐色土（ソフローム移動層）ブロック主体
- 3 粘褐色土 細り有、粘性有。5～80mm以下ソフロームブロック多く、15mm以下黒褐色土ブロック少しある
- 4 黑褐色土 細り有、粘性有。最大60mm、平均5～15mm、ロームブロックやや多く含む



第92図 駒林遺跡第5～7地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、出土遺物(1/2)



第93図 駒林遺跡第7地点溝1～3 (1/60)、出土遺物 (1/2)

第12章 西ノ原遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武藏野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、淨禪寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東

久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武藏野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加により遺跡の破壊が進んでいる。と、同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40%が調査されてきている。1971年以来2011年3月現在で149地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、180軒を超す住居跡が環状集落として形成され、町内において東台遺跡と共に中期全般を通じ良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第94図 西ノ原遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第46表 西ノ原遺跡調査一覧表

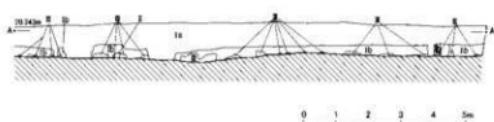
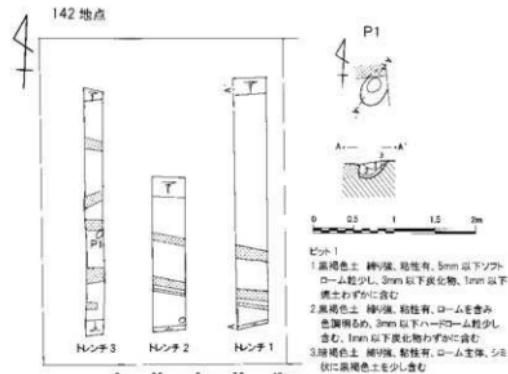
| 地名 | 所在地 | 調査期間 C : 11月調査日 L : 1月調査日 | 面積 ha | 調査面積 ha | 確認された遺跡と遺物 | 所轄報告書 | 地名 | 所在地 | 調査期間 C : 11月調査日 L : 1月調査日 | 面積 ha | 調査面積 ha | 確認された遺跡と遺物 | 所轄報告書 |
|----|------------|---------------------------------|----------|--|-------------|--------------|-----|------------|---------------------------------|----------|------------|-----------------------------------|------------|
| 1 | | 1981.1 | | | 石垣跡、土器、集落土坑 | 0-0001(0000) | 80 | 西ノ原 62-2 | 1985.9.23 - 25 | 3.15 | 古墳跡、土器 | 未確認 | 西ノ原62号 |
| 2 | 西ノ原 80 | 1978.12.6 - 26 | 27.9 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、石器、陶質瓦片、漆器 （漆器）、骨器 | 未確認 | 西ノ原80号 | 81 | 西ノ原 100 | 1993.8.2 - 3 | 2.25 | 古墳跡、土器 | 未確認 | 西ノ原100号 |
| 3 | | 1979.3 | | | 毛利遺跡 | 未確認 | 82 | 西ノ原 108 | 1993.5.1 - 3 | 2.49 | 古墳跡、土器 | 未確認 | 西ノ原108号 |
| 4 | 西ノ原 125 | 1979.7.2 - 3 | 0.65 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、石器、陶質瓦片、漆器 （漆器）、骨器 | 未確認 | 西ノ原125号 | 83 | 西ノ原 136-1 | 1995.8.23 - 30 | 1.98 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器） | 西ノ原136号 |
| 5 | | 1979.8.1 - 14 | | 毛利遺跡 （山頂）、土器、骨器 | 未確認 | 西ノ原5号 | 84 | 西ノ原 136-2 | 1995.11.20 - 23 | 1.28 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、ビトコ | 西ノ原136号 |
| 6 | 西ノ原 170 | 1993.6.18 - 27 | 4.50 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、骨器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原170号 | 85 | 西ノ原 181-1 | 1996.1.30 - 29 | 0.64 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原181号 |
| 7 | 西ノ原 196 | 1980.10.10 - 20 | 0.63 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、骨器 | 未確認 | 西ノ原196号 | 86 | 西ノ原 181-2 | 1996.2.22 - 25 | 0.68 | 個人住宅 | 土器、ビット、漆 | 西ノ原181号 |
| 8 | 西ノ原 95-3 | 1980.10.30 - 11.18 | 0.60 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、骨器 | 未確認 | 西ノ原95-3号 | 87 | 西ノ原 182-1 | 1996.1.14 - 17 | 2.44 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原182号 |
| 9 | 西ノ原 93-108 | 1981.6.1 - 23 | 0.60 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、骨器 | 未確認 | 西ノ原93-108号 | 88 | 西ノ原 182-2 | 1996.7.21 - 22 | 1.43 | 個人住宅 | 土器、ビット、漆器、鐵安-010408-02 （土器）、土器 | 西ノ原182号 |
| 10 | 西ノ原 180 | 1981.11.4 - 13 | 4.00 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原180号 | 89 | 西ノ原 183-1 | 1996.7.17 - 18 | 1.43 | 個人住宅 | 土器、漆器 | 西ノ原183号 |
| 11 | 西ノ原 143-4 | 1983.5.23 - 27 | 1.98 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原143-4号 | 90 | 西ノ原 183-2 | 1996.8.7 - 8 | 1.47 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原183-2号 |
| 12 | 西ノ原 223-3 | 1983.6.7 - 8.11 | 3.00 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原223-3号 | 91 | 西ノ原 184-1 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原184-1号 |
| 13 | 西ノ原 114-6 | 1983.10.3 - 11.18 | 0.60 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原114-6号 | 92 | 西ノ原 184-2 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原184-2号 |
| 14 | 西ノ原 143 | 1983.10.24 - 11.7 | 2.00 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原143号 | 93 | 西ノ原 185-1 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原185-1号 |
| 15 | | | | | | | 94 | 西ノ原 185-2 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原185-2号 |
| 16 | | | | | | | 95 | 西ノ原 186-1 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原186-1号 |
| 17 | 西ノ原 35-5 | 1985.5.13 - 22 | 16.7 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原35-5号 | 96 | 西ノ原 186-2 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原186-2号 |
| 18 | 西ノ原 141-1 | 1985.6.26 - 8.5 | 16.65 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原141-1号 | 97 | 西ノ原 187-1 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原187-1号 |
| 19 | 西ノ原 135-5 | 1986.7.26 - 7.28 | 2.00 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原135-5号 | 98 | 西ノ原 187-2 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原187-2号 |
| 20 | 西ノ原 133-1 | 1986.11.1 - 18 | 3.63 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原133-1号 | 99 | 西ノ原 188-1 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原188-1号 |
| 21 | 西ノ原 95-1 | 1986.12.22 - 1990.1.20 | 4.47 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原95-1号 | 100 | 西ノ原 188-2 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原188-2号 |
| 22 | | 1987 | | | | | 101 | 西ノ原 189-1 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原189-1号 |
| 23 | | | | | | | 102 | 西ノ原 189-2 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原189-2号 |
| 24 | | | | | | | 103 | 西ノ原 190-1 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-1号 |
| 25 | | | | | | | 104 | 西ノ原 190-2 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-2号 |
| 26 | | | | | | | 105 | 西ノ原 190-3 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-3号 |
| 27 | | | | | | | 106 | 西ノ原 190-4 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-4号 |
| 28 | | | | | | | 107 | 西ノ原 190-5 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-5号 |
| 29 | | | | | | | 108 | 西ノ原 190-6 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-6号 |
| 30 | | | | | | | 109 | 西ノ原 190-7 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-7号 |
| 31 | 西ノ原 115-1 | 1989.11.4 - 11 | 2.23 | 毛利遺跡 （山頂）、土器 | 未確認 | 西ノ原115-1号 | 110 | 西ノ原 190-8 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-8号 |
| 32 | 西ノ原 122 | 1989.1.10 - 19 | 2.75 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原122号 | 111 | 西ノ原 190-9 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-9号 |
| 33 | 西ノ原 133-2 | 1989.1.10 - 19 | 2.75 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原133-2号 | 112 | 西ノ原 190-10 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-10号 |
| 34 | 西ノ原 171 | 1989.1.24 - 21 | 2.75 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原171号 | 113 | 西ノ原 190-11 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-11号 |
| 35 | | | | | | | 114 | 西ノ原 190-12 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-12号 |
| 36 | | | | | | | 115 | 西ノ原 190-13 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-13号 |
| 37 | | | | | | | 116 | 西ノ原 190-14 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-14号 |
| 38 | 西ノ原 142-2 | 1990.1.29 - 6.2 | 0.72 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原142-2号 | 117 | 西ノ原 190-15 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-15号 |
| 39 | 西ノ原 142-2 | 1990.1.29 - 6.12 | 0.72 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原142-2号 | 118 | 西ノ原 190-16 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-16号 |
| 40 | 西ノ原 142-2 | 1990.1.29 - 6.12 | 0.72 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原142-2号 | 119 | 西ノ原 190-17 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-17号 |
| 41 | | | | | | | 120 | 西ノ原 190-18 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-18号 |
| 42 | 西ノ原 142-2 | 1990.2.1 - 19 | 0.72 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原142-2号 | 121 | 西ノ原 190-19 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-19号 |
| 43 | 西ノ原 153-3 | 1990.1.26 - 7 | 2.72 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原153-3号 | 122 | 西ノ原 190-20 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-20号 |
| 44 | | | | | | | 123 | 西ノ原 190-21 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-21号 |
| 45 | | | | | | | 124 | 西ノ原 190-22 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-22号 |
| 46 | 西ノ原 82-2 | 1991.4.9 - 10 | 1.00 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原82-2号 | 125 | 西ノ原 190-23 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-23号 |
| 47 | 西ノ原 136-2 | 1991.7.26 - 27 | 1.43 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原136-2号 | 126 | 西ノ原 190-24 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-24号 |
| 48 | 西ノ原 136-2 | 1991.7.26 - 27 | 1.43 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原136-2号 | 127 | 西ノ原 190-25 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-25号 |
| 49 | 西ノ原 136-2 | 1991.7.26 - 27 | 1.43 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原136-2号 | 128 | 西ノ原 190-26 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-26号 |
| 50 | 西ノ原 136-2 | 1991.7.26 - 27 | 1.43 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原136-2号 | 129 | 西ノ原 190-27 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-27号 |
| 51 | 西ノ原 111-12 | 1991.11 - 12 | 7.62 | 毛利遺跡 （山頂）、土器、鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 未確認 | 西ノ原111-12号 | 130 | 西ノ原 190-28 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-28号 |
| 52 | 西ノ原 136-2 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原136-2号 | 131 | 西ノ原 190-29 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-29号 |
| 53 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 132 | 西ノ原 190-30 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-30号 |
| 54 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 133 | 西ノ原 190-31 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-31号 |
| 55 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 134 | 西ノ原 190-32 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-32号 |
| 56 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 135 | 西ノ原 190-33 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-33号 |
| 57 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 136 | 西ノ原 190-34 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-34号 |
| 58 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 137 | 西ノ原 190-35 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-35号 |
| 59 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 138 | 西ノ原 190-36 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-36号 |
| 60 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 139 | 西ノ原 190-37 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-37号 |
| 61 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 140 | 西ノ原 190-38 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-38号 |
| 62 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 141 | 西ノ原 190-39 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-39号 |
| 63 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 142 | 西ノ原 190-40 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-40号 |
| 64 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 143 | 西ノ原 190-41 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-41号 |
| 65 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 144 | 西ノ原 190-42 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-42号 |
| 66 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 145 | 西ノ原 190-43 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-43号 |
| 67 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | 146 | 西ノ原 190-44 | 1996.8.10 - 12 | 1.43 | 個人住宅 | 鐵安-010408-02 （土器）、漆器 | 西ノ原190-44号 |
| 68 | 西ノ原 126 | 1992.1.23 - 25 | 2.53 | 個人住宅 | 未確認 | 西ノ原126号 | | | | | | | |

II 西ノ原遺跡第142地点

(1) 調査の概要

調査は学生寮建設に伴うもので、原因者より2008年2月12日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南東側に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月4日から同年4月7日まで行なった。1mと2m幅のトレンチを3ヵ所設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行なった。調査の結果、黒褐色の遺構らしき範囲を検出したので調査したが、自然の窪みであった。その他には遺構・遺物は検出しなかった。確認面まで90~120cmを測る。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。



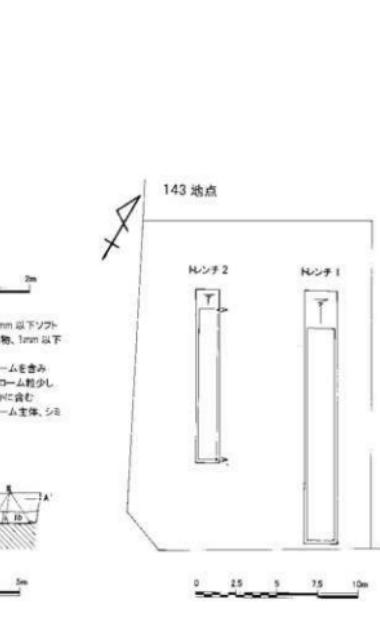
- I** 残土 近年の盛土 土質は多样、上部は綈弱強、粘性弱で礫を多く含む褐色土、中位は綈弱強、粘性有でロームを多く含む褐色土。
下部は綈弱強、粘性弱で礫を多く含む石質の土。
- Ib** 接着粘土 糠状強、粘性有、現代の耕作土、耕作層内にロームブロックや多く、全層にローム粒や多く灰化物少し、ビニール含む
- II** 黒褐色土 糠状強、粘性有、10mm以下ソフトロームブロック少し、5mm以下ソフトローム粒少し、2mm以下黑褐色土粒わざかに含む
- III** 地山ソフトローム

III 西ノ原遺跡第143地点

(1) 調査の概要

調査は学生寮建設に伴うもので、原因者より2009年1月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南東側に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年3月23日に行なった。1.5mと2m幅のトレンチを2ヵ所設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで120~160cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第95図 西ノ原遺跡第142・143地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、ピット(1/60)

第13章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1.500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。本遺跡の最初の調査は1987年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2010年3月現在36地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

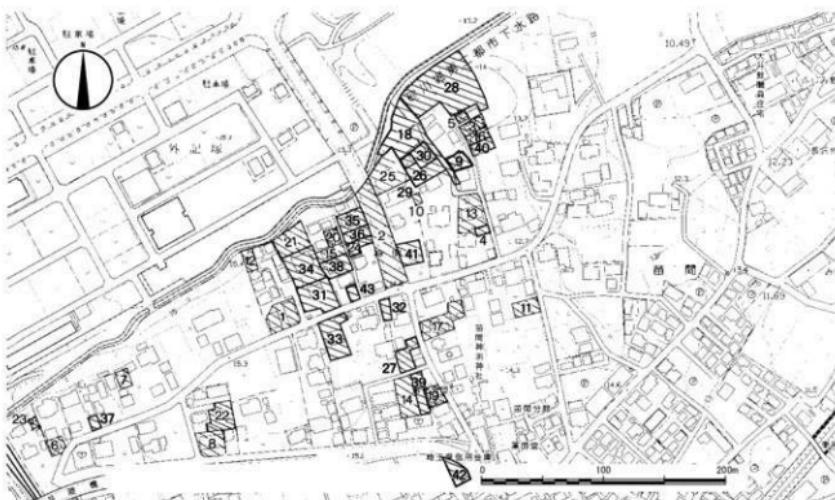
これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

II 神明後遺跡第33地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅及び個人専用住宅の建設に伴うもので、原作者より2008年3月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月25日から同年5月16日まで行なった。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土プランを検出した。遺構の性格を確認するためさらに一部を掘り下げ確認したところ、縄文時代の落とし穴、近世以降の井戸、土坑、ピット、溝等であった。確認面まで80cmを測るが、建築による遺構への影響がないため工事立会いとした。写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

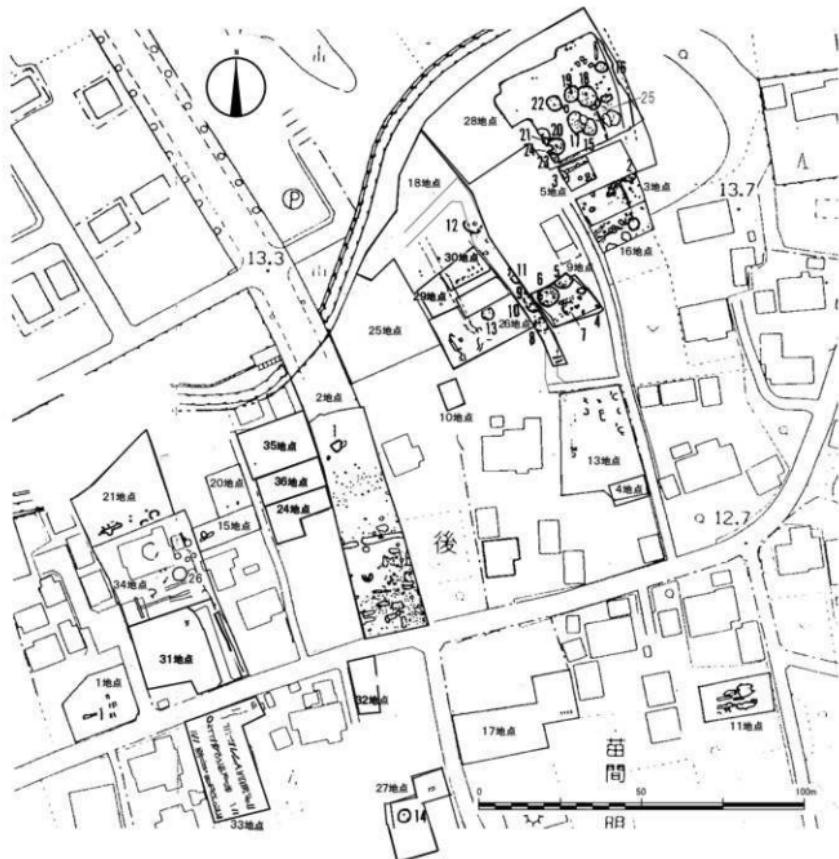


第47表 神明後遺跡調査一覧表

| 地點 | 所在地 | 調査期間（） | 面積（m ² ） | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|-----|---|--|---------------------|--------|---|-----------|
| 1 | 苗間 281-1 | 1993.5.6～11 | 615 | 共同住宅 | 遺構無し。平安時代須恵器片、陶器片 | 町内遺跡群Ⅲ |
| 2 | 苗間 295-2,299-3 | 1993.5.12～20 | 1,688 | 油路築造 | 落とし穴 1、平安往來跡 1(11号)、縄文土坑 1、中・近世柱建物跡、地下式廁 1、井戸 1、罐 | 町内遺跡群Ⅲ |
| 3 | 苗間 309-12 | (1995.3.24～29) 1995.4.3～5.19 | 200 | 分譲住宅 | | 町内遺跡群Ⅳ |
| 4 | 苗間 302 | (1996.6.17～19) | 703 | 物置 | 遺構無し、縄文土器片 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 5 | 苗間神明後 395-5 | (1997.3.15) | 80 | 個人住宅 | 縄文往來跡 1(2号)、灰化 2、埋甕 1、土坑 2、ビット 34 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 6 | 苗間 255,227-2 | (1997.9.29～30) | 150 | 個人住宅 | 土坑 1、土石坑 1、石器片 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 7 | 苗間 260 | (1998.6.1～2) | 1,460 | 個人住宅 | 近世地下室 1 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 8 | 苗間 235-1 | (1998.7.13～24) | 458 | 共同住宅 | 集石土坑 1、土坑 2、ビット 40、柵列 1、溝 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 9 | 苗間 310-1 | (1998.9.1～11) | 219 | 共同住宅 | 縄文往來跡 4、集石土坑 1、落とし穴 1、縄文土坑 2、近世土坑 1、井戸 2、地下室 1、ビット 33 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 10 | 苗間 298-1 | (1999.9.16) | 44 | 個人住宅 | 遺構無し、縄文土器片 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 11 | 苗間 366 | (1999.10.21) 1999.10.22～26 | 239 | 個人住宅 | 土坑 17、ビット 7 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 12 | 苗間 282-2,5 | (2000.3.6) | 211 | 共同住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡群Ⅴ |
| 13 | 苗間 302-1 | (2000.4.17～19) | 694 | 個人住宅 | 土坑 12、ビット | 町内遺跡群Ⅴ |
| 14 | 苗間 252-2 | (2000.8.18～23) | 357 | 共同住宅 | 土坑 1、近世柱建物跡 1、溝 2、井戸 1、柵列、ビット 38 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 15 | 苗間 293-15 | (2001.4.11) 2001.4.12～13 | 163 | 個人住宅 | 集石土坑 1 (阿玉台跡) | 町内遺跡群Ⅴ |
| 16 | 苗間 309-14 | (2001.7.23～24) 2001.7.25～9.3 | 165 | 個人住宅 | 縄文屋外理4、土坑 13、溝 2、地下式廁 1、地下室 1、堅穴状遺構 1、ビット 38 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 17 | 苗間 369-1 | (2002.3.28) | 581 | 個人住宅 | 近世溝 | 町内遺跡群Ⅴ |
| 18 | 苗間 304-1,303-6 | (2002.5.15～25) 2002.5.27～6.21 | 672 | 分譲住宅 | 縄文中期往來跡 5(8～12号)、土坑、古窯・中世鍋 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 19 | 苗間 264-4 | (2002.9.18～20) | 216 | 個人住宅 | 堅田溝、溝 4 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 20 | 苗間 293-11 | (2003.1.14～15) | 143 | 個人住宅 | 中・近世溝 2、ビット 2 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 21 | 苗間 283-1 | (2003.1.10～30) | 674 | 土地造成 | ビット 7、井戸 1、近世地下室 2、土坑 1 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 22 | 苗間 235-2,3 | (2003.7.8～29) | 430 | 分譲住宅 | 井戸 1、土坑 10、ビット 38、江戸後期陶磁器 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 23 | 苗間 253 | (2004.4.9) | 62 | 個人住宅 | 地下室 1、践踏 | 町内遺跡群Ⅵ |
| 24 | 苗間神明後 293-4,10 | (2004.9.30～10.7) | 148 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡群Ⅵ |
| 25 | 苗間 295-1 | (2004.9.30～10.7) | 660 | 店舗併用住宅 | 遺構・遺物無し | 町内遺跡群Ⅵ |
| 26 | 苗間神明後 301,303- 3,303-4,303-5,304-1,303-7 | (2005.6.1～8) 2005.6.15～30 | 689 | 分譲住宅 | 縄文中期往來跡 1(13号) 中世地下水道、近世土坑 5、溝 | 調査会報告 18集 |
| 27 | 苗間 248,2,249-1 | 2005.7.20～25 2005.7.27～29 | 385 | 共同住宅 | 縄文中期往來跡 1(14号) | 調査会報告 18集 |
| 28 | 苗間神明後 306-1 | (2006.5.8～31) 2006.6.29～10.5 | 2,171 | 宅地造成 | 縄文中期往來跡 1(15号～25号)、集石 23、土坑 5、落とし穴 1、砂円穴 3、ビット、溝、古代・中世鍋跡 1 | 市内遺跡 3 |
| 29 | 苗間神明後 303-21,24 | (2006.5.8～11) 2006.5.12.14～19 | 136 | 個人住宅 | ビット 1、古代・中世鍋跡 1 | 市内遺跡 3 |
| 30 | 苗間神明後 303-1 | (2006.5.8～19) 2006.6.12.14～19 | 101 | 個人住宅 | ビット 12 | 市内遺跡 3 |
| 31 | 苗間神明後 284 | (2007.8.3～7) | 499 | 個人住宅 | 土坑 2 | 市内遺跡 4 |
| 32 | 苗間神明後 247-2 | (2008.3.13) | 136 | 個人住宅 | 近・現代亂層 | 市内遺跡 4 |
| 33a | 苗間 240-2 | (2008.4.25～5.16) | 298 | 個人住宅 | 落とし穴 1、中世以降溝 6、井戸 2、土坑 38、ビット 16 | 市内遺跡 6 |
| 33b | 苗間 240-2 | (2008.4.25～5.16) | 357 | 分譲住宅 | | 市内遺跡 6 |
| 34 | 苗間神明後 283- 1,284-1 の一部 | (2008.4.30～5.15) 2008.5.16～28 | 1,693 | 個人住宅 | 縄文中期往來跡 1(26号)、落とし穴 1、集石 3、ビット | 市内遺跡 5 |
| 35 | 苗間神明後 293-6,6.20 | (2008.8.1) | 247 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡 6 |
| 36 | 苗間神明後 293-3 | (2008.9.2) | 165 | 個人住宅 | ビット 1 | 市内遺跡 6 |
| 37 | 苗間 258-1 の一部 | (2009.4.13) 2009.4.15～30 | 120 | 個人住宅 | 縄文後期往來跡 1 | 未報告 |
| 38 | 苗間神明後 293-129,213 | (2009.7.6～14) | 265 | 個人住宅 | 中世溝 1 | 未報告 |
| 39 | 苗間神明後 264-1 | (2009.8.5～12) 2009.8.24～9.1 | 378 | 共同住宅 | 中～近世溝 2、ビット 28、落とし穴 1 | 未報告 |
| 40 | 苗間 309-1 | (2009.11.9～18) 2009.12.18～2010.1.15 | 156 | 個人住宅 | 縄文集石土坑 1、中世地下水道 2、井戸 1、堅穴状遺構 1、土坑 9 | 未報告 |
| 41 | 苗間神明後 298-1,299-1 の各一部 | (2010.5.25～31) 2010.6.15～7.21 | 486 | 共同住宅 | 縄文時代集石土坑 1、中世の堅穴状柱建物跡、方形堅穴状遺構 16、溝 5、木炭塗 1、ビット 214、本調査(140 m) | 未報告 |
| 42 | 苗間神明後 380-3 | (2010.6.1～2) | 312 | 宅地造成 | 遺構・遺物無し (隣接地) | 未報告 |
| 43 | 苗間 292-14 | (2010.10.20～22) 2010.10.22 | 107 | 個人住宅 | 中世～近世期ビット 7、本調査 | 未報告 |

第48表 神明後遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

| 地番 番号 | 調査 年 | 平面形 状 (1/1, 000) | 面積 | 計 | | 壁 厚 | 床 高 | 床 構 造 | 構 造 | 期別 | 文獻 |
|----------|---------------|------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|---------------------|---------------------|-----------|------------|
| | | | | 柱 間 | 柱 距 | | | | | | |
| 1号 | 10% (1970) | 不規 | 480 | | | 10cm | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 2号 | 65% (1970) | 不規 < 435 × 16 | 27 | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 3号 | 45% (1970) | 410 × 980 × 30 | 40 | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 4号 | 12% (1970) | 780 | ○ | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 5号 | 40% (1970) | 365 × 7 × 33 | — | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 6号 | 95% (1970) | 396 × 543 × 45 | ○ | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 7号 | 70% (1970) | 490 × 408 × 15 | ○ | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 8号 | 70% (1970) | 380 × 7 | — | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 9号 | 30% (1970) | 1600 × 270 | 480 | ○ | ○ | 10cm | 1.5m | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 10号 | 50% 不規 | 1300 × 230 × 50 | 480 | ○ | ○ | 9号を参考 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 11号 | 40% (1970) | 1600 × 7 × 30 | 480 | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 12号 | 70% (1970) | 2750 × 330 × 80 | — | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 13号 | 25% 耐候性 床板 | 343 × 320 × 13 | ○ | ○ | ○ | 有 | 1.5m | 木造平 床板 | 耐候性土 質、耐久性 良好 | 耐候性土 質 | 大和前 古文化 |
| 14号 | 25% 耐候 | 404 × 403 × 20 | — | — | — | 2.4m柱 | 2.4m | 耐候性 床板 | 耐候性 床板 | 耐候性 床板 | 耐候性 床板 |



第97図 神明後遺跡遺構分布図 (1/1,500)

(2) 遺構と遺物

【溝1】溝1は調査区南端、東西方向に位置する。井戸等は溝の埋没後に掘削されている。

溝2は調査区北側北西から南東方向に位置する。断面形態は深い角形、底はローム塊主体の土層である。根切り溝の様相を呈する。

溝4、6は溝2から分派するように平行する。溝5は調査区北端、道路と平行する東西方向に位置する。

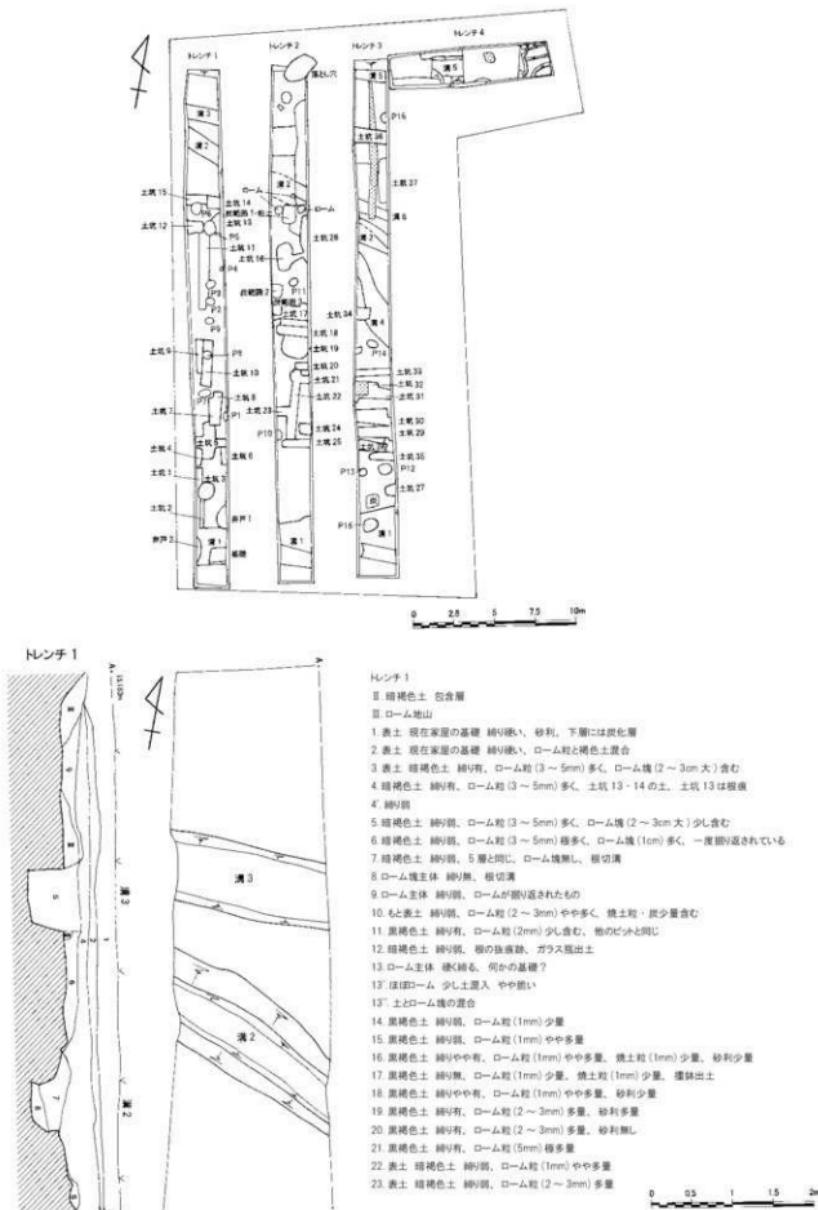
【落とし穴】調査区北端に位置する。長軸方位はN-36°-Eである。下層はローム主体の土で埋る。

【井戸】井戸1、2とも調査区南西部に位置し、溝1埋没後に掘削されている。

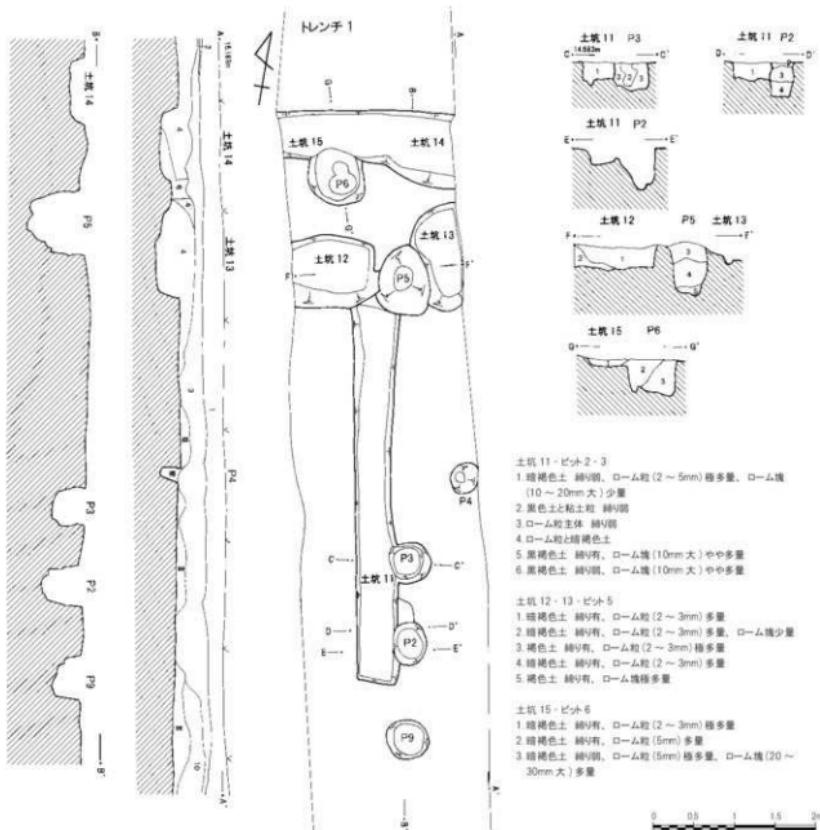
【土坑】ほとんどの土坑は長方形、断面角形で方位も南北か東西である。イモ類を貯蔵するための「イモビツ」と思われる。

第49表 神明後遺跡第33地点遺構一覧表 (単位cm)

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 | No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-------|-------------------------------|--------------|--------------|----------------------------|-----------------------|------|------------|---------------|-------------|----|----------------------|
| 溝1 | 直線12m~, 断面V字形 | 180 × 250 | 25 ~ 80 ~ 67 | 42 ±1.2と井1, 2 はP1より新 | | 土坑23 | (長方形), 断面L | (72) × 48 | (70) × 35 | 11 | 土22より旧 |
| 溝2 | 直線14m~, 断面L字形 | 80 ~ 108 | 25 ~ 35 | 48 | 根切り溝、ローム塊主体 | 土坑24 | (長方形), 断面L | (62) × 57 | (60) × 48 | 28 | 溝1, 土2より新、 土26より旧 |
| 溝3 | | | | 31 | 土38に変更 | 土坑25 | (長方形), 断面L | (168) × 40 | | | 溝1, 土2より新、 土27より旧 |
| 溝4 | 直線5.6m~, a 断面粗状 b 断面U字形 | 70 ~ 62 ~ 72 | 28 ~ 38 | 31 24 | 二股(a, b)に 分かれる | 土坑26 | | (350) × (300) | (350) × 25 | 29 | 溝2より旧 |
| 溝5 | 直線12m~, 断面浅V字形 | 150 ~ | 100 ~ | 36 | 道路間に並行する | 土坑27 | 長方形 | (57) × 72 | (45) × (50) | 12 | |
| 溝6 | 直線2m~, 断面V字形 | 60 ~ 90 | 35 ~ 65 | 13 | | 土坑28 | 長方形 | (165) × 50 | | | |
| 落とし穴1 | 楕円形 | 200 × 124 | 150 × 28 | 176 | 下層はローム主体 | 土坑29 | (長方形), 断面L | (200) × 60 | | 38 | 30 |
| 井戸1 | (円形) | (145) × (43) | | × | 未脈、縫合出土 | 土坑30 | (長方形), 断面L | (190) × 80 | | 42 | 29 |
| 井戸2 | (円形) | 128 × (55) | | × | 溝1, 土2より新、 未脈、鉄輪出土 | 土坑31 | (長方形), 断面L | (60) × 70 | | 40 | 23 |
| 土坑1 | (長方形), 断面L | (375) × (28) | (372) × (25) | 27 | 溝1, 土2より新、 土3より旧 | 土坑32 | (長方形), 断面L | (200) × 100 | | | |
| 土坑2 | (長方形), 断面L | (185) × (45) | (185) × (34) | 9 | 溝1より新、 土1, 3より旧 | 土坑33 | (長方形), 断面L | (200) × 45 | | 40 | 10 |
| 土坑3 | 楕円形 | 95 × 78 | 66 × 62 | 40 | ±1, 2より新 | 土坑34 | (長方形), 断面L | (80) × 70 | | 46 | |
| 土坑4 | (長方形), 断面L | 120 × (50) | 98 × (42) | 14 | | 土坑35 | (長方形), 断面L | (150) × 50 | | 15 | 65 |
| 土坑5 | 十字形 | 235 × 75 | 215 × 62 | 15 | ±7より旧 | 土坑36 | (長方形), 断面L | (200) × 80 | | 60 | 44 |
| 土坑6 | (長方形), 断面L | 105 × (24) | 98 × (18) | 8 | | 土坑37 | (長方形), 断面L | (280) × (65) | 265 × (58) | 4 | |
| 土坑7 | 長方形、断面L | 163 × 52 | 155 × 42 | 10 | 土5, 8より新 | 土坑38 | 長方形 | (200) × 85 | (200) × 65 | 40 | 田耕3 |
| 土坑8 | 長方形、断面L | 160 × 58 | 145 × 47 | 8 | ±7より旧 | P1 | (円形) | (55) × | (40) × | 47 | |
| 土坑9 | 長方形、断面L | 203 × (33) | 190 × (28) | 11 | ±10より旧 | P2 | 楕円形 | 52 × 40 | 38 × 30 | 50 | ±11より新 |
| 土坑10 | 長方形、断面L | 238 × 50 | 275 × 45 | 17 | ±9より新 | P3 | 楕丸形 | 50 × 48 | 31 × 30 | 39 | ±11より新 |
| 土坑11 | 長方形、断面L | 460 × 50 | 450 × 37 | 25 | P2, 3より旧 | P4 | 楕円形 | 38 × 30 | 12 × 10 | 32 | |
| 土坑12 | (長方形), 断面L | (100) × 90 | (95) × 65 | 30 | | P5 | 楕円形 | 85 × 60 | 32 × 22 | 60 | ±13より旧 |
| 土坑13 | (楕円形) | 130 × (60) | 105 × (50) | 30 | P5より新 | P6 | 円形 | 68 × 67 | 40 × 33 | 45 | ±15より旧 |
| 土坑14 | 長方形、断面L | (85) × 90 | (85) × 65 | 10 | | P7 | 楕円形 | 78 × 50 | 18 × 30 | 43 | 脚向ピット |
| 土坑15 | (長方形), 断面L | (150) × 65 | (150) × 52 | 10 | P6より新 | P8 | 楕円形 | 58 × 50 | 42 × 30 | 50 | |
| 土坑16 | 長方形(T字形) | 172 × 90 | 145 × 68 | 14 | | P9 | 円形 | 52 × 50 | 38 × 38 | 33 | |
| | 溝部分 | 80 × 35 | | 15 | 13 | P10 | 楕円形 | 62 × 47 | 23 × 15 | 52 | |
| 土坑17 | (長方形), 断面L | (155) × 95 | (155) × 55 | 59 | ±18より新 | P11 | 楕円形 | 62 × 48 | 32 × 24 | 43 | |
| 土坑18 | 長方形、断面L | 180 × 68 | 160 × 57 | 40 | ±17, 19より旧 | P12 | 楕円形 | 73 × 68 | 48 × 50 | 38 | |
| 土坑19 | 長方形、断面L | 148 × 128 | 48 × | 34 | ±18, 20より新 | P13 | 円形 | 50 × (45) | 10 × 6 | 62 | |
| 土坑20 | (長方形), 断面L | (66) × 45 | (65) × 35 | 26 | ±19より旧 | P14 | 楕円形 | 46 × 42 | 13 × 10 | 61 | |
| 土坑21 | (長方形), 断面L | (111) × 58 | (100) × 42 | 24 | ±22より新 | P15 | 楕円形 | 105 × 80 | 25 × 12 | 88 | 溝1より新 |
| 土坑22 | 長方形、断面L | 435 × 55 | | 42 | ±23より新、土21より旧 | P16 | (円形) | 52 × (35) | 38 × (28) | 24 | |
| | | | | 51 | | 炭範囲1 | 楕丸形 | 115 × 82 | | | |
| | | | | | | 炭範囲2 | (楕丸形) | 95 × (65) | | | |
| | | | | | | 炭範囲3 | | 90 × | | | |

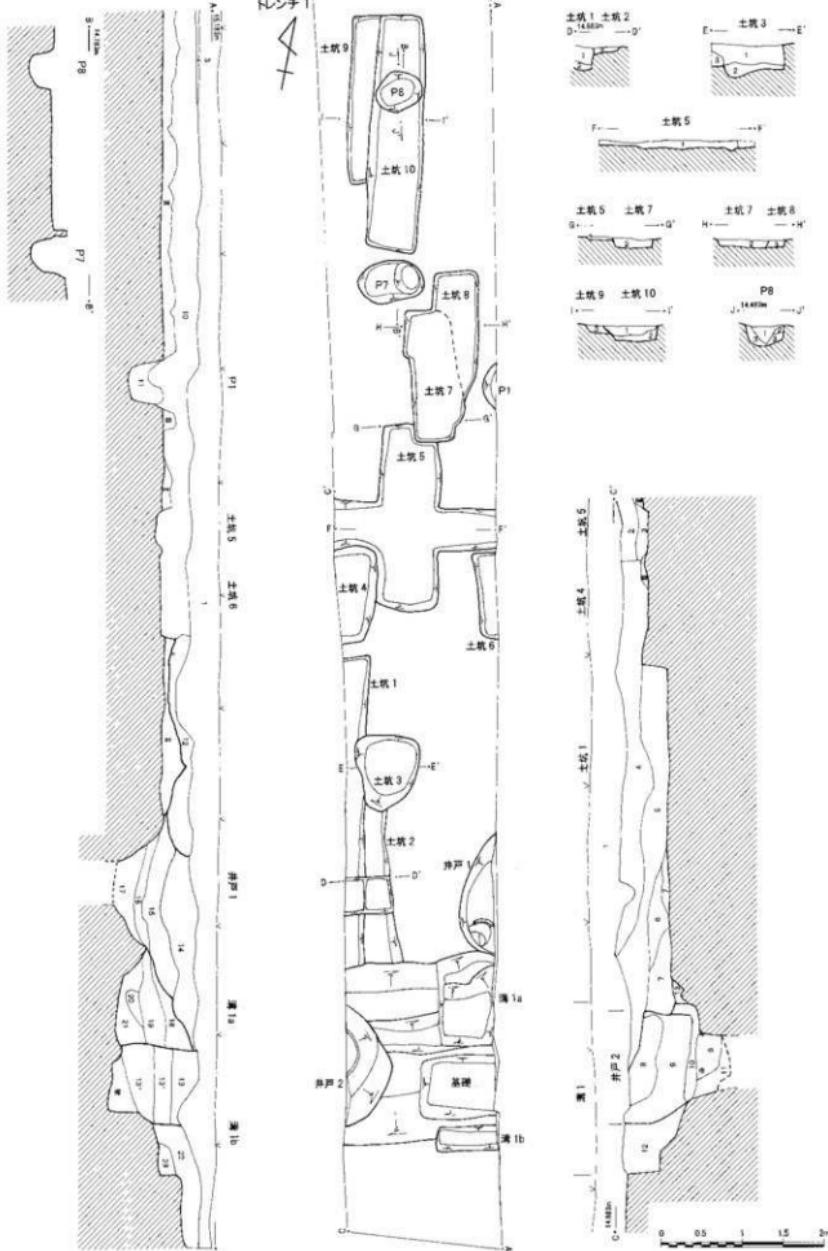


第98図 神明後遺跡第33地点遺構配置図(1/300)、トレンチ1溝(1/60)

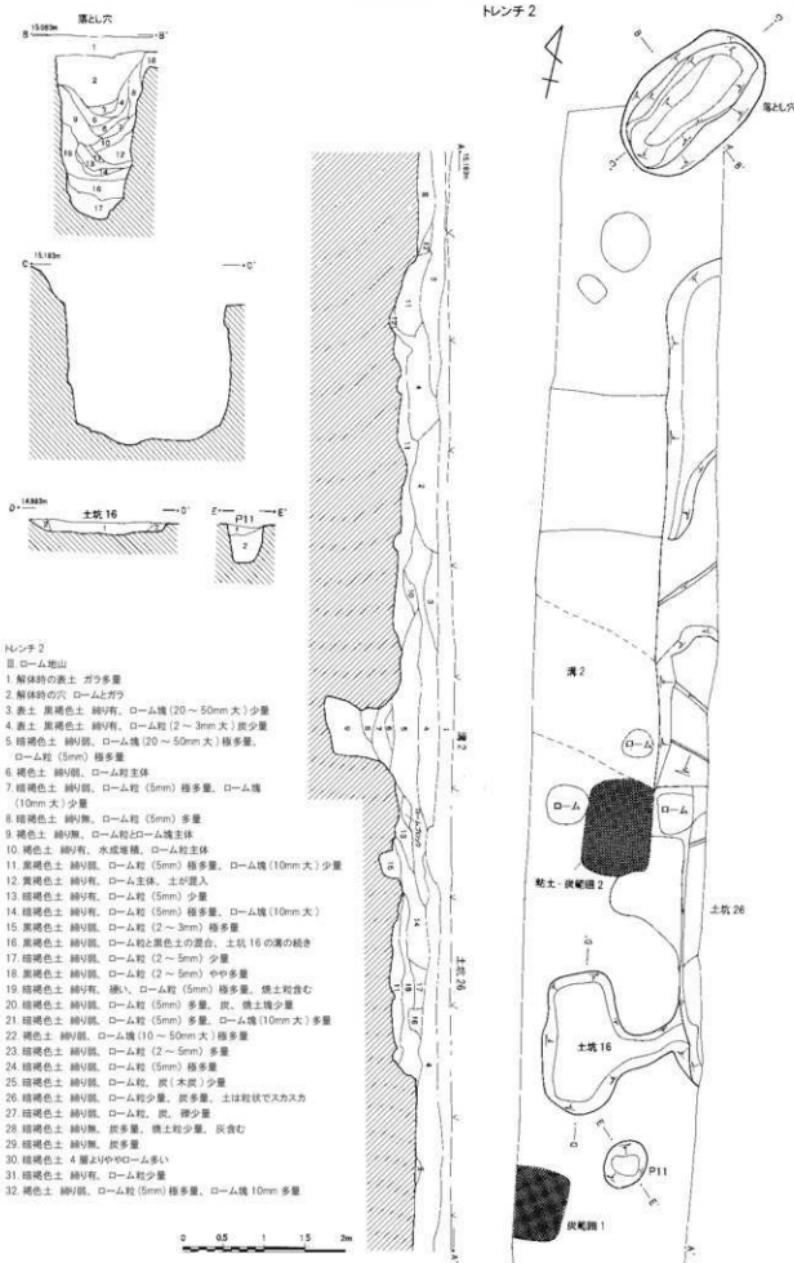


- 土坑 1・2
 1. 黒褐色土 細少有、ローム粒(5~10mm大)多量
 2. 黒褐色土 細少有、ローム粒(5mm)少量
 3. 黒褐色土 細少有、ローム粒(5mm)やや多量
 土坑 3
 1. 線褐色土
 2. 黒褐色土 細少有、ローム粒(5mm)少量
 3. 黑褐色土 細少有、ローム粒(5mm)やや多量
 土坑 5・7・8
 1. 黑褐色土 細少有、ローム粒(2~3mm)少量、ローム塊少量
 2. 黑褐色土 細少有、ローム粒(2~3mm)少量
 3. 黑褐色土 細少有、ローム粒(2~5mm)多量
 土坑 9・10
 1. 線褐色土 細少有、ローム粒(2~3mm)少量
 2. 黑褐色土 細少有、ローム粒(2~3mm)多量
 3. 黑褐色土 細少有、ローム粒(2~3mm)ローム塊少量
 ピット 8
 1. 黑褐色土 細少有、白色粘土混入、ローム粒(5mm)多量
 2. 褐色土 細少有、ローム粒と褐色土混合
 3. 線褐色土 細少有、ローム塊(20~30mm大)多量

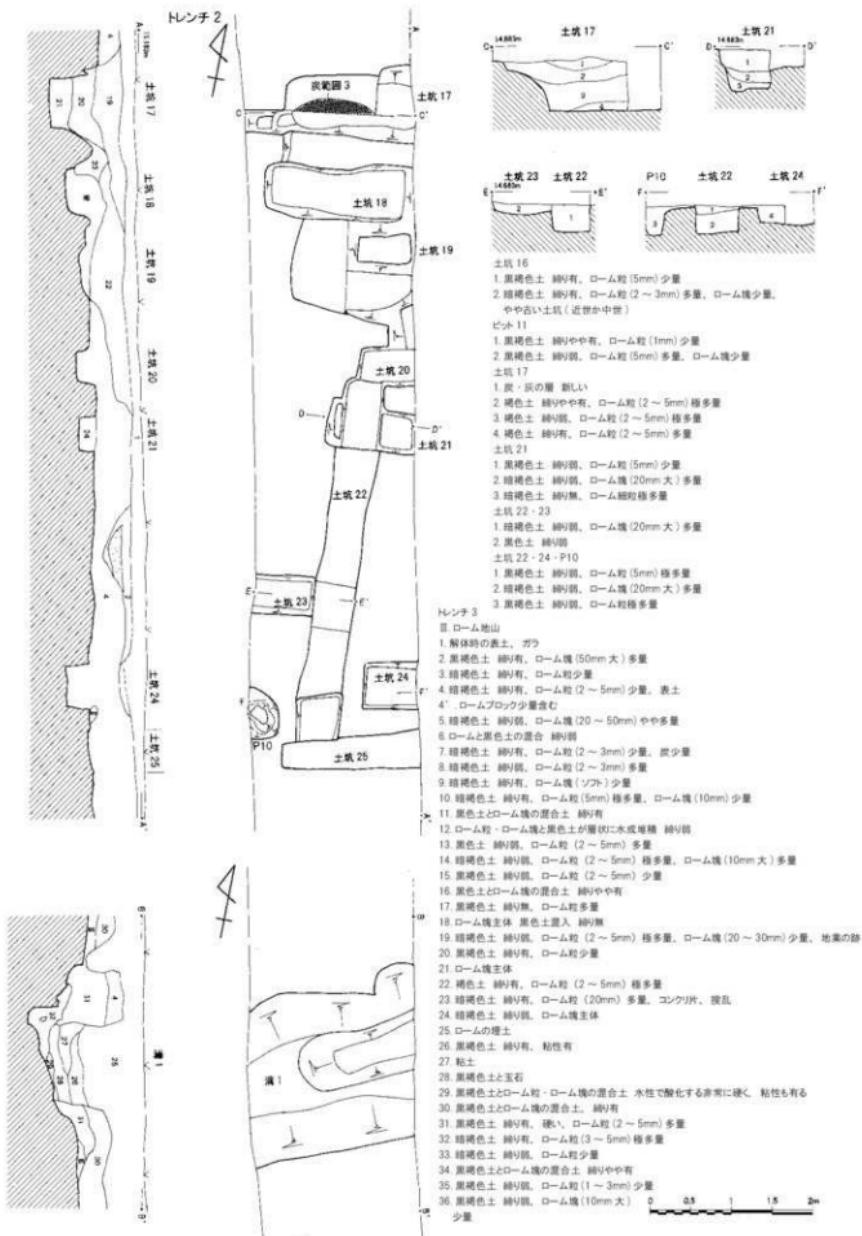
第99図 神明後遺跡第33地点トレンチ1溝・土坑・ピット (1/60)



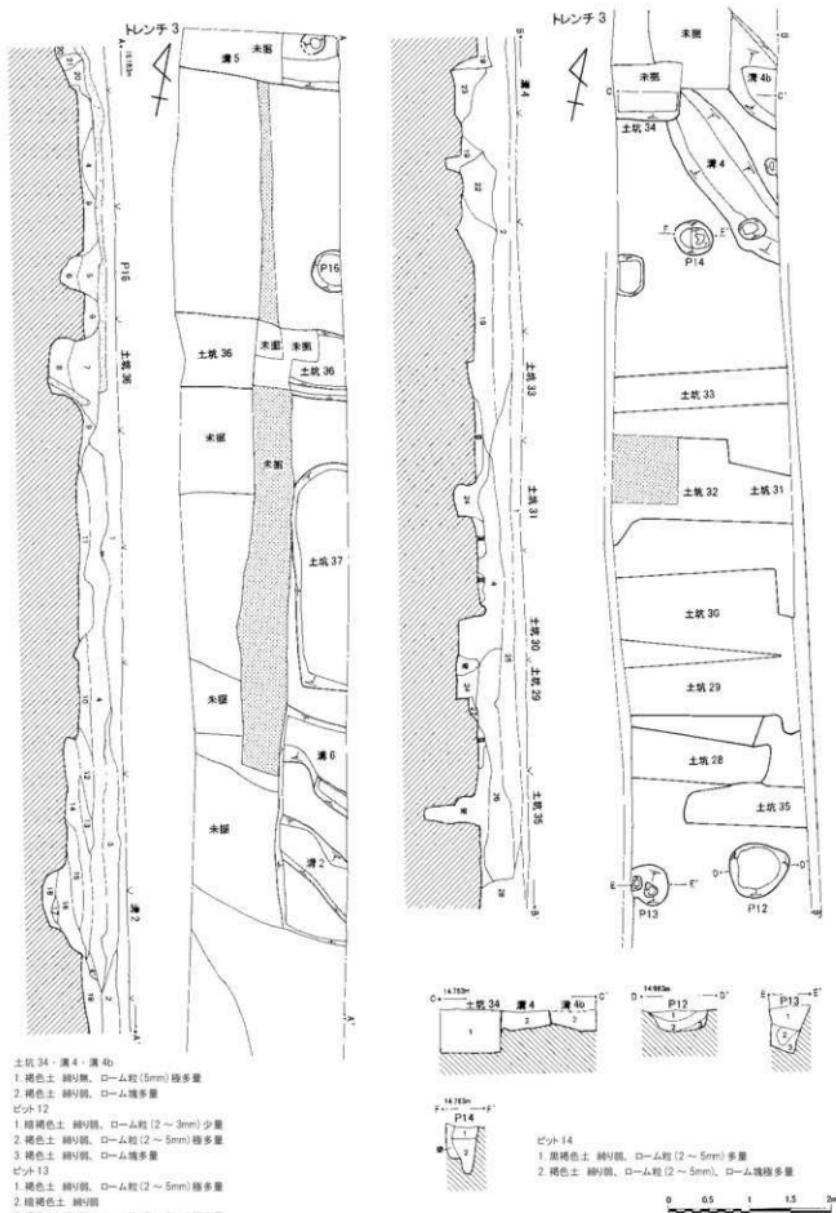
第100図 神明後遺跡第33地点トレンチ1井戸・溝・土坑・ピット(1/60)



第101図 神明後遺跡第33地点トレンチ2落とし穴・溝・土坑・ピット (1/60)

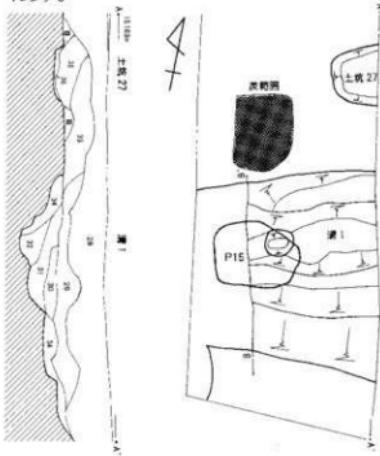


第102図 神明後遺跡第33地点トレンチ2溝・土坑・ビット (1/60)



第103図 神明後遺跡第33地点トレンチ3溝・土坑・ピット (1/60)

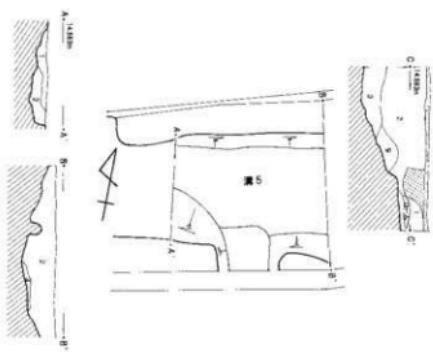
トレンチ 3



ピット 15・溝 1

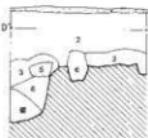
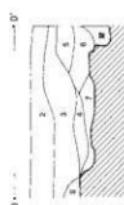
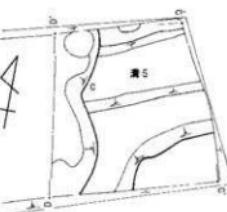
1. 細褐色土 細り有、硬い、酸化した根が入る
2. 黒褐色土 細り有、ローム粒(1mm)や多い
3. 黒褐色土とローム粒・ローム塊の混合土、水性で酸化する、非常に硬く、粘性も有
4. 黒褐色土 細り有、硬い、ローム粒(2~5mm)多量
5. 黒褐色土とローム塊の混合土 細り有
6. 細褐色土 細り有、ローム粒(3~5mm)多量

トレンチ 4



溝 5 A-A'・B-B'

1. 細褐色土 細り有、ローム粒(1~5mm)少量
2. 黑褐色土 細り有、ローム塊(5cm大)多量
3. 黑褐色土 細り有

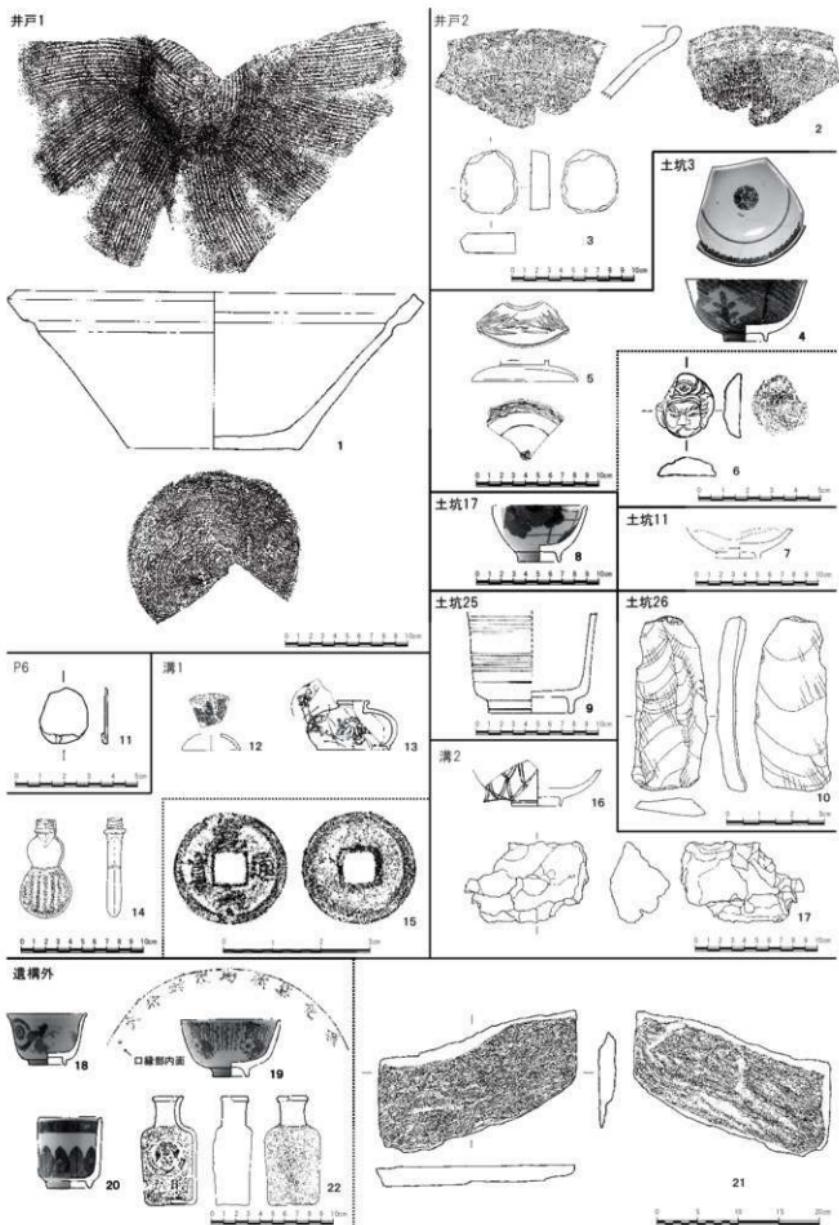


溝 5 C-C'・D-D'

1. 家基礎工事の土 ローム、ガラ含む
2. 黑褐色土 細り有、ローム粒(5mm)少量
3. 黑褐色土 細り有、ローム塊(5cm大)多量
4. 黒褐色土 細り有、ローム塊、黒色土の混合土
5. ローム塊
6. 細褐色土 細り有、ローム粒(1~5mm)多量
7. 細褐色土 細りやや有、ローム粒(1mm)多量
8. 黄褐色土 細り有、ローム粒主体
9. 細褐色土 細り有、ローム粒(1mm)少量



第104図 神明後遺跡第33地点トレンチ3・4溝・土坑・ピット(1/60)



第105図 神明後遺跡第33地点井戸・土坑・溝・ピット・遺構外出土遺物 (1/1・1/2・2/3・1/4・1/6)

第50表 神明後遺跡第33地点出土遺物観察表 (单位:cm)

| 回数 番号 | 用具 番号 | 遺物名 | 種別・形態 | 口径・ 底径・ 幅 | 高さ・ 厚 | 特徴 | 技法 / 文様 / その他 | 石材 / 推定 生産地 | 推定年代・ 時期 | 現存 / 破壊 |
|----------|----------|------|-----------------|-----------------|----------|-------|---|-------------------|-------------------|-------------|
| | 1 | 井戸1 | 陶器・埴輪 | (32.2) | 13.8 | 12.8 | 細柄み輪廻成形。底部右刃削系切り後調整。口縁と体部の縫を磨削で、標目15本。半径(4.5cm幅)を見込みから鉛削状。左刃に重ね、見込みもくびれを施す/底縁に重ねる/底縁にへりあわせ/見込みから削り取る。口縁内面も細かく打ち欠く/注36.1井2 | 織部・美濃 | IRC第3四 半期 | 1/2以上 現存 |
| | 2 | 井戸2 | 埴輪・陶器・埴輪 | — | — | — | 細柄み輪廻成形 / 標目7本半径(2.3cm幅)を鉛削状。左刃に重ね、見込みもくびれを施す/底縁にへりあわせ/見込みから削り取る。口縁内面も細かく打ち欠く/注36.1井2 | 近世 | 口廻部片 | |
| | 3 | 井戸2 | 其 | 5.4 | 4.8 | 1.6 | 残底の碎片多量形/井戸口 2.1 | 織部・美濃 | 1880年代~ | 1/2以上現存 |
| | 4 | 土坑3 | 磁器・手碗 | (10.0) | 3.5 | 3.1 | 織織成形 / コバルト染付け、型鐵輪付け / 注36.3D | 織部・美濃 | 1870年代~ | 1/4以上現存 |
| | 5 | 土坑3 | 磁器・蓋 | (8.7) | 11.9 | — | 織織成形 / コバルト染付け / 注36.3D | 織部・美濃 | 1870年代~ | 1/4以上現存 |
| | 6 | 土坑3 | 土製品・配子 | 2.6 | 2.3 | 0.6 | 型押成形 / 製造に指廻圧痕。泥沙門天 / 染色 / 砂利少含む / 注36.3D | 1750年代~ 1800年代 | 一部欠 | |
| | 7 | 土坑11 | 陶器・瓶 | — | 3.5 | — | 織織成形 / 黒色。高台輪廻 / 白底色 / 注36.11D | 立原・伝賀 | 19C | 底廻部 |
| | 8 | 土坑17 | 磁器・手碗 | 7.8 | 3.6 | 4.6 | 織織成形 / 黑色と赤色と青色のコバルト染付 / 混合 / 17D | 1890年代~ | 1/3頭下部~ | |
| | 9 | 土坑25 | 磁器・各色 | — | (7.0) | — | 織織成形 / コバルト染付 / 青白青緑。内面無地 / 注36.25D | 肥前 | 近代 | 1/4以下現存 |
| | 10 | 土坑26 | 石器・鍬・鋤・鋤片 | 5.43 | 2.98 | 0.92 | 重量 0.67g。鍬・鋤・鋤片を素材とする。右側面に使用痕迹有 / 注36.26D | 吉野 | 旧石器時代 | 完形 |
| | 11 | P6 | 陶器・薄板 | 2.3 | 1.3 | 0.1 | 吉田P6の薄板の縫が折れた状態で発見 / 注36.P6 | — | | |
| 105 | 12 | 溝1 | 磁器・合子蓋 | (4.8) | — | (1.4) | 型押成形 / 口縁内面無地。矩形に染付け / 注36.1M1 | 肥前 | 1650~ 1690年代 | 1/4以下現存 |
| | 13 | 溝1 | 磁器・手碗 | 2.6 | 6.0 | 4.0 | 上部と下部を型押成形用、合体 / 内面無地。指廻圧痕。コバルト染付け / 注36.1Mカクラン | 織部・美濃 | 1870年代~ | 1/4以上現存 |
| | 14 | 溝1 | ガラス製品・ 医療用器具 | 1.5 | 3.1 | 7.3 | 型吹き成形(割型)/スクリュー棒用/無色・透明。気泡有り / 球華型 / 注36.1Mカクラン | — | 1920年代~ | 完形 |
| | 15 | 溝1 | 磁器・胡蝶 | 2.33 | 0.65 | 0.10 | 重量 1.75 g。黃道 / 露水道實 / 新露水 / 注36.1Mカクラン | — | 1697~ 1781 | 完形 |
| | 16 | 溝2 | 磁器・茶碗 | — | (3.5) | — | 織織成形 / 勾付け。二重綱目。高台・重綱目。高台付付無地 / くらわんか手 / 注36.2M2 | 肥前 | 1700年代~ 1800年代 | 底廻部 |
| | 17 | 溝2 | 製陶・印加陶 | 6.6 | 10.2 | 4.8 | 重量 156.5g。スルア印加がガラス粘土溶融し、か皿の形が引出されたもの / 注36.2M3 | 古代 | 印加~伊庭 | |
| | 18 | 遺跡外 | 磁器・手杯 | 0.55 | 3.0 | 4.2 | 織織成形 / コバルト染付と緑色の輪廻既付。參之朝輪。高台付付無地 / 注36.2トレ1 | 1890年代~ | 1/2以上現存 | |
| | 19 | 遺跡外 | 磁器・茶碗 | 8.2 | 3.0 | 4.8 | 織織成形 / コバルト染付の型鐵輪付。板竹輪。高台付付無地 / 注36.2トレ1 | 1880年代~ | 完形 | |
| | 20 | 遺跡外 | 磁器・高脚碗 | 5.1 | 3.5 | 3.8 | 織織成形 / コバルト染付の型鐵輪付。板竹輪。高台付付無地 / 注36.2トレ1 | 1890年代~ | 完形 | |
| | 21 | 遺跡外 | 石製品・板鏡 | 11.4 | 26.6 | 2.5 | — | 縦記片羽 | 中世 | 1/4以下現存 |
| | 22 | 遺跡外 | ガラス製品・ 一般用器具 | 2.3 | 3.4 | 9.0 | 型吹き成形(割型)/コルク栓形。角瓶 / 表「瓶」人物圖。青「山崎宿空堂」 の陽刻。無色・透明。気泡有 / 注36.2トレ2 | — | 1900~ 1920年代 | 完形 |

III 神明後遺跡第34地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2007年12月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央北に立地し、隣接地では集石や地下式坑、溝跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年4月30日から同年5月15日まで行った。幅約2mのトレンチを5本、幅約1.5mのトレンチを1本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、縄文時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで40cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で2008年5月16日から同年5月28日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、縄文時代の住居跡1軒、落とし穴1基、集石3基、中世以降の土坑、ビ

ットを検出した。

(市内遺跡群5「神明後遺跡第34地点の本調査」参照)

IV 神明後遺跡第35地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年6月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では住居跡や集石等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年8月1日に行なった。幅約1.5mのトレンチを3本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、時期不明のピットを1基検出したが、その他に遺構・遺物は検出しなかつたため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。北側の斜面向かって傾斜していき、70cm以上の盛土で造成されていた。確認面まで130cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

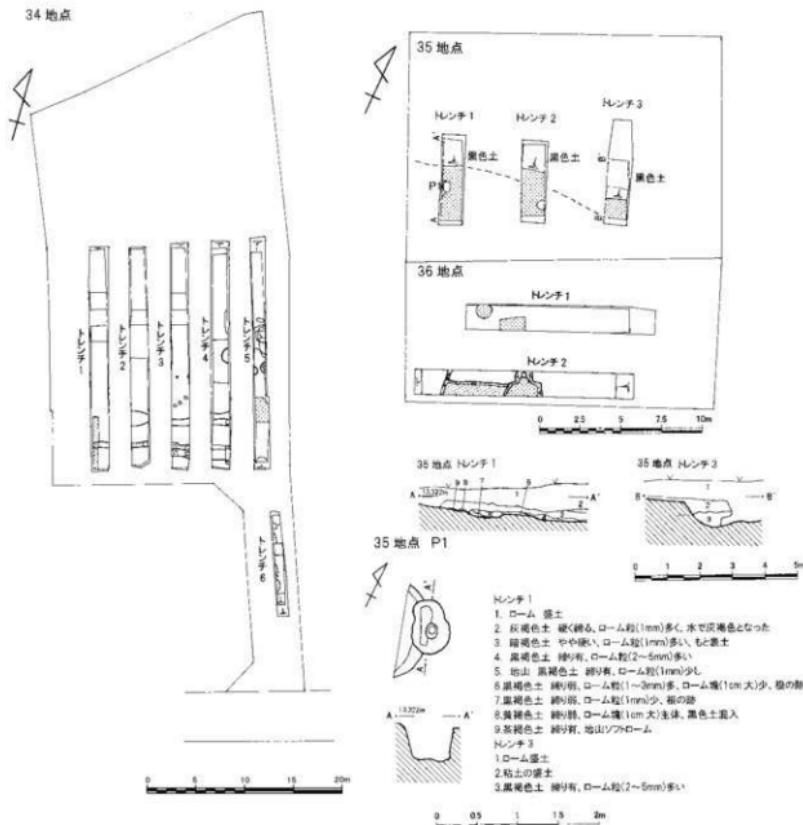
V 神明後遺跡第36地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年8月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では住居跡や集石等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年9月2日に行なった。幅約1.5

mのトレンチを2本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、黒褐色の遺構らしき範囲を検出したので調査したが、自然の堆みであった。その他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで60~100cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第106図 神明後遺跡第34～36地点遺構配置図(1/500・1/300)、土層図(1/150)、ピット(1/60)

第14章 小田久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.3km、砂川堀の左岸、標高23～28mに位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

眉辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

本遺跡は市街化調整区域のため比較的武蔵野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年間発の波が押し寄せつつある。

1990年に最初の試掘調査が行なわれて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003年と2004年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。

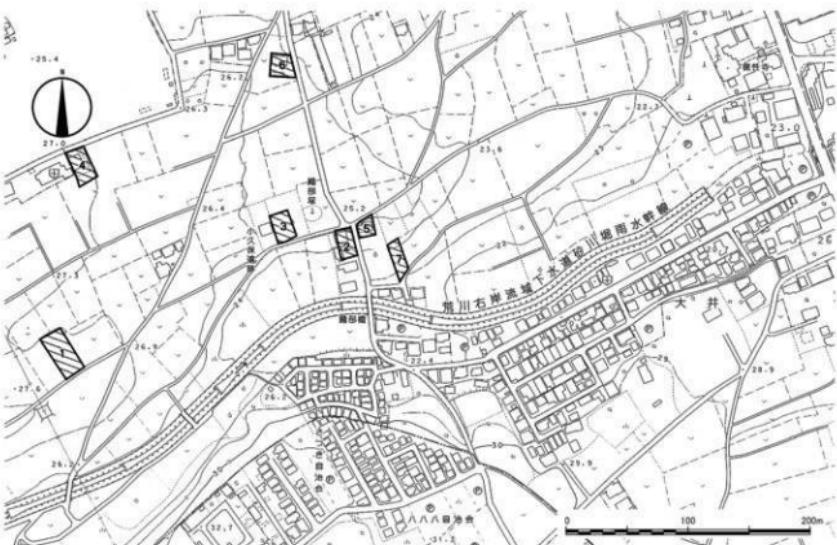
分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中世～近世である。

II 小田久保遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年3月3日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央南側に立地し、隣接地では住居跡や集石等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

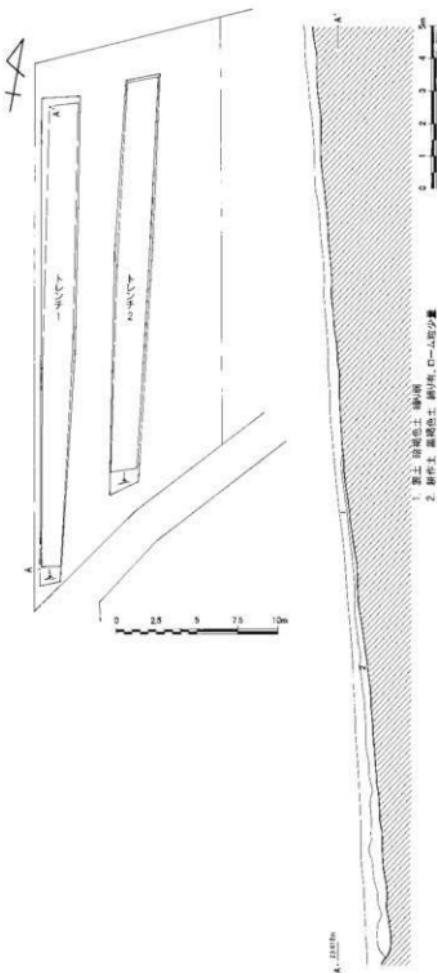
試掘調査は2008年5月19日から21日まで行なった。幅約2mのトレンチを2本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで30～80cmを測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第107図 小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第51表 小田久保遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間()は試掘調査 | 面積(m ²) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|----|----------------|-----------------------------------|---------------------|------|----------------------------|-----------|
| 1 | 大井 1223-3 | 1990.10.12 ~ 18 | 694 | 資材置場 | 遺構無し、縄文中期土器片 | 東部遺跡群X I |
| 2 | 大井 1249-1 | 1993.9.21 ~ 10.1 | 498 | 個人住宅 | 遺構無し、縄文中期土器片、石器 | 町内遺跡群III |
| 3 | 大井 1214-3 | 1994.6.7 | 330 | 個人住宅 | 遺構無し、縄文中期土器片、石器 | 町内遺跡群IV |
| 4 | 大井 1185-5 | (1997.6.24 ~ 26) | 271 | 分譲住宅 | 土坑1 | 町内遺跡群VII |
| 5 | 大井字西原 1023 | (2003.8.18,19) 2003.8.20 ~ 9.2 | 165 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡1 | 町内遺跡群X II |
| 6 | 大井字小田久保 1207-5 | 2004.10.26 ~ 11.13 | 306 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡1, 集石土坑1, 土坑2, ピット8 | 町内遺跡群X II |
| 7 | 大井字西原 1023.9.8 | (2008.5.19 ~ 21) | 333 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡群 6 |



第108図 小田久保遺跡第7地点調査区域図(1/300)、土層図(1/150)

第15章 本村遺跡の調査

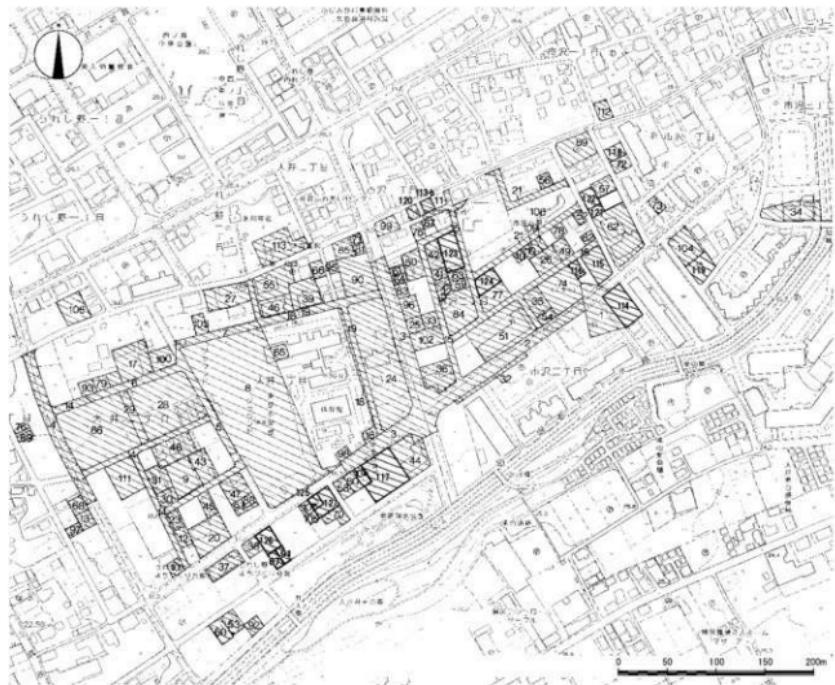
I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武藏野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

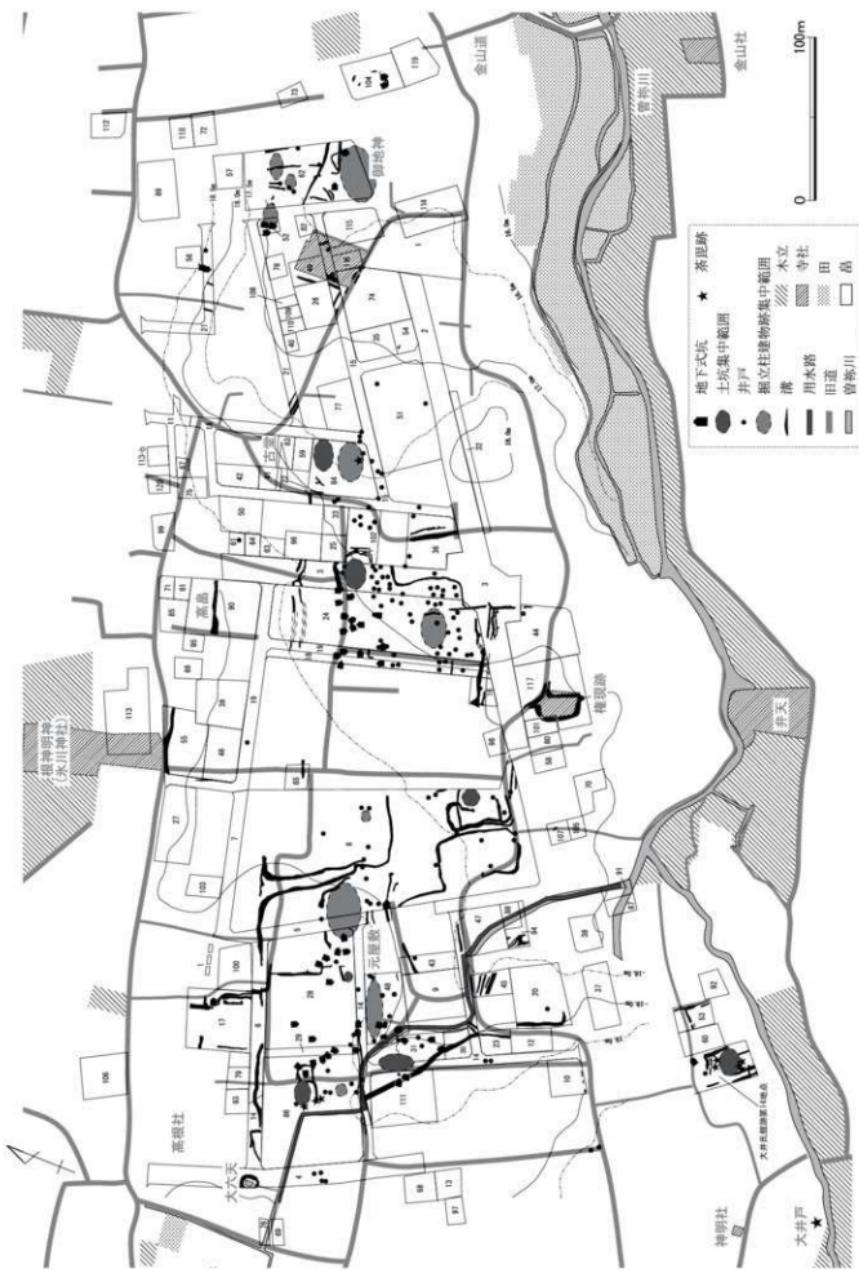
砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2011年3月現在127地点で調査を行ない、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘建柱建物・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式壙・茶毬跡等を多数検出している。



第109図 本村遺跡の地形と調査区（1/5,000）



第 110 図 本村遺跡遺構分布図 (1/3,000)

第 52 表 本村遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間 | 面積 (ha) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 報告書 | |
|-----|---|---------------------------|---------|-----------------------|-----------------------|-------------------|-----|
| 1 | 大井町 1-10-32 (元木村) | 1985.8.27 ~ 30 | 2.000 | 地松田宅 | 遺構・遺物無し | なし | |
| 2 | 大井 280-1 雜 | 1987.9.1 ~ 12.4 | 2.500 | 地松田家 | 石碑、土器、石製品 | 大井 7 | |
| 3 | 大井 103-03-2, 114-115-1,282 (元木村 20) | 1988.5.~ 1989.1.13 | 3.600 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器、 柱の建物跡 | 大井 7 | |
| 4 | 大井 2-20-40(1) | 1978.7.27 ~ 8.5 | 40 | 史実調査 | 遺構・遺物無し | 大井 12 | |
| 5 | 大井 2-204(東側) | 1979.4.29 ~ 5.6 | 80 | 史実調査 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 12 | |
| 6 | 大井 2-204(西側) | 1980.1.12 ~ 1.13 | 130 | 史実調査 | 地盤・瓦 | 大井 12 | |
| 7 | 大井 189-191-192 (元木村) | 1988.1.28 ~ 1989.1.13 | 1.700 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 7 | |
| 8 | 大井 189-191-192 (元木村) | 1989.1.28 ~ 1989.2.31 | 500 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 7 | |
| 9 | 大井 2-143(4-9) (455 5) | 1989.1.13 ~ 2.3 | 1.600 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 7 | |
| 10 | 大井 189-191-194 (元木村) | 1989.5.~ 6.15 | 1.560 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 7 | |
| 11 | 大井 134-1-1 (元木村) | 1989.8.20 ~ 1991.7.11 | 13.161 | 小笠原 屋 | 土器・瓦・瓦片・石器、 柱の建物跡 | 大井 4 | |
| 12 | 大井 138 | 1989.12.4 | 200 | ユーロマム | 遺構・保存 | 新潟県 | |
| 13 | 大井 2-121 (元木村) | 1989.2.21 ~ 28 | 500 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 7 | |
| 14 | 大井 82-3 | 1990.2.7 ~ 22 | 370 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 7 | |
| 15 | 大井 20-214.4 (元木村) | 1990.5.8 ~ 9 | 340 | 個人住宅 | 土器・瓦 | 新潟県 | |
| 16 | 大井 189 | 1990.7.25 ~ 26 | 428 | 個人住宅 | 土器 | 新潟県 | |
| 17 | 大井 189-204-205 (元木村) | 1990.7.17 ~ 10.30 | 2.160 | 地松田家 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 大井 7 | |
| 18 | 大井 100-106- 108-344 | 1990.9.1 ~ 11.30 | 2.820 | 地松田家 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 大井 7 | |
| 19 | 大井 110-2 | 1990.11.6 ~ 12 | 2.30 | 宇賀保屋 | 瓦片・土器 | 新潟県 | |
| 20 | 大井 148-149 (元木村) | 1991.1.7 ~ 3.7 | 1.210 | 事務所 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 大井 3 | |
| 21 | 大井 110 | 1991.4.1 ~ 6.11 | 282 | フランク | 土器・瓦・瓦片・石器 | 新潟県 | |
| 22 | 大井 110-2 | 1991.4.1 ~ 6.14 | 1.420 | 土器 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 大井 3 | |
| 23 | 大井 253-1 | 1991.5.2 ~ 6.14 | 1.150 | 個人住宅 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 24 | 大井 81-3364 | 1991.6.17 ~ 8.31 | 1.772 | 1-606 | 地松田家 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 |
| 25 | 大井 108-109 | 1991.7.15 ~ 20 | 2.60 | 個人住宅 | 瓦片・土器 | 新潟県 | |
| 26 | 大井 148-149 (元木村) | 1991.7.15 ~ 20 | 1.100 | 個人住宅 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 27 | 大井 110-2 | 1991.7.15 ~ 20 | 2.60 | 個人住宅 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 28 | 大井 108-109 | 1991.7.15 ~ 20 | 2.60 | 個人住宅 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 29 | 大井 154-155 (元木村) | 1991.7.15 ~ 20 | 2.60 | 個人住宅 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 30 | 大井 155 | 1991.7.20 ~ 8.30 | 411 | 個人住宅 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 31 | 大井 154-155 (元木村) | 1994.8.4 ~ | 484 | 岡田社 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 32 | 大井 251 | 1994.8.31 ~ 9.7 | 596 | 事務所 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 33 | 大井 252 | 1994.8.30 ~ 9.7 | 264 | 個人住宅 | 中古・近古の土器 | 新潟県 | |
| 34 | 大井 254-1 | 1994.9.1 ~ 16 | 802 | 岡田社 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 35 | 大井 303-11 | 1994.11.2 ~ 11.22 | 1.31 | 土器分譲 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 36 | 大井 52-5 | 1994.11.26 ~ 12.7 | 614 | 土器分譲 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 37 | 大井 303-12 | 1994.11.22 ~ 12.7 | 614 | 土器分譲 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 38 | 大井 303-12 | 1994.11.22 ~ 12.7 | 614 | 土器分譲 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 39 | 大井 253-1 | 1994.4.4 ~ 12 | 452 | 岡田社 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 40 | 大井 101-9-10 | 1994.9.2 ~ 10.31 | 890 | 岡田社 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 41 | 大井 251 | 1994.8.31 ~ 9.7 | 596 | 事務所 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 42 | 大井 252 | 1994.8.30 ~ 9.7 | 264 | 個人住宅 | 中古・近古の土器 | 新潟県 | |
| 43 | 大井 254-1 | 1994.9.1 ~ 16 | 802 | 岡田社 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 44 | 大井 303-11 | 1994.11.2 ~ 11.22 | 1.31 | 土器分譲 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 45 | 大井 52-5 | 1994.11.26 ~ 12.7 | 614 | 土器分譲 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 46 | 大井 303-12 | 1994.11.22 ~ 12.7 | 614 | 土器分譲 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 47 | 大井 254-1 | 1994.9.1 ~ 16 | 802 | 岡田社 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 48 | 大井 140 | 1995.9.30 ~ 11.20 | 1.125 | 地松田家 | 土器・瓦・瓦片・石器 | 大井 12 | |
| 49 | 大井 333 | 1996.1.16 ~ 2.3 | 280 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 50 | 大井 106 | 1996.2.20 ~ 24 | 571 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 51 | 大井 230-360 | 1996.4.3 ~ 5.30 | 2.412 | 岡田社 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 52 | 大井 328 | 1997.4.10 ~ 15 | 140 | 寄附 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 53 | 大井 242-3 | 1997.4.17 ~ 6.25 | 273 | 個人・分譲 | 土器・土・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 54 | 大井 340-1 | 1997.4.1 ~ 17 | 207 | 個人住宅 | 土器 | 新潟県 | |
| 55 | 大井 125-138-2 | 1996.6.25 ~ 7.31 | 936 | 岡田社 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 56 | 大井 303-1 | 1996.7.28 ~ 8.7 | 243 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 57 | 大井 331 | 1996.8.28 ~ 29 | 300 | 岡田社 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 58 | 大井 278 | 1996.12.24 ~ 25 | 140 | 寄附 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 59 | 大井 343-2 | 1997.2.12 | 331 | 岡田社 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 60 | 大井 127 | 1997.6.2 ~ 14 | 320 | 個人住宅 | 地盤・瓦・ビット | 新潟県 | |
| 61 | 大井 76 | 1997.7.6 ~ 14 | 134 | 個人住宅 | 瓦片 | 新潟県 | |
| 62 | 大井 342 | 1997.10.21 ~ 1998.1.20 | 391 | 岡田社 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 63 | 大井 380 | 1998.10.13 ~ 11.1 | 154 | 個人住宅 | 土器 | 新潟県 | |
| 64 | 市街 2-8-2 | 1998.10.13 ~ 18 | 134 | 個人住宅 | ビット | 新潟県 | |
| 65 | 大井 110-2 | 1998.4.15 ~ 5.21 | 391 | 学校相撲 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 66 | 大井 2-8-9 | 1999.2.27 ~ 16 | 179 | 新潟県城 | 地盤・瓦・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 67 | 市街 2-1-4 | 1999.3.2 ~ 26 | 180 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 68 | 市街 2-1-7 | 1999.3.2 ~ 23 | 182 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 69 | 大井 1-4-3 | 1999.8.23 ~ 28 | 118 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 70 | 市街 2-18-19 | 1999.7.27 ~ 8.2 | 538 | 駅舎 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 71 | 市街 2-6-6 | 1999.9.20 ~ 30 | 108 | 個人住宅 | ビット | 新潟県 | |
| 72 | 大井 2-5-9 | 1999.10.22 ~ 30 | 642 | 個人住宅 | 地盤・瓦・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 73 | 市街 2-1-2 | 1999.10.26 ~ 30 | 204 | 個人住宅 | 土器・瓦・瓦片・ビット | 新潟県 | |
| 74 | 大井 2-7-3 | 1999.11.2 ~ 17 | 149 | 岡田社 | 土器・瓦・瓦片・ビット | 新潟県 | |
| 75 | 市街 2-1-4-3 | 1999.11.22 | 156 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 76 | 大井 106-3-7-8 | 1999.2.28 ~ 17 | 1,495 | 岡田社 | 土器・瓦・瓦片・ビット | 新潟県 | |
| 77 | 市街 2-1-2-1 | 1999.3.1 ~ 26 | 224 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤は水 | 新潟県 | |
| 78 | 大井 1-4-6 | 1999.5.15 ~ 18 | 118 | 個人住宅 | 遺構・遺物 | 新潟県 | |
| 79 | 市街 2-18-19 | 1999.7.27 ~ 8.2 | 540 | 駅舎 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 80 | 市街 2-6-6 | 1999.9.20 ~ 30 | 108 | 個人住宅 | ビット | 新潟県 | |
| 81 | 市街 2-5-9 | 1999.10.22 ~ 26 | 642 | 個人住宅 | 地盤・瓦・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 82 | 市街 2-1-2-1 | 1999.10.26 ~ 30 | 204 | 個人住宅 | 土器・瓦・瓦片・ビット | 新潟県 | |
| 83 | 大井 2-7-3 | 1999.12-1 | 409 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 84 | 市街 2-7-6 | 2000.2.22 ~ 3.6 | 3,310 | 岡田社 | 地盤・瓦・土器・瓦・瓦片・ 石器 | 新潟県 | |
| 85 | 大井 2-7-2 | 2000.3.1 ~ 18 | 409 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 86 | 大井 2-10-1 ~ 5-11 | 5,745 | 公園施設 | 瓦・土器・瓦片・瓦・瓦片・ 瓦・瓦片 | 新潟県 | | |
| 87 | 大井 2-12-2 | 2000.5.31 ~ 6-3 | 165 | 個人住宅 | 地盤・瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 88 | 大井 2-17-4 | 2000.6.7 ~ 7-3 | 154 | 個人住宅 | 土器 | 新潟県 | |
| 89 | 市街 2-1-1-2 | 2000.7.19 ~ 8-1 | 326 | 個人住宅 | 地盤・瓦・瓦片・瓦 | 新潟県 | |
| 90 | 大井 2-7-4-5 | 2000.8.31 ~ 9-22 | 549 | 駅舎 | 地盤・瓦・土器・瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 91 | 市街 2-2-2-2 | 2000.9.25 ~ 27 | 37 | 個人住宅 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 92 | 大井 2-1-1-10 | 2000.10.30 ~ 20 | 259 | 個人住宅 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 93 | 市街 2-2-20 | 2001.2.16 ~ 21 | 283 | 付帯施 | セメント | 新潟県 | |
| 94 | 市街 2-2-20 | 2001.2.20 ~ 26 | 366 | 付帯施 | 瓦・土器・瓦片・瓦・瓦片・ 瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 95 | 市街 2-2-20 | 2001.3.10 ~ 16 | 81 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 96 | 市街 2-2-8-8 | 2001.7.10 ~ 15 | 659 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 97 | 市街 2-1-7-11 | 2001.7.11 ~ 12 | 41 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 98 | 大井 2-9-3 | 2001.12.17 ~ 19 | 17 | 豪華保育園 | 瓦 | 新潟県 | |
| 99 | 市街 2-1 | 2002.7.1 ~ 31 | 300 | 岡田社 | 地盤・瓦・瓦片・瓦・瓦片・ 瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 100 | 大井 2-2-9 | 2002.8.20 ~ 26 | 463 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 101 | 大井 2-2-1-3 | 2002.9.30 ~ 10-4 | 217 | 活動施設 | 瓦 | 新潟県 | |
| 102 | 市街 2-8 | 2002.12.11 ~ 12 | 1,264 | 岡田社 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 103 | 大井 143 | 2003.2.13 ~ 18 | 231 | 個人住宅 | 土器・瓦・ビット | 新潟県 | |
| 104 | 市街 3-4-1 | 2003.5.14 ~ 30 | 804 | 岡田社 | 瓦片・土器・瓦・瓦片・ 瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 105 | 大井 2-12-4 | 2003.6.4 ~ 8 | 131 | 個人住宅 | 土器 | 新潟県 | |
| 106 | 大井 3-3-11 | 2003.7-3 ~ 8 | 130 | 個人住宅 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 107 | 大井 2-12-4 | 2003.7.3 ~ 8 | 130 | 個人住宅 | 土器・瓦・瓦片・瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 108 | 大井 2-6-25 | 2003.7.17 ~ 21 | 109 | 個人住宅 | ビット | 新潟県 | |
| 109 | 大井 2-6-26 | 2003.7.17 ~ 21 | 104 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 110 | 大井 2-6-27 | 2003.10.16 ~ 18 | 101 | 個人住宅 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 111 | 大井 2-16-2 | 2003.11.21 ~ 12.11 | 1,033 | 分譲住宅 | 地盤・瓦・瓦片・瓦・瓦片・ 瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 112 | 大井 2-17-16 | 2004.2.7 | 289 | 岡田社 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 113 | 大井 2-4-8 | 2004.8.22 | 1,051 | 豪華保育園 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 114 | 市街 2-2-3 | 2005.5-9-10 | 27 | 個人住宅 | 地盤・瓦 | 新潟県 | |
| 115 | 市街 3-1-12 | 2005.10.21 ~ 28 | 129 | 分譲住宅 | 中古・近古の土器・瓦・ 瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 116 | 市街 2-2-4-6 | 2006.2.2 ~ 7 | 206 | 付帯施 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 117 | 市街 2-10-4 | 2006.11.17 ~ 18 | 9 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 118 | 市街 2-1-1-6 | 2006.12.22 ~ 14.1 | 1,487 | 店舗 | 土器・瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 119 | 大井 3-4-24 | 2006.8.6 ~ 25 | 559 | 岡田社 | ビット・瓦 | 新潟県 | |
| 120 | 市街 2-2-2 | 2006.12.18 | 141 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 121 | 大井 2-3-11 | 2009.4.29 | 1,502 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 122 | 市街 2-11-26 | 2009.5-7-6 | 301 | 活動施設 | 中古・近古の土器 | 新潟県 | |
| 123 | 市街 2-2-7 | 2010.3.7 ~ 9 | 820 | 活動施設 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 124 | 市街 2-6-1 | 2010.7.12 | 428 | 豪華 保育園 | 瓦・瓦片 | 新潟県 | |
| 125 | 大井 2-2-12-1 | 2010.10.6 ~ 6 | 611 | 個人住宅 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |
| 126 | 大井 2-2-16 | 2010.11.4 ~ 8 | 417 | 付帯施 | 遺構・瓦・地盤 | 新潟県 | |

大井 - 大井跡跡調査報告書、大井 - 大井町生野、東北 - 東北道跡調査、市内 - 内山内路跡調査

II 本村遺跡第119地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2008年3月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南東端に立地し、隣接地では集石や地下式坑、溝等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年5月27日から同年6月4日まで行なった。幅約2mのトレンチを5本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プラン多数を確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、土坑や地下式坑であった。遺構確認面まで150cmあるが、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなつた。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

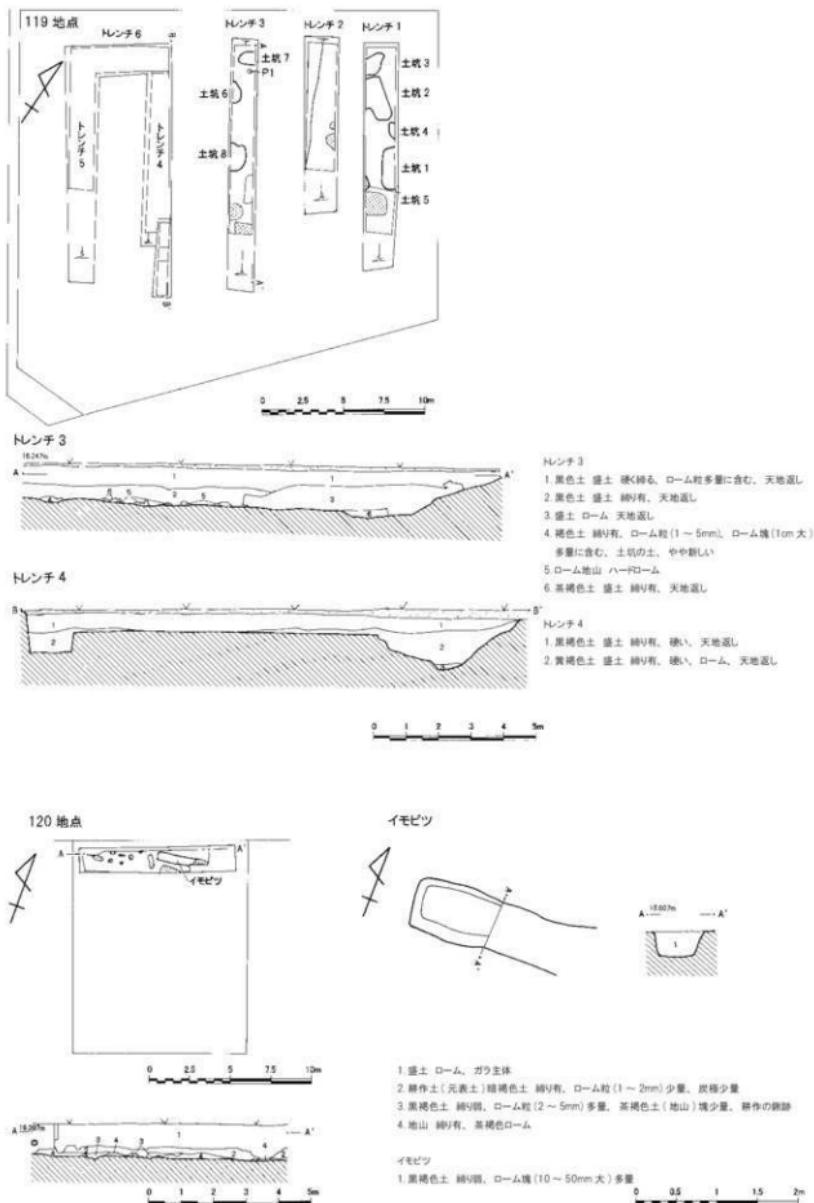
本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で2008年6月4日から同年6月19日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、中世以降の地下式坑2基、土坑14基、ピット58基を検出した。

(市内遺跡群5「本村遺跡第119地点の本調査」参照)

III 本村遺跡第120地点

調査は分譲住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年12月12日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央北側に立地し、隣接地では旧石器時代の石器群等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2008年12月18日に幅約1.5mのトレンチを1本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プラン多数を確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、溝状遺構（イモビツ）や柱穴であった。確認面まで105cmを測る。建築による遺構への影響がないため工事立会いとし、写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第111図 本村遺跡第119・120地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、溝状遺構(1/60)

第16章 東台遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約1km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武藏野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24~26mで砂川堀との比高差は約5mで急崖をなし、左岸が緩やかな傾斜を成すとの対照的である。

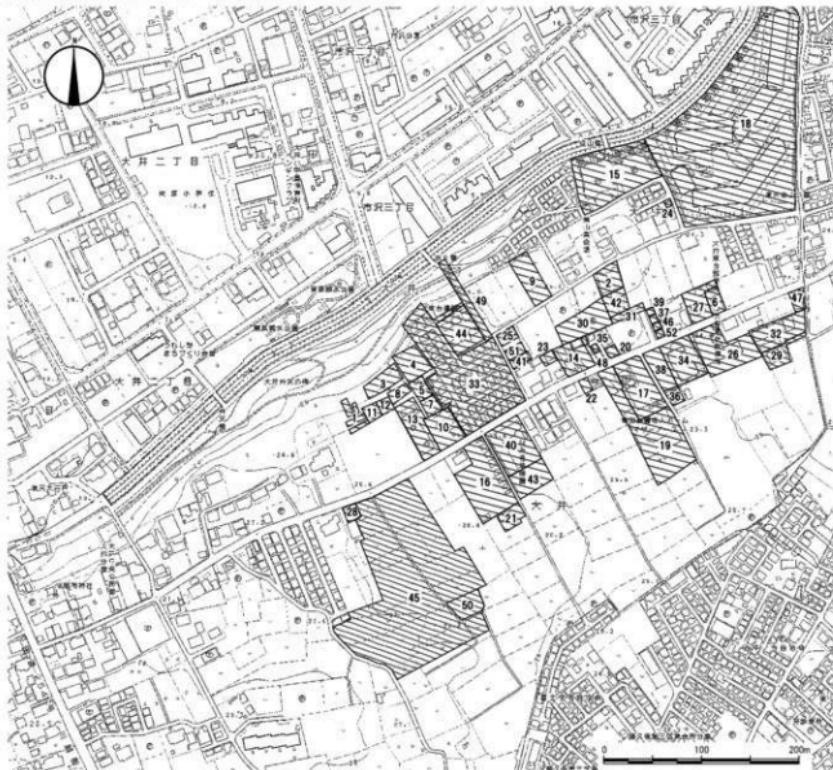
遺跡内には砂川堀に向かって小さな理没谷が數本確認されている。遺跡の範囲は東西 700 m、南北 250 m、遺跡面積約 170,000 m²、市内で最大規模の遺跡であり、約 17% の 30,000 m²を調査している。

旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにVI・VII層～IV層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。縄文時代の調査では早期

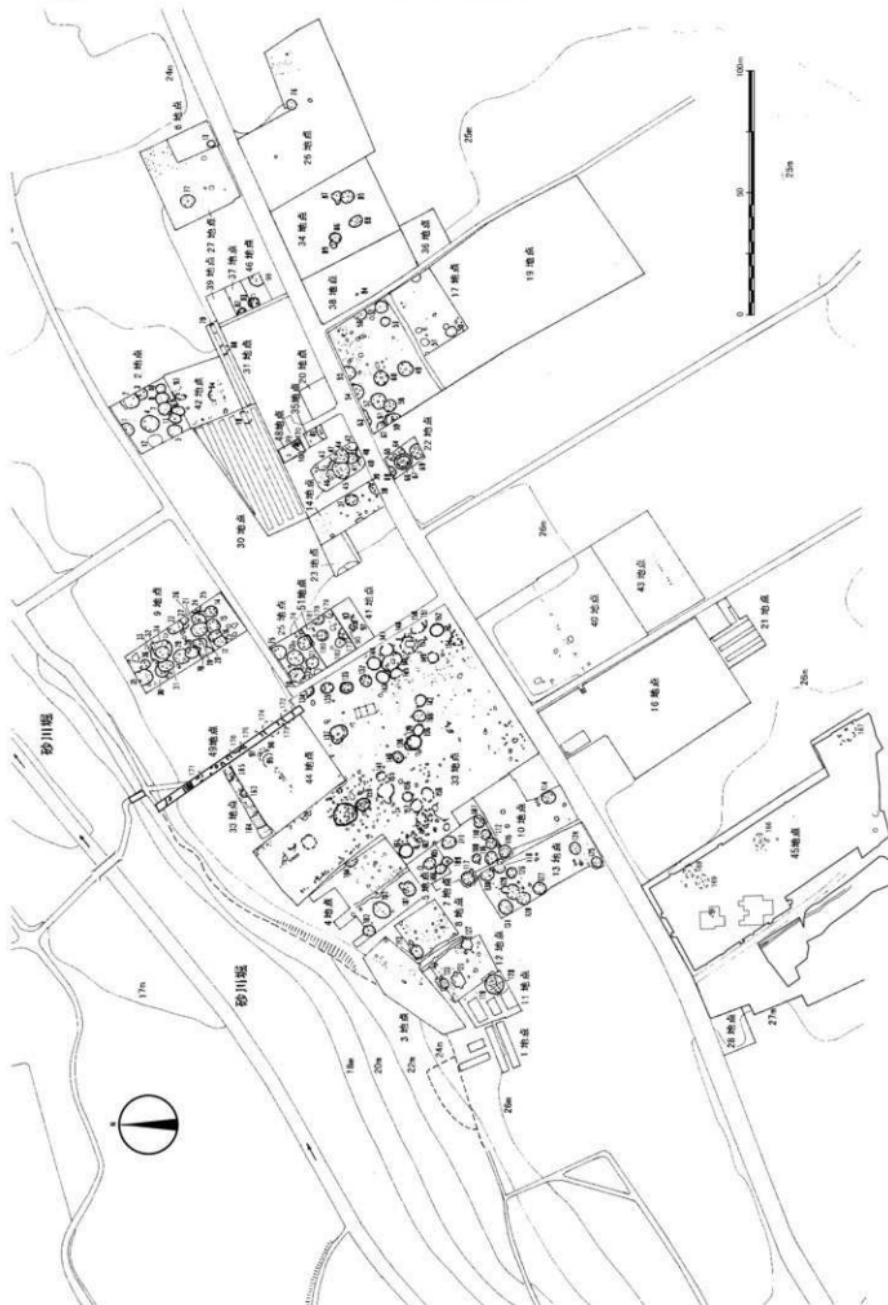
1軒、後期7軒、中期146軒、不明24軒の住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている（2010年3月現在）。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武藏野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で八世紀後半の製鉄炉や炭焼き窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50mに大井戸上遺跡、西約300mに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡が位置する。今後旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡との関係が注目される。



第112図 東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第113図 東台道路遭難分布図 (1/2,000)

第53表 東台遺跡調査一覧表

| 地点 | 所在地 | 調査期間 () | 面積 (m ²) | 調査原因 | 確認された遺構と遺物 | 所収報告書 |
|----|---------------------------------|---|----------------------|-------------|--|-----------|
| 1 | 大井東台 | 1981. | | 町史編纂事業 | 遺構無し。縄文中期土器 | |
| 2 | 大井東台 640-7 | 1981.12.14 ~ 1982.2.13 | 667 | 宅地造成 | 縄文中期住居跡 12, 窯石器時代石器 | 東部遺跡群Ⅲ |
| 3 | 大井東台 672 | 1982.5.19 ~ 6.15 | 666 | 宅地造成 | 仰6.7, 土坑 2, 粘土器 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 4 | 大井東台 671 | 1982.6.17 ~ 11.18 | 587 | 農地転用 | 刀石器ユニーク、縄文中期住居跡 3, 後期住居跡 1, 集石 4, 土坑 14, 溝 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 5 | 大井東台 | 1983.7.25 ~ 8.9 | 195 | 町史編纂事業 | 縄文中期住居跡 2, 土坑 1 | 東台遺跡 |
| 6 | 大井東台 | 1984.1.9 ~ 1.12 | | 宅地造成 | 縄文中期住居跡 1 | |
| 7 | 大井東台 670-2 | 1984.5.15 ~ 6.13 | | 共同住宅 | 縄文中期住居跡 4, 後期住居跡 1 | |
| 8 | 大井東台 672 | 1984.8.18 ~ 9.21 | 345 | 町史編纂事業 | 縄文中期住居跡 1, 仰6.2, 土坑 14 | 東台遺跡群Ⅱ |
| 9 | 大井東台 | 1984.10.25 ~ 1985.2.15 | 1,000 | 駐車場造成 | 当石器遺跡、縄文中期住居跡 22, 後期住居跡 1, 仰6.1, ピット群 | 大井町史資料Ⅰ |
| 10 | 大井東台 670-1 | 1985.10.1 ~ 11.25 | 896 | 住宅建設 | 縄文中期住居跡 5, 土坑 5 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 11 | 大井東台 673 | 1986.11.4 ~ 3.20 | 660 | 宅地造成 | 縄文中期住居跡 2, 集石土坑 3, 土坑 1, ピット | 東部遺跡群Ⅳ |
| 12 | 大井東台 673 | 1987.5.6 ~ 6.26 | 330 | 宅地造成 | 縄文早期住居跡 1, 土坑 18, 平安時代住居跡 2, 潟 1 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 13 | 大井東台 670-6 | 1988.1.14 ~ 2.27 | 971 | 倉庫建設 | 縄文中期住居跡 9, 集石 1, 土坑 9, ピット 20 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 14 | 大井東台 649-16他 | 1988.1.27 ~ 2.24 | 735 | 住宅建設 | 縄文中期住居跡 12, 屋外埋甕 1, 集石土坑 1, 土坑 8, ピット 38 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 15 | 大井市沢 577-1他 | (1989.10.17 ~ 11.10) 1989.11.17 ~ 1990.8.1 | 700 | 住宅建設 | 猿とし穴 1, 木炭窯 1, 粘土探査坑 2, 余畠, 平安土器 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 16 | 大井 713-4.5 | (1990.8.1 ~ 4) | 3,048 | 資材販賣店 | 縄文中期住居跡 1, 土坑 1 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 17 | 大井 621-1 | (1990.9.5 ~ 12) | 1,470 | 診療所建設 | 縄文中期住居跡 8, 土坑 30, ピット 94, 横列 | 東部遺跡群Ⅳ |
| 18 | 大井 529-1.588 | (1991.1.11 ~ 5.20) 1992.2.24 ~ 1994.7.5 | 20,000 | 共同住宅 | 刀石器遺跡、石器窯跡中 17, 落とし穴 1, 懸形製鉄炉 7, 木炭窯 9, 掘撲坑 4, 土坑 9, 潟, 横列, 道跡, 平安土器 | 東台製鉄道跡 |
| 19 | 大井 621 | (1992.5.31 ~ 6.7) | 4,489 | 特養施設 | 縄文中期住居跡 8 | 町内遺跡群Ⅰ |
| 20 | 大井 649-27 | 1992.1.30 | 5 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 21 | 大井 713-11.12 | 1992.3.7 ~ 11 | 299 | 個人住宅 | 遺構無し, 縄文土器片 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 22 | 大井 651-6 | (1994.5.10 ~ 11) 1994.5.30 ~ 7.30 | 146 | 店舗建設 | 縄文中期住居跡 6, 土坑 1 | 調査会報告 13集 |
| 23 | 大井 649-12.13 | (1995.6.23 ~ 27) | 285 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 2 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 24 | 大井 634-20 | (1995.7.6) | 58 | 個人住宅 | 縄文時代集石, 土坑 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 25 | 大井 648-13.14 | 1995.10.22 ~ 12.16 | 296 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 5, 後期住居跡 1, 袋状土坑 1, 土坑 10, ピット 6 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 26 | 大井東台 601-1.4.5 | (1996.11.6 ~ 18) 1997.1.14 ~ 3.18 | 2,248 | 共同住宅 | 縄文中期住居跡 1, 土坑 3, 落とし穴 1, ピット 24 | 調査会報告 13集 |
| 27 | 大井 600-1 | (1997.2.19) 1997.2.19 ~ 3.14 | 965 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 1, 仰6.1, 土坑 1, 落とし穴 1, | 町内遺跡群Ⅳ |
| 28 | 大井東台 710-4 | (1997.3.17 ~ 19) | 231 | 個人住宅 | 遺構無し, 縄文土器片 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 29 | 大井東台 606-3 | (1998.2.27 ~ 3.3) 1998.3.4 ~ 5 | 500 | 個人住宅 | 縄文早期住居跡 9, ピット 2 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 30 | 大井 640-1 | (1998.11.4 ~ 12) | 1,330 | 駐車場 | 縄文中期住居跡 1, 屋外 4, ピット | 町内遺跡群Ⅳ |
| 31 | 大井 630-3.640-8 | (1999.5.7 ~ 21) | 186 | 道路架橋 | 縄文中期住居跡 2 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 32 | 大井 603-1 | (2000.8.4 ~ 9) | 92 | 製茶工場 | ピット 3 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 33 | 大井 662-1 | (2000.8.4 ~ 8) 2000.8.10 ~ 2001.1.25 | 7,076 | 分譲住宅 | 石器群 4, 砂器 4, 縄文中期住居跡 30, 後期住居跡 4, 立柱柱建跡 1, 仰6.14, 集石土坑 4, 他 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 34 | 大井東台 624-2 | (2002.3.12 ~ 25) 2002.3.26 ~ 5 | 1,414 | 共同住宅 | 縄文中期住居跡 5, 土坑 11, ピット 16 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 35 | 大井東台 649-31 | (2001.9.6 ~ 8) | 48 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 36 | 大井東台 614 | (2001.10.15 ~ 11.2) | 272 | 倉庫建設 | ピット 5, 土器片 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 37 | 大井東台 626-12 | 2001.10.12 ~ 11.5 | 100 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 2, ピット 1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 38 | 大井東台 614-3 | (2002.1.28 ~ 2.15) | 787 | 駐車場 | 縄文中期住居跡 1, 懸穴状遺構 1, 集石土坑 2, 土坑 2, ピット 2 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 39 | 大井 626-8 | (2002.6.3 ~ 20) | 100 | 個人住宅 | ピット 3, 縄文土器片, 石器 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 40 | 大井 661 | (2003.10.6 ~ 11.4) | 1,875 | 幼稚園 | 土坑 6, ピット 10, 横列 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 41 | 大井東台 648-4 | (2004.5.11 ~ 14) | 182 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 3, 集石 1, 土坑 1, 屋外ピット 1 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 42 | 大井 640-4 | (2004.9.7 ~ 17) | 515 | 教会設置 | 縄文中期住居跡 1, 落とし穴 1, 土坑 3, ピット 20 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 43 | 大井東台 661-6 | (2005.1.13) | 964 | 駐車場 | ピット 4 | 町内遺跡群Ⅳ |
| 44 | 大井東台 664-15 | 2005.12.8 ~ 28 | 200 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 1, 後期住居跡 2, 土坑 5, ピット 9 | 市内遺跡群Ⅱ |
| 45 | 大井東台 710-1 711-1.717-1.717-2 | (2006.5.31 ~ 9.1) 2006.9.8 ~ 2007.3.7 | 7,971 | 小学校建設 | 縄文中期住居跡 1, 後期住居 2, 土坑 5, ピット 10 | 市内遺跡群Ⅲ |
| 46 | 大井東台 626-11 | (2006.9.4 ~ 6) 2006.9.15 ~ 28 | 100 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 2, 集石 2, 土坑 1 | 市内遺跡群Ⅲ |
| 47 | 大井東台 602-4.602-5 | (2006.9.19 ~ 20) | 320 | 個人住宅 | 遺構・遺物無し | 市内遺跡群Ⅲ |
| 48 | 大井東台 649-21 | (2007.1.16 ~ 26) | 60 | 個人住宅 | 縄文中期住居跡 3 | 市内遺跡群Ⅲ |
| 49 | 大井東台 646, 647-1, 665 | (2008.1.28 ~ 30, 2.4 ~ 6) 2019.1.30 ~ 2.1 | 174 | 通学路築造 | 縄文時代中期~後期住居跡 1 検出・5 を確認, 屋外埋甕 1, 粘土探査坑 1, 土坑 1, ピット 1, 溝 6 | 市内遺跡群Ⅳ |
| 50 | 大井東台 716-1 の一部 | 2008.7.14 ~ 22 | 646 | 東台小学校 ブル | 遺構・遺物無し | 市内遺跡群Ⅵ |
| 51 | 大井東台 648-2 | (2009.3.10 ~ 18) 2009.3.18 ~ 5.7 | 296 | 個人住宅 | 縄文時代集石, 石器 | 市内遺跡群Ⅵ |
| 52 | 大井東台 626-8.14 | 2009.5.12 ~ 19 | 100 | 分譲住宅 | 縄文時代中期住居跡 2 未認定 | 未報告 |

第 54 表 東台遺跡住居跡一覽表 (単位 cm)

備 = 大井町道跡調査会、調 = 大井町史資料編、史 = 大井町史料、宿 = 市原道跡宿、町 = 司内道跡町、市 = 市内道跡市

II 東台遺跡第50地点

(1) 調査の概要

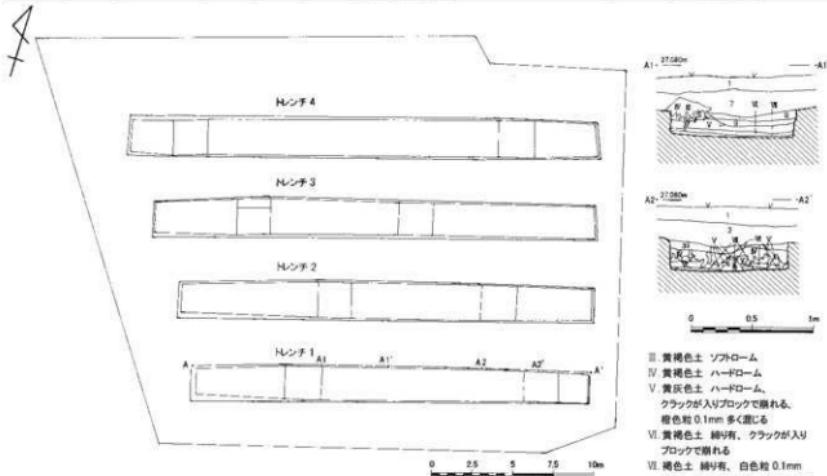
調査は小学校建設に伴うもので、ふじみ野市長より2008年4月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西端に位置しているため、東台小学校建設準備室と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

試掘調査は2008年7月14日から同年7月22日

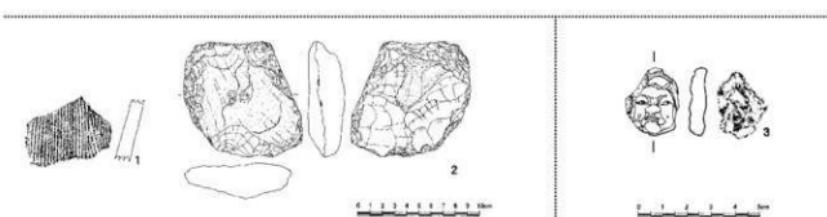
まで行なった。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかった。引き続き旧石器時代の確認調査を行なうため2×2mのグリッドを8ヶ所設定し、ローム層を深掘りしていくが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事をとした。確認面まで50cmを測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

第55表 東台遺跡第50地点出土遺物観察表 (単位cm)

| 周辺番号 | 開設番号 | 遺構名 | 種別・基材 | 口径・長 | 底径・幅 | 深高・厚 | 柱様・文様・その他 | 石材・ 推定生産地 | 推定年代・時期 | 残存・備考 |
|----------|------|-----|---------|------|------|------|---|--------------|-------------------|-------|
| 114 回 | 1 | 遺構外 | 陶文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縫み成形 / 条線を施す / 砂粒少混合 / H: 36.0 | 陶文中期後半 | 輪縫片 | |
| | 2 | 遺構外 | 石器・打製石斧 | φ 40 | 9.73 | 2.98 | 重量 350.97g / 滅縫砸打技法 / H: 36.0 | 縫合片岩 | 縫合時代 | 基部欠 |
| | 3 | 遺構外 | 土製品・泥面子 | 2.8 | 2.2 | 0.6 | 型押成形 / 阿修羅 ? / 裏面に指印圧痕 / 細色 / 砂粒少混合 / H: 36.0 | | 1790年代～ 1890年代 | 一部欠 |



- 1耕作土 黒褐色土 細り弱、ローム粒多く混じる
- 2耕作土 黒褐色土 細り弱(1層より2強)、ローム粒1層より多く混じる
- 3a 黒褐色土 細り弱。最近のゴミ跡?
- 3b 黄褐色土 細り弱
- 4耕作土 黒褐色土 細り強
- 5耕作土 黄褐色土 細り強、黒色土混
- 6耕作土 黑褐色 土 細り弱、ローム粒10～20mm多く混じる
- 7耕作土 黑褐色土 細り弱、6層より多ローム粒混じる
- 8耕作土 黑褐色土 細り弱、ローム粒少混じる
- 9耕作土 黑褐色土 細り弱、1～2mmローム粒多く混じる



第114図 東台遺跡第50地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150・1/80)、出土遺物(1/4・1/2)

III 東台遺跡第51地点

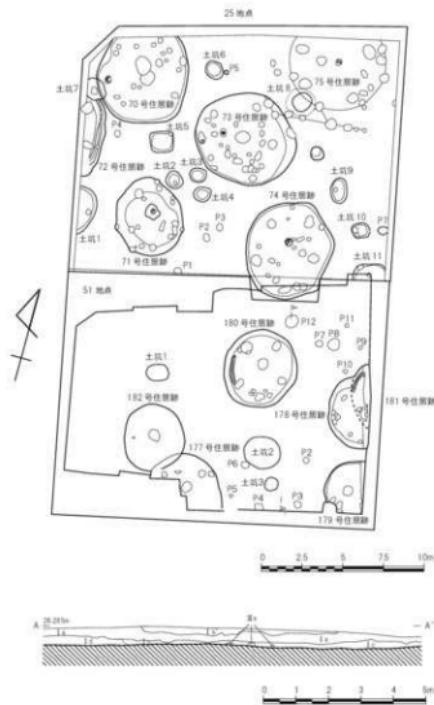
(1) 調査の概要

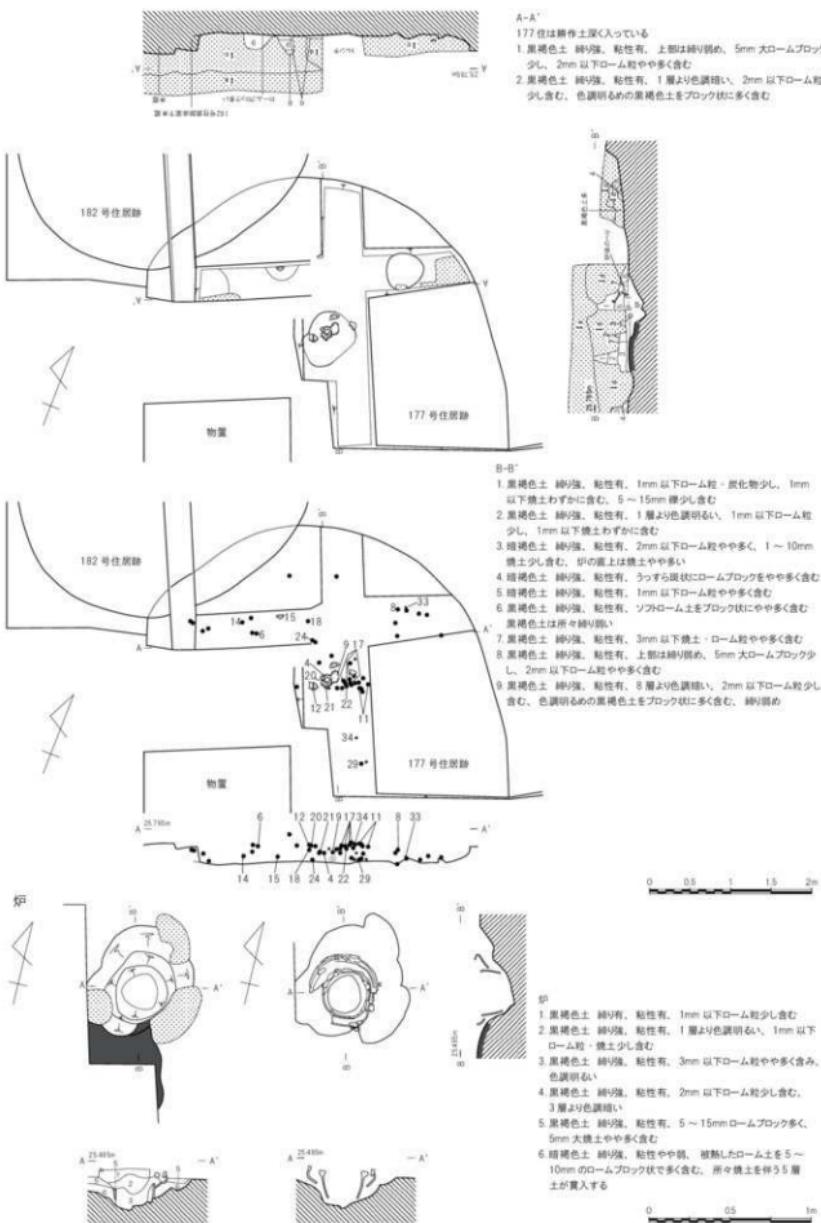
調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年2月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では縄文時代の住居跡等多數検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年3月10日から同年3月18日まで行なった。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。

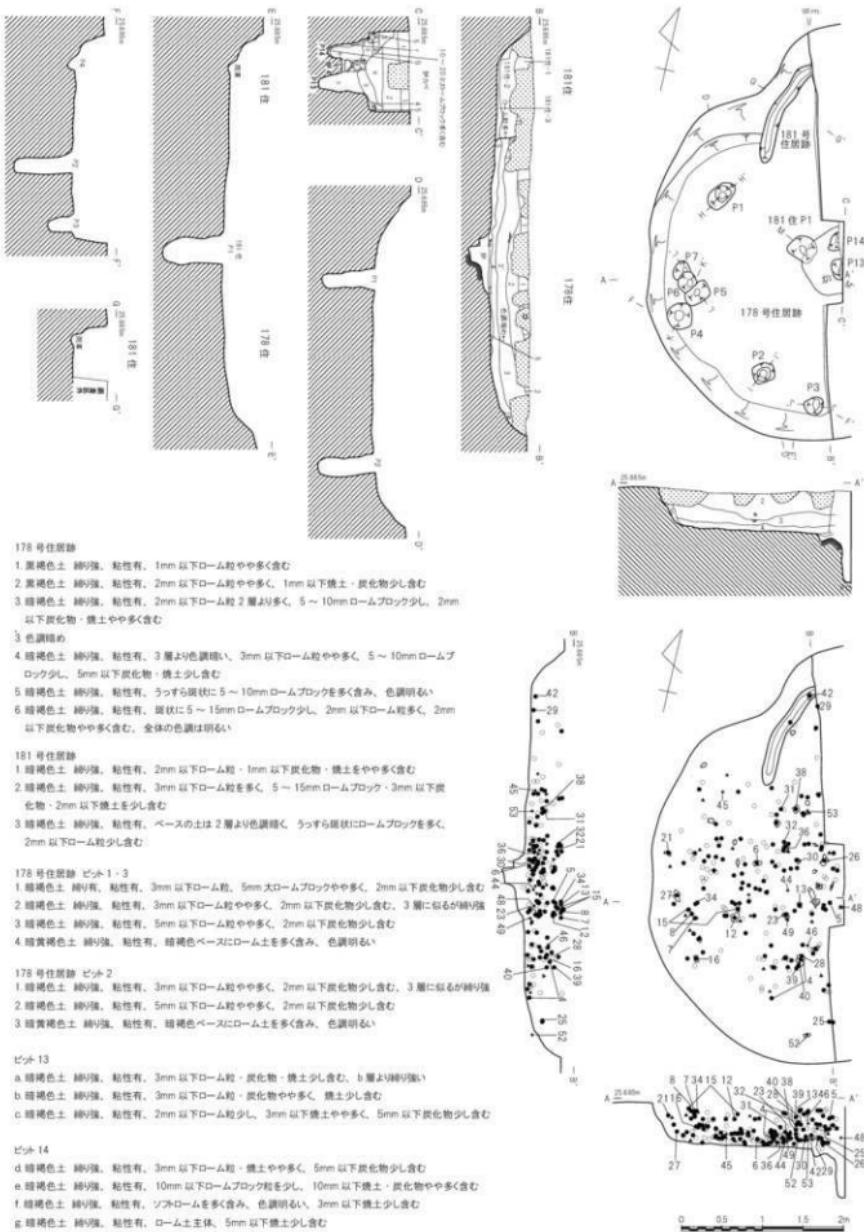
たところ、縄文時代の遺構・遺物を確認した。遺構確認面まで40~50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、住宅建設部分については本調査を行なうこととなつた。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2009年3月18日から同年5月7日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なつた。調査の結果、縄文時代の住居跡6軒、土坑、ピットを検出した。写真撮影・全測図作成・平板および造り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なつたうえ埋め戻し、調査を終了した。

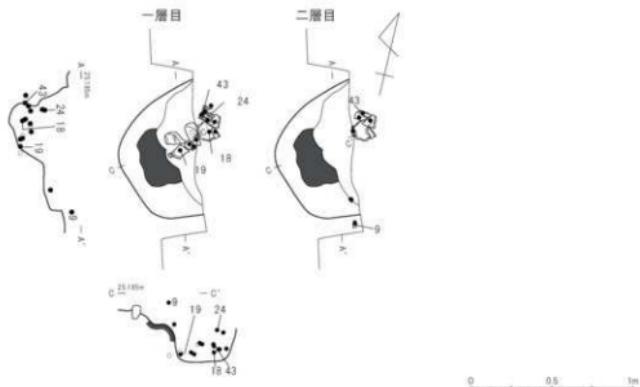
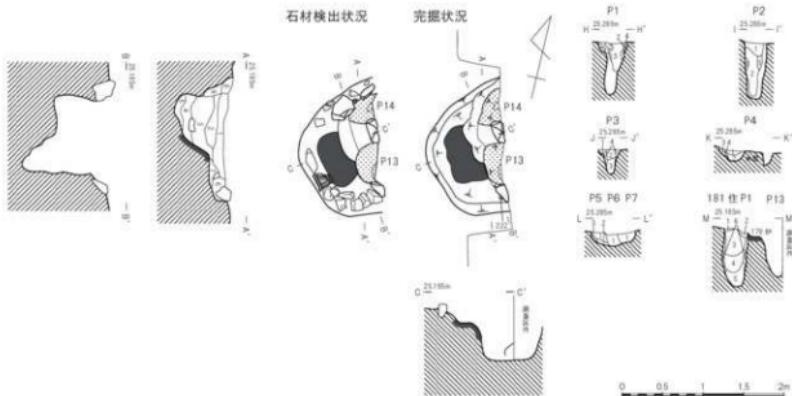




第 116 図 東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30)



煙



178号住居跡 石圓小5

1. 暗褐色土 細砂質、粘性有。2mm 以下ローム粒・燒土をやや多く、炭化物少し含む
2. 暗褐色土 細砂質、粘性有。しみ状の黒褐色土。5mm 以下燒土や多く含む
3. 暗褐色土 細砂質、粘性有。5mm 以下燒土多く、炭化物少し含む。被熱したローム粒が多く含み、黄褐色味を呈する
4. 暗褐色土 細砂質、粘性有。10mm 大燒土ブロック少し。2mm 以下燒土・ローム粒やや多く含む (鉄化物のような色調)
5. 暗褐色土 細砂質、粘性有。2mm 以下ローム粒多く、燒土やや多く含む
6. 暗褐色土 細砂質、粘性有。2mm 以下ローム粒・燒土やや多く、炭化物少し含む。
1層に比べ焼物が多い。石材を含む土
7. 暗褐色土 細砂質、粘性有。5mm 以下ローム粒。3~10mm 赤褐色土を多く含む
やや黒色味がある
8. 黒褐色土 5mm 以下燒土やや多く含む。2mm 以下ローム粒少し含む

178号住居跡 ピット4

1. 暗褐色土 細砂質、粘性有。2mm 以下ローム粒やや多く、1mm 以下炭化物・燒土少し含む
2. 暗褐色土 細砂質、粘性有。暗褐色土ベースで、面状に 50mm 以下ロームブロック多く含む

178号住居跡ピット5

1. 暗褐色土 細砂質、粘性有。5~10mm ロームブロック少し含む
2. 暗褐色土 細砂質、粘性有。斑状ローム土やや多く、15mm 大焼土少し含む
3. 暗褐色土 細砂質、粘性有。暗褐色土ベースに 15mm 以下ロームブロック多く含む

178号住居跡ピット6

- 1P1 の 3 層に似る (色調細い)

178号住居跡ピット7

1. 暗褐色土 細砂質、粘性有。5~20mm ロームブロック多く含む

181号住居跡 ピット1

1. 暗褐色土 細砂質、粘性有。ローム土を含み、色調明るい、2mm 以下ローム粒多く、燒土・炭化物少し含む
2. 暗褐色土 細砂質、粘性有。ローム土を含み、色調明るい、3~10mm 烧土少し含む
3. 暗褐色土 細砂質、粘性有。3mm 以下ローム粒・5~10mm ロームブロック少し含む
4. 暗褐色土 細砂質、粘性有。3 層より色調細め、3mm 以下ローム粒やや多く含む

第 118 図 東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡炉 (1/30)、ピット (1/60)

(2) 遺構と遺物

【177号住居跡】調査区南端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。北側で176号住居跡と重複するが、本住居跡埋没後に176号住居を構築している。

家屋の建築予定地外のため本調査をせず、プラン確認後、深さや炉の位置確認のため幅30cmのサブトレントを十字に設定して調査した。

住居全体の1/3～1/2程度の検出で、南側は調査区域外である。平面形態は楕円形を呈すると思われる。東西405cm、確認面からの深さ27cmである。

炉は住居の中央や北寄りに位置し、平面形態は楕円形である。炉は北側に土器を二重に埋設して土器囲いがとし、南側は火床面で僅かにくぼみ、焼けて赤化している。炉体土器は内側に深鉢、外側に浅鉢を使用している。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。径40～50cmのピットプランを3ヵ所検出した。

出土遺物は点上げ遺物、一括遺物の総計701点中、土器495点、石器15点、礫191点である。時期の明確な破片では中期前半が67点で最も多い。

時期はが体土器から勝坂末期である。

【178号住居跡】調査区東端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。北側で181号住居跡と重複するが、181号住居埋没後に本住居を構築している。

住居全体の1/2程度の検出で、東側は調査区域外である。平面形態は楕円形を呈すると思われる。南北430cm、確認面からの深さ49cmである。

炉は住居のほぼ中央に位置し、平面形態は楕円形である。炉は石窯い炉で、中央の火床面は深く窪み、焼けて赤化している。礫は炉の西側で18点検出したが、東側は新しいピットのP13、14により壊れているため残っていない。また、炉は181号住居跡の柱穴と思われるピットの埋没後に構築している。

ピットは7基検出し、P1とP2が主柱穴と思われる。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

遺物は細片が多く、住居全体に出土する。点上げ遺物、一括遺物の総計1,716点中、土器902点、石器54点、礫760点である。時期の明確な破片では中期後半が76点で最も多い。

時期は出土遺物から加曾利EⅡ式期である。

第56表 東台遺跡第51地点178号住居跡ピット一覧表(単位cm)

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-----|-------|---------|---------|----|-------------|
| P1 | 楕円形 | 39 × 23 | 8 × 8 | 67 | 主柱穴 |
| P2 | 楕丸長方形 | 38 × 23 | 8 × 8 | 77 | 主柱穴 |
| P3 | 楕円形 | 25 × 20 | 14 × 7 | 34 | 主柱穴 |
| P4 | 円形 | 33 × 31 | 12 × 10 | 15 | 主柱穴、P11より新 |
| P5 | 楕円形 | 32 × 20 | 9 × 7 | 23 | P6・7より新 |
| P6 | 円形 | 24 × 22 | 11 × 7 | 26 | P7より旧、P5より新 |
| P7 | 円形 | 23 × 22 | 7 × 5 | 18 | P5・6より新 |

【179号住居跡】調査区中央に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。

住居全体の2/3程度の検出で、南東側は調査区域外である。平面形態は円形を呈すると思われる。確認面からの深さ31cmである。

炉は住居の中央あたりに位置し、平面形態は隅丸方形である。炉は幅5cm程度の輪状の窪みが認められ、礫3点が残っていることから、本来は石窯い炉で、礫が抜き取られたと思われる。中央の火床面は浅く窪み、焼けて赤化している。

第57表 東台遺跡第51地点179号住居跡ピット一覧表(単位cm)

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-----|------|---------|---------|----|----|
| P1 | 楕円形 | 40 × 29 | 13 × 9 | 22 | |
| P2 | 楕円形 | 45 × 30 | 15 × 12 | 30 | |
| P3 | 楕円形 | 21 × 16 | 5 × 5 | 16 | |

ピットは3基検出した。床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は点上げ遺物、一括遺物の総計568点中、土器275点、石器11点、礫282点で、礫が多い。時期の明確な破片では中期後半が10点で最も多い。

時期は出土遺物から加曾利EⅡ式期である。

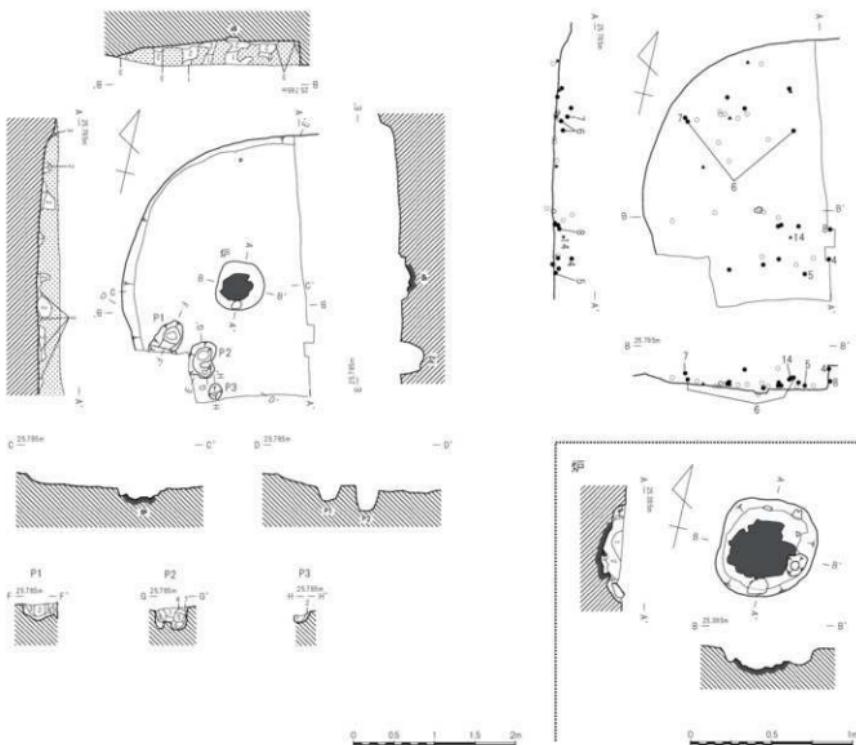
【180号住居跡】調査区南東端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。

平面形態は楕円形を呈し、長軸482cm、短軸440cm、確認面からの深さ42cmである。

炉は住居の中央や北寄りに位置し、平面形態は楕円形である。炉は中央に土器を埋設する土器窯い炉である。土器の東側には土器破片が残り、埋設土器が二重になっている。お土器外側の地面は、被熱し硬化している。

周溝は南西部のP4～P5の間にのみある。

ピットは12基検出した。P1～P5が主柱穴で、P11もP4より古い主柱穴である。柱穴間は150～



179

1. 暗褐色土 硫素強。粘性有。2mm以下ローム粒やや多く、3mm以下漂土わざに含む
2. 暗褐色土 硫素強。粘性有。1層より上濃緑、2mm以下ローム粒少し。2mm以下漂土・炭化物わざに含む。炉の直上は3mm以下漂土や多い
3. 暗褐色土 粘性有。うつべき地帯に15mm以下ロームフロックやや多く含む。3mm以下ローム粒やや多く、2mm以下炭化物わざに含む

七九

- 1. 暗褐色土 細粒強、粘性有。2mm 以下ローム粒少し含む。2 層より色調組合
 - 2. 暗褐色土 細粒強、粘性有。1mm 以下ローム粒少し、1mm 以下炭化物・燒土わずかに含む
 - 3. 暗褐色土 細粒強、粘性有。3mm 以下ローム粒や多く含む
 - 4. 褐褐色土 細粒強、粘性有。20mm 以下ローム・ブロック多く含み、色透明ない

七

1. 緑褐色土
泥炭質有。2mm以下ローム・5mm・5mm以上ロームブロック少し含む。
2mm以下透水性わざに含む。

2. 黒褐色土
泥炭質有。うっすら斑状に20mm 大ロームブロック多く、1mm以下透水土・質化物少し含む。

3. 緑褐色土
泥炭質有。2mm以下ローム粒少し含む。

4. 黒褐色土
泥炭質有。(色見明るい) 1mm以下ローム粒・質化物少し含む。

5. 黒褐色土
泥炭質有。柱痕か、5~20mm 大ロームブロック少しあり。
1mm以下ローム粒少し含む。

6. 黒褐色土
泥炭質有。柱痕か、うっすら斑状にロームブロック多く、2mm以下ローム粒少し含む。

7. 塩化物土
泥炭質有。ロームを多々含み、色見黒混。

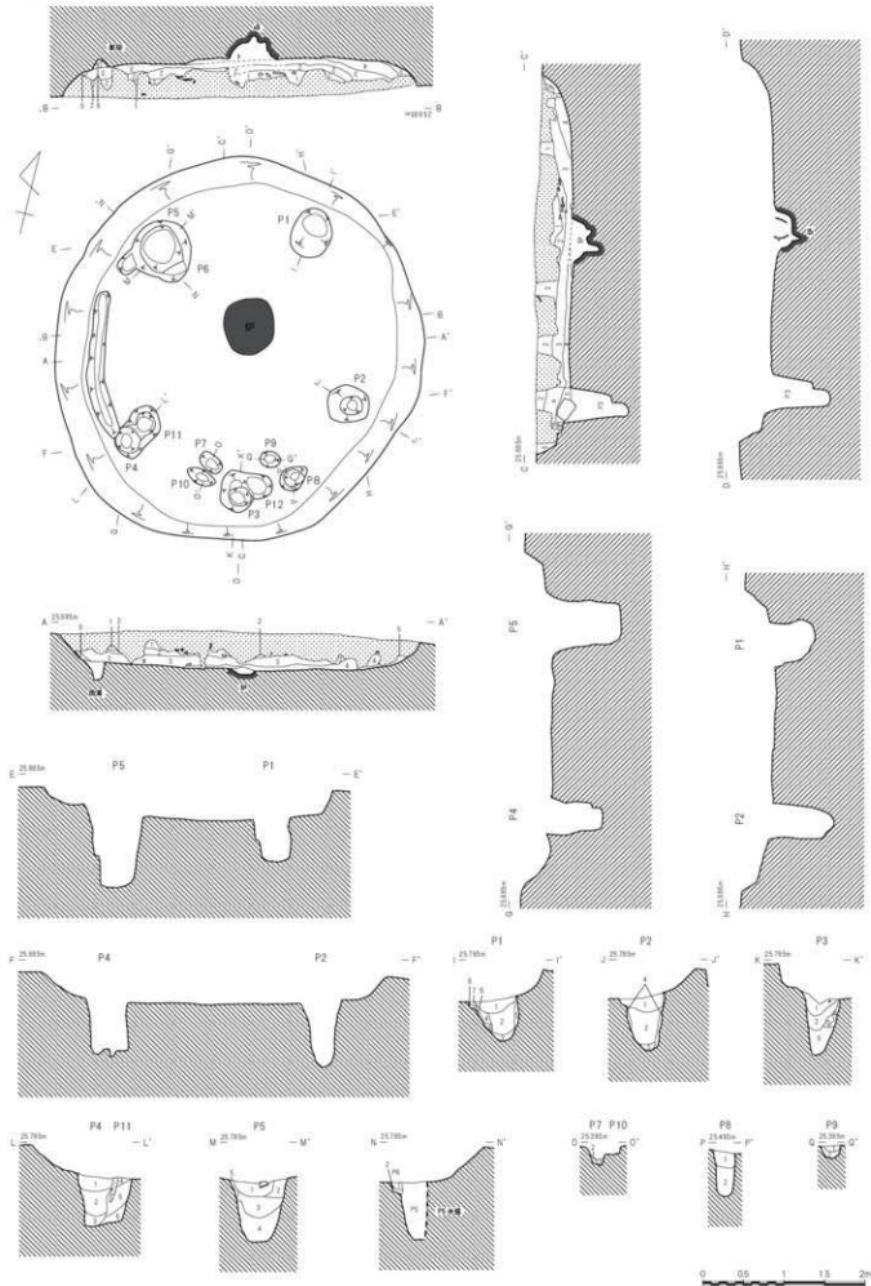
七

1. 暗褐色土 細粒強、粘性有、2mm 以下ローム粒・5mm 大ハードロームブロック少し含む、2mm 以下焼土わずかに含む
2. 暗褐色土 細粒強、粘性有、うっすら斑状に 20mm ロームブロック多く、1mm 以下焼土・炭化物少し含む

3

- 暗褐色土 細砂質。粘性有。3mm 以下燒土や多く、2mm 以下風化物少し含む
 - 暗褐色土 細砂質。粘性有。6mm 以下焼土多く含む（10mm 大燒土 ブロック少し）
 - 暗褐色土 粘性有。色調異色褐色あり。5mm 以下焼土多く含む。
 - 暗褐色土 細砂質。粘性有。2mm 以下ローム粒少し含む。60 ~ 110mm 連続伴う

第 119 図 東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30)



第120図 東台遺跡第51地点 180号住居跡 (1/60)

180号住居跡

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒少し、3mm以下炭化物やや多く含む
- 2 黒褐色土 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒をやや多く含む。1層より色調明るい。2mm以下炭化物やや多く含む。南半に2mm以上土少し含む
- 3 結褐色土 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒をやや多く含む。3mm以下炭化物少し含む（遺物は上層より少なめ）。西半下部に15~20mmロームブロック少し含む
- 4 結褐色土 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒をやや多く（3層より少）。下部に5~15mmロームブロックやや多く混ざる。3mm以下炭化物少し含む
- 5 結褐色土 細り強、粘性有。うっら斑状にロームブロックを多く含み。色調4層より明るい。2mm以下ローム粒も含む
- 6 結褐色土 細り強、粘性有。5mm以下ローム粒。3mm以下炭土多し含む
- a 黒褐色土 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒多く。2mm以下炭化物・鐵土少し含む
- b 黑褐色土 細り強、粘性有。a層より風化味強い。平均2mm以下ローム粒多く含む
- 7 黑褐色土 細り強、粘性有。10mmロームブロック少し。3mm以下ローム粒多量
- 8 結褐色土 細り強、粘性有。5mm以下ローム粒多量（主張）

ピット1・2

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒を多く。5~10mmロームブロック少し含む
- 2 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒をやや多く。2mm以下炭化物。5~10mmロームブロック少し含む
- 3 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。斑状にソフ質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む。2mm以下ローム粒少し含む
- 4 黒褐色土 細り強、粘性有。うっら斑状に結褐色土を多く含み。色調明るい。2mm以下ローム粒少し含む
- 5 結褐色土 細り強、粘性有。5~10mmロームブロックをやや多く含み。色調明るい。2mm以下ローム粒少し含む
- 6 結褐色土 細り強、粘性有。色調暗いロームブロック主体。3mm以下明黄色ローム粒少し含む
- 7 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒多く（7層より多）含み。色調明るい
- 8 結褐色土 細り強、粘性有。ローム粒を多く含み色調明るい。2mm以下ローム粒多く含む

ピット3

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒多く。1~3mm鐵土・炭化物少しある
- 2 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒を多く。5~10mmロームブロック少し含む
- 3 黑褐色土 細り強、粘性有。斑状にソフ質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む。2mm以下ローム粒少し含む
- 4 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒をやや多く。2mm以下炭化物。5~10mmロームブロック少し含む
- 5 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。斑状にソフ質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む。2mm以下ローム粒少し含む

ピット4

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒を多く。5~10mmロームブロック少し含む
- 2 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒をやや多く。2mm以下炭化物。5~10mmロームブロック少し含む
- 3 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。斑状にソフ質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む。2mm以下ローム粒少し含む
- 4 ピット1~7層に似るが、1mm以下鐵土少しある
- 5 黑褐色土 細り強、粘性有。うっら斑状に結褐色土を多く含み。色調明るい。2mm以下ローム粒少し含む
- 6 結褐色土 細り強、粘性有。15mm以下ロームブロック少し含む。地山？

ピット5

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒を多く。5~10mmロームブロック少し含む
- 2 結褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒多く。10mm大ロームブロック少し含む
- 3 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。3mm以下ローム粒をやや多く。2mm以下炭化物。5~10mmロームブロック少し含む
- 4 結褐色土（色調暗い） 細り強、粘性有。斑状にソフ質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む。2mm以下ローム粒少し含む
- 5 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒多く（1層より多）含み。色調明るい

ピット6

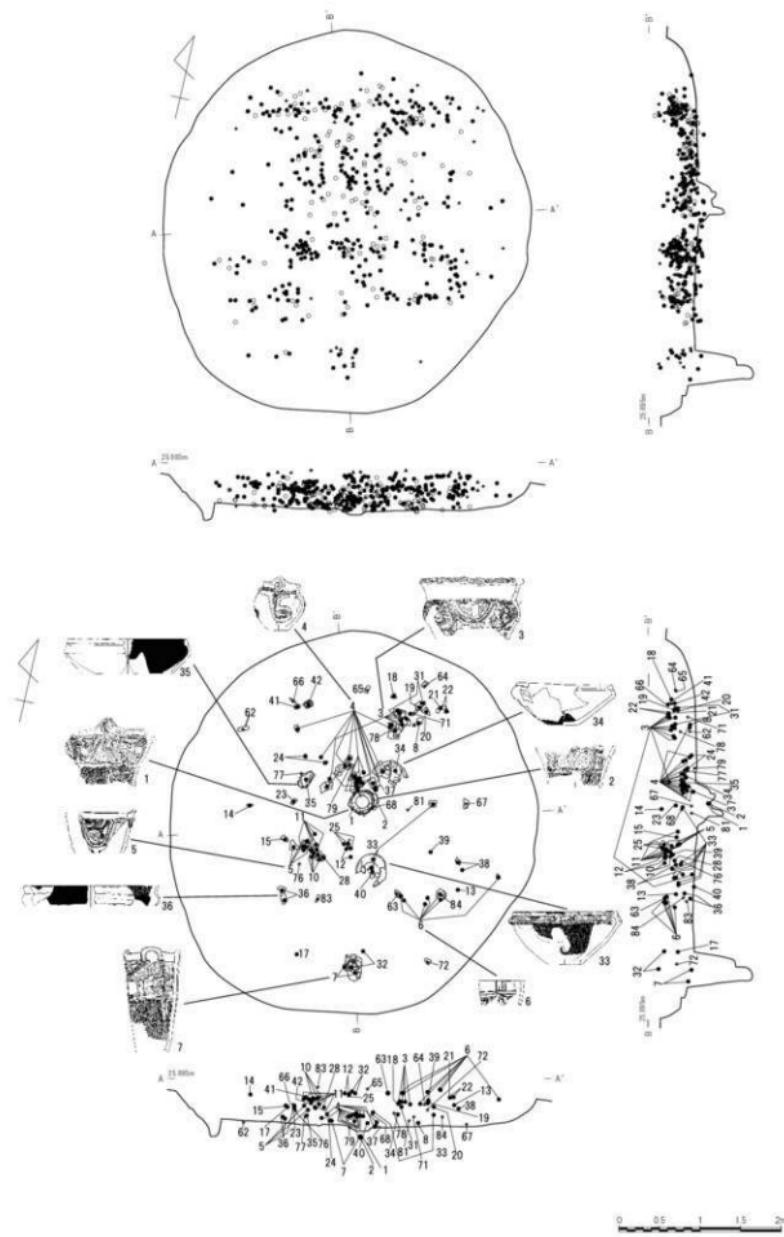
- 1 結褐色土 細り強、粘性有。5mm以下ローム粒多く含む。様い
- 2 黄褐色土 細り強、粘性有。ローム主体。2mm以下ローム粒やや多く含む

ピット7

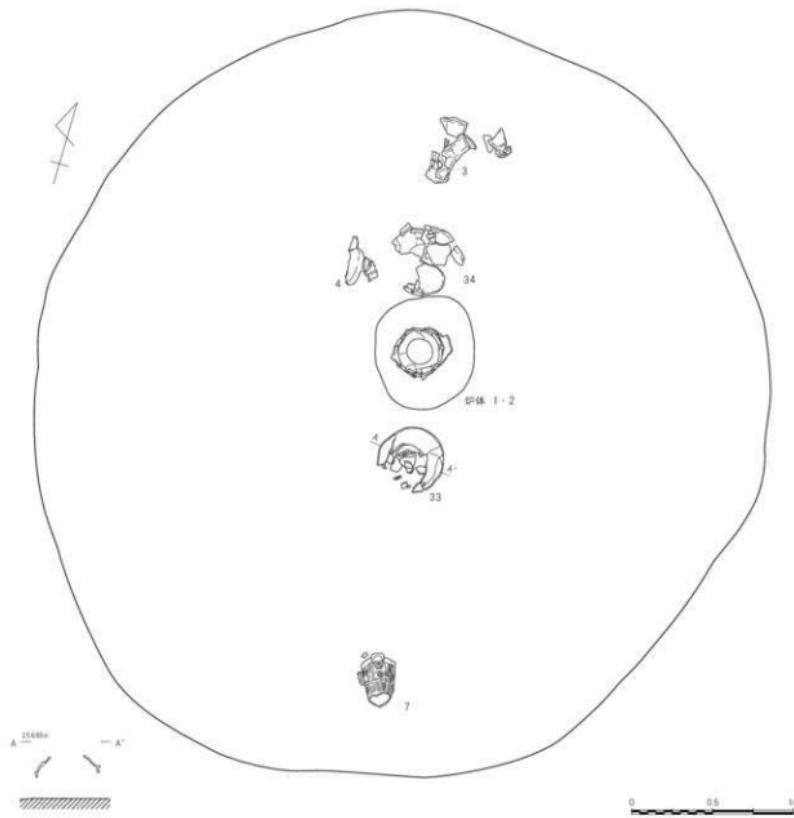
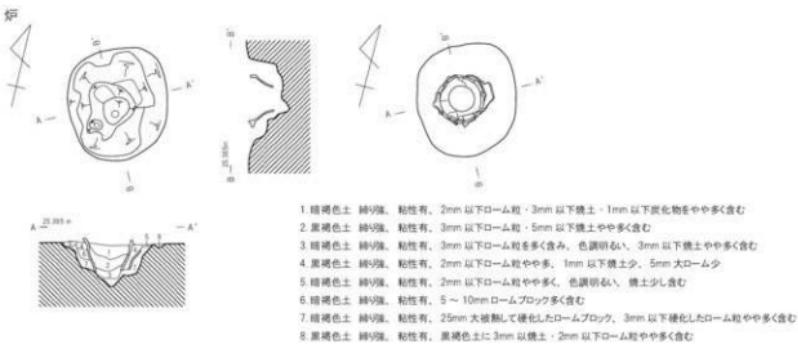
- 1 結褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒やや多く含む
- 2 結褐色土 細り強、粘性有。5mm以下ローム粒多く含む

ピット8

- 1 結褐色土 細り強、粘性有。2mm以下ローム粒やや多く。炭化物・鐵土少しある
- 2 結褐色土 細り強、粘性有。100mm以下大型のロームブロックを多く含む



第121図 東台遺跡第51地点180号住居跡遺物出土状況図(1/60)



第 122 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住跡炉、遺物出土状況図 (1/30)

240cm である。床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は床面から 15cm 上の土層から多量に出土する。点上げ遺物、一括遺物の総計 5,941 点中、土器 2,890 点、石器 135 点、礫 2,916 点で、礫が多い。時期の明確な破片では中期前半が 350 点で最も多い。また、黒曜石の剥片も 58 点出土している。

時期は炉体土器から勝坂末期である。

第 58 表 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-----|------|-----------|---------|----|-----------|
| P1 | 楕円形 | 61 × 47 | 32 × 25 | 52 | 主柱穴 |
| P2 | 楕円形 | 51 × 45 | 12 × 12 | 77 | 主柱穴 |
| P3 | 楕円形 | 52 × 40 | 18 × 15 | 72 | 主柱穴 |
| P4 | 楕円形 | 45 × 38 | 20 × 12 | 66 | 主柱穴、P1より新 |
| P5 | 円形 | 70 × 65 | 38 × 37 | 83 | 主柱穴、P6より新 |
| P6 | (円形) | 40 × (18) | 28 × 02 | 22 | P5より旧 |
| P7 | 楕円形 | 30 × 18 | 17 × 12 | 24 | |
| P8 | 楕円形 | 38 × 26 | 13 × 8 | 54 | |
| P9 | 楕円形 | 26 × 20 | 14 × 11 | 15 | |
| P10 | 楕円形 | 36 × 17 | 16 × 9 | 10 | |
| P11 | 円形 | 38 × 35 | 18 × 17 | 66 | 主柱穴、P4より旧 |
| P12 | 楕円形 | 32 × 30 | 24 × 20 | 24 | |

【181 号住居跡】調査区東端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。南側で 178 号住居跡と重複するが、178 号住居に本住居が壊される。

住居全体の 1/4 程度の検出で、東側は調査区域外である。平面形態は円形を呈すると思われる。確認面からの深さ 42 cm である。

周溝は西側で検出した。また、178 号住居跡の炉下から本住居跡の柱穴と思われるピットを検出した。主柱穴と思われる。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は 8 点中、土器 5 点、礫 3 点である。

時期は出土遺物から加曾利 E II 式期である。

第 59 表 東台遺跡第 51 地点 181 号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-----|------|---------|--------|----|----|
| P1 | 隅丸方形 | 34 × 30 | 14 × 7 | 74 | |

【182 号住居跡】調査区南西部に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。南側で 177 号住居跡と重複するが、177 号住居埋没後に本住居を構築している。

家の建築予定地外のため本調査をせず、プラン確認後、深さや炉の位置確認のため幅 30cm のサブトレントを十字に設定して調査した。

平面形態は円形。南北 410 cm、東西 362 cm、確認面からの深さ 23 cm である。

炉は住居のほぼ中央に位置し、平面形態は長軸 80 cm の楕円形である。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は点上げ遺物、一括遺物の総計 323 点中、土器 205 点、石器 6 点、礫 112 点である。時期の明確な破片では中期前半が 6 点で最も多い。

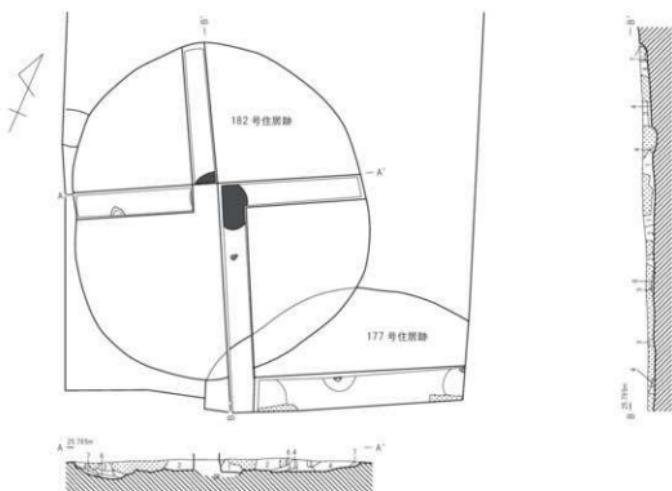
時期は出土遺物から勝坂末期である。

【土坑】土坑 1、2 ともに耕作による擾乱で残りは良くない。土坑 3 は上層が焼土層で、暗褐色土上で焼成が行なわれていた様子がある。土坑 4 は北側の第 25 地点で検出した土坑 11 の続きで、同一構造である。

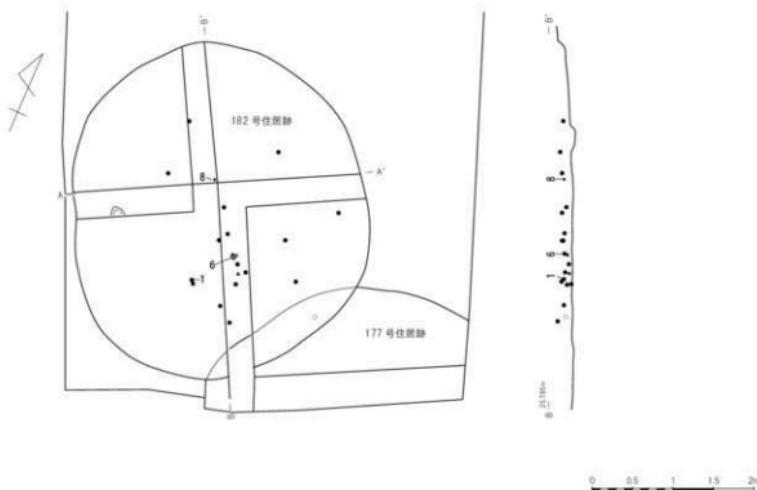
【ピット】14 基検出したが、全て時期は縄文時代である。P13、P14 は 178 号住居跡埋没後に掘られたピットで、178 号住居跡炉を壊している。同炉の遺物と思われる礫や土器が出土した。

第 60 表 東台遺跡第 51 地点遺構一覧表 (単位cm)

| No. | 平面形態 | 確認面 | 底面 | 深さ | 備考 |
|-----|-------|-------------|-------------|----|-------------|
| 土坑1 | 楕円形 | 137 × 97 | 126 × 78 | 17 | 周囲は耕作で壊される |
| 土坑2 | 楕円形 | 225 × 195 | 135 × 110 | 27 | 上層に焼土層 |
| 土坑3 | 楕円形 | 80 × 71 | 61 × 49 | 22 | 土1、2より新 |
| 土坑4 | 隅丸長方形 | (190) × 150 | (170) × 115 | 20 | 25 地点土坑 11 |
| P1 | 楕円形 | 80 × 60 | — | — | 未測 |
| P2 | 楕円形 | 41 × 25 | 27 × 15 | 14 | |
| P3 | 隅丸方形 | 28 × 24 | 18 × 16 | 36 | |
| P4 | (楕円形) | 51 × (30) | 13 × 13 | 23 | |
| P5 | 円形 | 26 × 25 | 8 × 7 | 6 | |
| P6 | 楕円形 | 57 × 34 | 7 × 6 | 16 | |
| P7 | 円形 | 45 × 43 | 28 × 16 | 22 | |
| P8 | 円形 | 74 × 70 | 54 × 46 | 17 | |
| P9 | 隅丸方形 | 27 × 27 | 18 × 16 | 12 | |
| P10 | 円形 | 26 × 25 | 12 × 5 | 17 | |
| P11 | 円形 | 31 × 30 | 16 × 16 | 14 | |
| P12 | 楕円形 | 90 × 80 | 55 × 38 | 29 | |
| P13 | (楕円形) | 25 × (15) | 10 × | 68 | 178 住居の炉を切る |
| P14 | (楕円形) | 22 × (15) | 5 × | 55 | 178 住居の炉を切る |

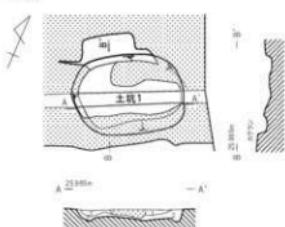


1. 黒褐色土 繊り強。粘性有。2mm 以下ローム粒・砂土をやや多く含む
2. 黒褐色土 繊り強。粘性有。1より色調明るい。2mm 以下ローム粒をやや多く含む
3. 暗褐色土 (2より明るい程度) 繊り強。粘性有。2mm 以下ローム粒をやや多く、3mm 以下炭化物少しあむ
4. 暗褐色土 繊り強。粘性有。3より色調明るい。2mm 以下ローム粒をやや多く、炭化物少しあむ。5~20mm ロームブロック少しあむ
5. 黒褐色土 繊り強。粘性有。2mm 以下ローム粒多く含む
6. 黒褐色土 繊り強。粘性有。5~10mm ロームブロック。2mm 以下ローム粒多く含む
7. 暗褐色土 粘性有。ローム土を含み、色調明るい 5~30mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒をやや多く含む
8. 掘れされているが、3mm 以下ローム粒が多く含む。種質の暗褐色土ブロック(床面の土)主体

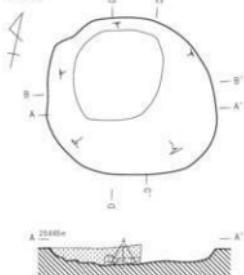


第 123 図 東台遺跡第 51 地点 182 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)

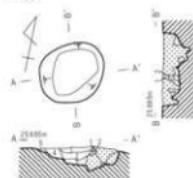
土坑1



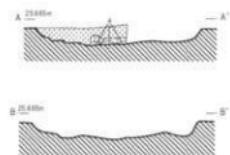
土坑2



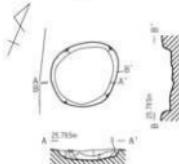
土坑3



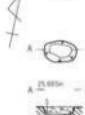
土坑4



P1



P2



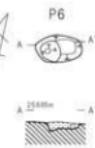
P3



P4



P5



P7



P8



P9



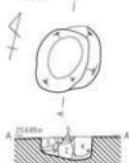
P10



P11



P12



0 0.5 1 1.5 2m

土坑1

1. 黒褐色土 細り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し、2mm以下炭化物わずかに含む
2. 黒褐色土 細り強、粘性有、やや黑色味強い、2mm以下ローム粒やや多く含む

3. 黒褐色土 細り強、粘性有、やや黑色味強い、3mm以下ローム粒やや多く、1mm以下炭化物少しある
4. 黒褐色土 細り強、粘性有、5~10mmロームブロックや多、5mm以下ローム粒多く含み、色調明るい
5. 黑褐色土 細り強、粘性有、3mm以下焼土少(4層より少)

土坑3~4

1. 黑褐色土 細り強、粘性有、粒径細かな燒土主体、2mm以下焼土粒多く含む、黒褐色土が上部に貫入する
2. 黑褐色土 細り強、粘性有、粒径細かな燒土主体、2mm以下焼土粒多く含む
3. 黑褐色土 細り強、粘性有、ローム土主体、2mm以下土粒やや多く含み、赤味を帯びる
4. 黑褐色土 細り強、粘性有、燒土を含み、赤味を帯びる、3mm以下焼土少しある
5. 黑褐色土 細り強、粘性有、3mm以下焼土少(4層より少)

第 124 図 東台遺跡第 51 地点土坑・ピット (1/60)

ピット 1

- 1a 黒褐色土 細り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、焼痕・土器片含む
- 1b 黄褐色土 細り強、粘性有、5~10mm ソフトロームブロック、5~20mm 黒褐色土をやや多く含み、斑状を呈する
- 1c 黒褐色土 細り強、粘性有、ローム分を含み、色調明るい、1mm 大炭化物、ローム粒少し含む

ピット 2

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2 緑褐色土 細り強、粘性有、ソフトローム土やや多、3mm 大炭化物少
- 3 緑褐色土 細り強、粘性有、斑状にソフトロームブロック多

ピット 3

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、2mm 以下炭化物少
- 2 黒褐色土 細り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多
- 3 緑褐色土 細り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く色調明るい

ピット 4

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、2mm 以下炭化物少
- 2 ピット 3 の 2 層に似る、ローム粒はうすら斑状に見られる(細り強い)
- 3 緑褐色土 細り強、粘性有、うっすら斑状に20mm 以下ロームブロックを多く含む
- 4 緑褐色土 細り強、5mm 以下ローム粒多く色調明るい

ピット 5

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、2mm 以下炭化物少
- 2 緑褐色土 細り強、5mm 以下ローム粒多く色調明るい
- 3 黒褐色土 細り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多

ピット 6

- 1 黒褐色土 細り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多

ピット 7

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2 緑褐色土 細り強、粘性有、3mm 以下ローム粒、炭化物やや多
- 3 緑褐色土 細り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多
- 4 緑褐色土 細り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少

ピット 8

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、3mm 以下ローム粒、炭化物やや多
- 2 黒褐色土 細り強、粘性有、5~10mm ロームブロック少し、2mm 以下焼土・炭化物少
- 3 緑褐色土 細り強、粘性有、ローム生体、斑状に黒褐色土をやや多く含む

ピット 9

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2 緑褐色土 細り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少

ピット 10

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少
- 2 緑褐色土 細り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多

ピット 11

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2 緑褐色土 細り強、粘性有、3mm 以下ローム粒、炭化物やや多
- 3 緑褐色土 細り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少

ピット 12

- 1 緑褐色土 細り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2 緑褐色土 細り強、粘性有、3mm 以下ローム粒、炭化物やや多
- 3 緑褐色土 細り強、粘性有、細り強い、2mm 以下ローム粒わずか
- 4 緑褐色土 細り強、粘性有、15mm 大ロームブロック少、1mm 以下ローム粒少、5~15mm 土器細片、30mm 大礫わずかに含む

第61表 東台遺跡第51地点出土遺物観察表

(単位cm)

| 回数 番号 | 面積 番号 | 遺構名 | 種別・部種 | 口径・底径 cm | 高さ cm | 特徴 | 種法・文様・その他 | 石材・推定 生産地 | 推定年代・時期 | 残存・備考 | | |
|----------|----------|---------|-----------|-------------|----------|--------|---|--------------|----------------|-----------------|------|--|
| | 1 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | φ30.0 | — | (18.9) | 輪縁み形成/口縁部は斜面状に連続した輪縁。腹部は楕円形区画の縦帶上を走る筋目状輪縁。外面部は縦帯輪縁より2又文を有する單底腹に施文/砂粒多量含む/沿底を除く、H.7. 傷 | | 繩文中期・勝坂3 | 口縁部1/2以上 上残存 | | |
| | 2 | 177号住居跡 | 圓文土器・浅鉢 | φ42.0 | — | (13.3) | 輪縁み形成/口縁部は斜面状で、外面部に赤褐色の輪縁有り/砂粒多量含む/周縁部有り/口縁部厚さ H.8.0、H10.0 折 | | 繩文中期 | 口縁部1/4以上 下残存 | | |
| | 3 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/輪縁帶上を走続輪縁/口縁内側に幅広輪縁/砂粒多量含む/注№166 | | 繩文中期・勝坂3 | 口縁部片 | | |
| | 4 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 波状口縁。口縁部は内側に屈曲する/砂粒多量含む/注№156 | | 繩文中期・阿玉台 | 口縁部片 | | |
| | 5 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部は斜面状。腹部、半底竹节で平底起状の直底剖面を呈する/砂粒多量含む/注№160 | | 繩文中期・勝坂3 | 口縁部片 | | |
| | 6 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部は斜面状。腹部は輪縁帶上を走続輪縁/砂粒多量含む/注№166 | | 繩文中期・勝坂3 | 口縁部片 | | |
| | 7 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/周縁部は斜面状に施文後、輪縁を削り付し、脇に波状波済/砂粒多量含む/注№161 | | 繩文中期 | 口縁部片 | | |
| | 8 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/輪縁部を連続した折衷式輪縁。その内側を波状波済で施文/砂粒多量含む/注№1 | | 繩文中期・勝坂2 | 胴部片 | | |
| | 9 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/輪縁帶上を走続輪縁し、脇内側は施文輪縁より交互輪縁。二又文を有する/砂粒多量含む/注№138 | | 繩文中期・勝坂3 | 胴部片 | | |
| | 10 | 177号住居跡 | 圓文土器・鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/輪縁部は斜面状/砂粒多量含む/注№165 | | 繩文中期 | 胴部片 | | |
| 125 回 | 111 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/輪縁帶上を走続輪縁/砂粒多量含む/注№25.45 | | 繩文中期・勝坂3 | 胴部片 | | |
| | 12 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/輪縁帶上を走続輪縁/砂粒多量含む/注№54 | | 繩文中期・勝坂3 | ノミ6 同一個体 | | |
| | 13 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口上:半底竹节/砂粒多量含む/注№10 | | 繩文中期・勝坂3 | 胴部片 | | |
| | 14 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/周縁部は斜面状/砂粒多量含む/注№14 | | 繩文中期・勝坂3 | 胴部片 | | |
| | 15 | 177号住居跡 | 圓文土器・浅鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/部隊から口縁への直縁部に連続した輪縁。口縁は、脇内側は太い半底竹节で施文/砂粒多量含む/注№16 | | 繩文中期・勝坂3 | 胴部片 | | |
| | 16 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/部隊から口縁への直縁部に連続した輪縁/砂粒多量含む/注№167 | | 繩文中期・勝坂3 | 胴部片 | | |
| | 17 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/脇内側に施文後、口縁部は消音凹-弾頭を有す。頭部へも輪縁を削り付し、脇内側は直縁部で施文/砂粒多量含む/注№29.30.33.34 | | 繩文中期・勝坂3 | 口縁部片 | | |
| | 18 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/直縁部で半底竹节/砂粒多量含む/注№4 | | 繩文中期・勝坂3 | 加賀利E.1 口縁部片 | | |
| | 19 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/脇内側に施文後、脇内側に波状波済/砂粒多量含む/注№161 | | 繩文中期・勝坂3 | 加賀利E.1 波済 | | |
| | 20 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | (4.3) | 輪縁み形成/前段各2枚のRL.圓文を脇内側に施文後、波状波済で充填/砂粒多量含む/注№52.16 | | 繩文中期 | 加賀利E.2 胴部片 | | |
| | 21 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | (7.6) | 輪縁み形成/RL.圓文を脇内側に施文後、垂直輪縁付近付/砂粒多量含む/注№57 | | 繩文中期 | 加賀利E.2 底部片 | | |
| | 22 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | (7.6) | 輪縁み形成/RL.圓文を脇内側に施文後、垂直輪縁付近付/砂粒多量含む/注№56 | | 繩文中期 | 加賀利E.2 底部片 | | |
| | 23 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/RL.圓文を脇内側に施文/砂粒多量含む/注№161 | | 繩文中期 | 胴部片 | | |
| | 24 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部の口内側に斜面を造らし、沈漫端部は口縁部斜面。脇内側は直縁部と同様上に通継輪縁を削り付。地位はRL.圓文を脇内側に施文。脇内側に波状波済を造らし、砂粒多量含む/注№6. H.6. 床底 | | 繩文後期 脇内側1式 | 口縁部片 | | |
| | 25 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部の口内側に斜面を造らし、波状波済は口縁部斜面/砂粒多量含む/注№165 | | 繩文後期 脇内側1式 | 口縁部片 | | |
| | 26 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/RL.圓文を脇内側に施文後、波状波済で充填/砂粒多量含む/注№162 | | 繩文後期 脇内側2式 | 胴部片 | | |
| | 27 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/基盤部の口縁部へ波状波済を造らし、波状波済は口縁部斜面/砂粒多量含む/注№162 | | 繩文後期 脇内側2式 | 胴部片 | | |
| | 28 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | (7.1) | — | — | 輪縁み形成/口内側に斜面を造らし、内側にタル状付着/注№167 | | 繩文時代 | 底部片 | | |
| | 29 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | (9.1) | 輪縁み形成/無文/砂粒多量含む/注№43. 床底 | | 繩文時代 | 底部片 | | |
| | 30 | 177号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 破片を口縁に打ち欠く。地位はRL.圓文/注№161 | | 繩文中期 | 胴部片 | | |
| | 31 | 177号住居跡 | 石器・土器・製石斧 | — | — | — | 破片を口縁に打ち欠く。地位はRL.圓文/注№163 | | 繩文中期 | 胴部片 | | |
| | 32 | 177号住居跡 | 石器・打製石斧 | φ6.95 | 4.7 | 1.8 | 重量 65.83g 西周打製石斧/注№162 | | 武器刀? | 繩文時代 | 刃部欠 | |
| | 33 | 177号住居跡 | 石器・打製石斧 | 9.7 | 6.5 | 2.85 | 重量 228.70g 西周打製石斧/注№16. 床直 | | 片岩 | 繩文時代 | 完形 | |
| | 34 | 177号住居跡 | 石器・打製石斧 | φ6.1 | (4.60) | 1.74 | 重量 63.30g 西周打製石斧/注№42 | | ホルンフェルス | 繩文時代 | 刃部欠 | |
| | 35 | 177号住居跡 | 石器・打製石斧 | 6.7 | 4.9 | 2.1 | 重量 83.67g 西周打製石斧/注№166 | | ホルンフェルス | 繩文時代 | 刃部欠 | |
| | 36 | 177号住居跡 | 石器・打製石斧 | 4.8 | 4.2 | 1.2 | 重量 36.90g 西周打製石斧/注№1610 | | ホルンフェルス | 繩文時代 | 完形 | |
| | 37 | 177号住居跡 | 石器・磨石 | 4.2 | 3.9 | 2.5 | 重量 58.46g 侧面研磨有り。表面面神跡有り/注№163 | | 安山岩 | 繩文時代 | 一部 | |
| | 1 | 74号住居跡 | 圓文土器・鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部は斜面を造らし、R.右向きの燃焼部を横位に施文/砂粒多量含む/注№161 | | 繩文後期 鶴名寺 | 口縁部片 | | |
| | 2 | 74号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/条縫を横位に施文。3本筋の波状輪縁を造らし/砂粒多量含む/注№163 | | 繩文中期 | 加賀利E.2 | 胴部片 | |
| | 3 | 74号住居跡 | 圓文土器・鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部は斜面を造らし。L.左向きの燃焼部を横位に施文する/砂粒多量含む/注№163 | | 繩文中期 加賀利E.2 | 口縁部片 | | |
| | 4 | 74号住居跡 | 圓文土器・鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口内側に小凸筋。外面部は斜面で施文/砂粒多量含む/注№162 | | 圓文 | 底部片 | | |
| | 1 | 182号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部は斜面を造らし。外面部は斜面で施文/砂粒多量含む/注№163 | | 繩文後期 城之内 | 口縁部片 | | |
| | 2 | 182号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部は斜面を造らし。外面部は斜面で施文/砂粒多量含む/注№163 | | 繩文中期 | 勝坂 | 口縁部片 | |
| | 3 | 182号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | — | — | — | 輪縁み形成/口縁部は斜面を造らし。外面部は斜面で施文/砂粒多量含む/注№162 | | 繩文中期 阿玉台Ⅱ期 | 胴部片 | | |

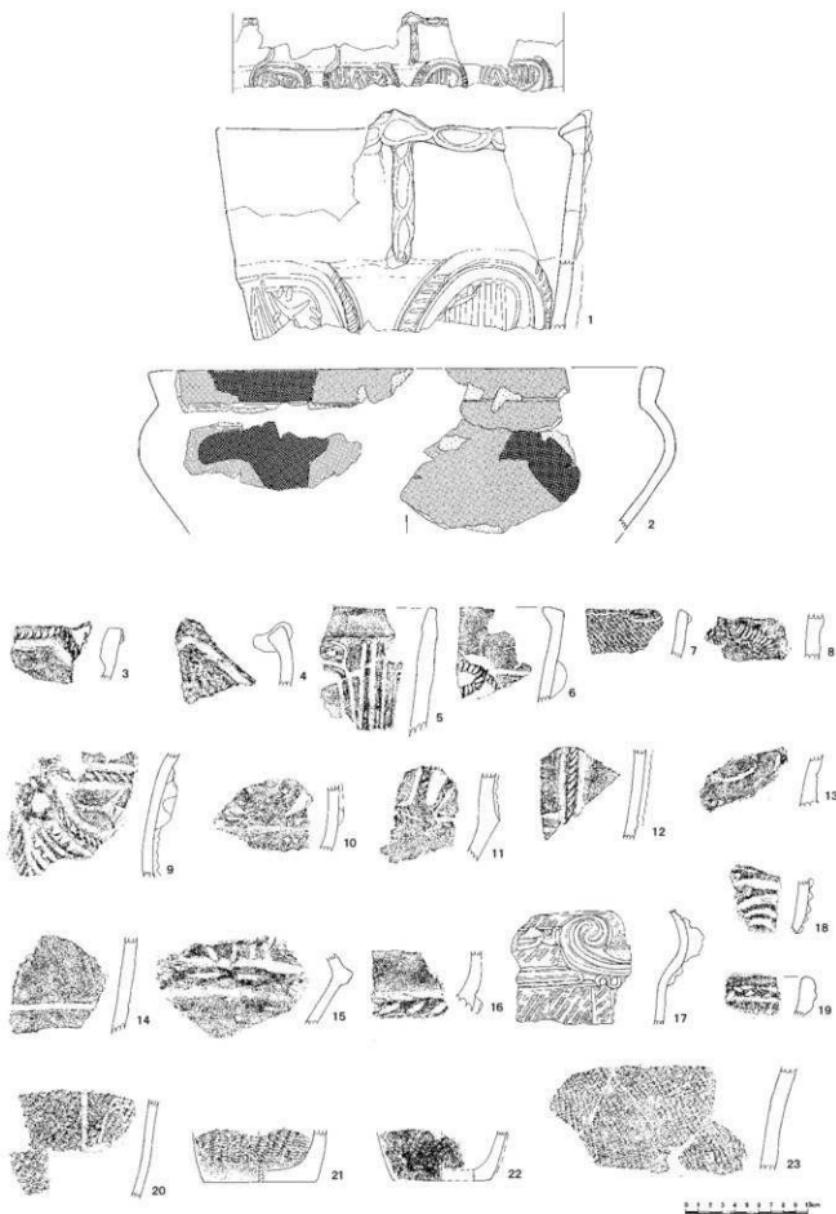
| 地番 番号 | 指標 番号 | 遺構名 | 種別・器種 | 口径・ 幅 | 底径・ 幅 | 高さ・ 厚 | 柱法 / 文様 / その他 | 石材 / 推定 生産地 | 推定年代・時期 | 残存 / 破壊 |
|----------|----------|---------|-------|----------|----------|-----------------|---|----------------|---------------|---------|
| 4 | 182号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / R右巻きの擦毛文を範囲に施文 / 砂粒多量含む。角閃石含む / 注36.Dトレ-2 | | 縄文中期 | 胸部分 |
| 5 | 182号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 肩部に刮削痕。底部は単洗版で凹う / 砂粒多量含む / 注36.Cト-3中央 | | 縄文中期・勝坂3 | 胸部分 |
| 6 | 182号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 双環状把手。側面上発射形刺突。区画内には先の丸い押引文で充填 / 砂粒多量含む / 注36.A | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 |
| 7 | 182号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 脊部に刮削痕。底部は単洗版で凹う / 砂粒多量含む / 注36.Dトレ-1 | | 縄文中期・勝坂3 | 胸部分 |
| 8 | 182号住10番 | 石器・打製石斧 | (5.8) | 1.94 | 重量 54.4g | 内輪磨打技法 / 注36.H4 | | 細泥片岩 | 縄文時代 | 基盤 |
| 9 | 182号住10番 | 石器・打製石斧 | 6.08 | 4.37 | 2.5 | 重量 84.91g | 内輪磨打技法 / 注36.8 | ホルンフェルス | 縄文時代 | 肩部一部欠 |
| 10 | 182号住10番 | 石器・石鉈 | 4.3 | 4.8 | 0.8 | 重量 17.15g | 横長切口・押引磨打加工 / 注36.H3 | ホルンフェルス | 縄文時代 | 基盤・先端欠 |
| 11 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | 19.1 | - | - | - | 輪郭み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注36.219, 221, 224, 227, 228, 231 | | 口縁部片 | |
| 12 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / L左巻きの擦毛文に引き折れ。底面で施文。口縁部4段凹凸を利用して直した直線状洗版。底部に粘土層を有するが砂粒多量含む / 注36.I3 | | 縄文中期・晉和II | 口縁部片 |
| 13 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | (8.0) | (2.5) | - | - | 輪郭み成形 / 無文 / 外面部の擦毛文 / 砂粒多量含む / 黒墨有 / 注36.H4 が | | 縄文中期 | 底部片 |
| 14 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 陰刻による区画内に洗削跡で充填する。輪郭部を洗削し刮削刺突 / 砂粒多量含む / 注36.107, 155 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 |
| 15 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 陰刻部を輪郭押文で押す。二重押文も平行せざる / 砂粒多量含む / 注36.211 | | 縄文中期・新道 | 胸部分 |
| 16 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 肩部部を洗削で押す。区画内は洗削と洗削爪形文で充填する / 砂粒多量含む / 注36.50 | | 縄文中期・勝坂3 | 胸部分 |
| 17 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 注36.135 | | 縄文中期 | 口縁部片 |
| 18 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 波状口縁 / 砂粒多量含む / 注36.134 | | 縄文中期 | 口縁部片 |
| 19 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。口縁に洗削で巻ききと相ち区画部。脚部は洗削による無文垂文 / 砂粒多量含む。角閃石含む / 注36.223 剥 | | 縄文中期・加曾利E III | 口縁部片 |
| 20 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文。脚部削面に洗削を2箇所追し。洗削爪形文を輪郭へ施す / 砂粒多量含む / 注36.BK-2 | | 縄文中期・晉和II | 口縁部片 |
| 21 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文後、輪行無軸洗削部へ施文 / 砂粒多量含む / 注36.AK-2 | | 縄文中期・晉和II | 胸部分 |
| 22 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文後、軒型と直腹の無文を3本組み洗削で充填する / 砂粒多量含む / 注36.122 | | 縄文中期・晉和II | 胸部分 |
| 23 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。L左巻きの擦毛文を範囲に施文後、脚部へ2列(以上)の洗削を追加し。脚部へ無文垂文を施す / 砂粒多量含む / 注36.90 | | 縄文中期・晉和II | 胸部分 |
| 24 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文後、直腹へ施す / 砂粒多量含む / 注36.AK-2 | | 縄文中期・晉和II | 胸部分 |
| 25 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | (5.0) | (2.5) | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文後、直腹へ施す / 砂粒多量含む / 注36.120, 133 | | 縄文中期・加曾利E III | 底部片 |
| 26 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。R右巻きの擦毛文を範囲に施文後。脚部を斜付け鍋を洗削で押させる / 砂粒多量含む / 注36.142 | | 縄文中期・加曾利E III | 胸部分 |
| 27 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。R右巻きの擦毛文を範囲に施文後。口縁直下に3本の洗削を追加し。脚部へ無文垂文を施す / 砂粒多量含む / 注36.90 | | 縄文中期・加曾利E III | 口縁部片 |
| 28 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。口縁直下に3本の洗削を追加し。その上へ伏せた手筋凹による無文を追加 / 注36.14 | | 縄文中期・加曾利E III | 口縁部片 |
| 29 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。口縁直下に3本の洗削を追加し。脚部へ3本の洗削を追加し。脚部は洗削で施文 / 砂粒多量含む / 注36.217 | | 縄文中期・加曾利E III | 胸部分 |
| 30 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。口縁直下に3本の洗削を追加し。その上へ伏せた手筋凹による無文を追加 / 注36.217 | | 縄文中期・加曾利E III | 口縁部片 |
| 31 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。口縁直下に3本の洗削を追加し。脚部へ3本の洗削を追加し。脚部は洗削で施文 / 砂粒多量含む / 注36.82 | | 縄文中期・加曾利E III | 胸部分 |
| 32 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文 / 注36.AK-2 | | 縄文中期・加曾利E III | 胸部分 |
| 33 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文 / 砂粒多量含む / 注36.122 | | 縄文中期・加曾利E III | 底部片 |
| 34 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 地文無し。縄文と縦縫目で施文 / 砂粒多量含む / 注36.BK-2 | | 縄文中期・加曾利E III | 口縁部片 |
| 35 | 178号住10番 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪郭み成形 / 口縁部へ列点文を巡らす / 砂粒多量含む / 注36.BK-2 | | 縄文中期・加曾利E III | 口縁部片 |

| 調査番号 | 施設番号 | 遺構名 | 種別・部種 | 口径・底径・ 長 | 器高・ 幅 | 残法・文様・その他 | 石材・推定生産地 | 推定年代・時期 | 残存・備考 |
|------|----------|---------------|--------|-------------|--------------------------------|---|---------------|------------------|-------|
| 36 | 178 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／皆背工具による列点文／砂粒多量含む / 注36 | 繩文中期・ 加曾利Ⅱ | 軸脚付 | |
| 37 | 178 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／無文／砂粒多量含む / 注36 A区-2 | 繩文中期 | 口縁部片 | |
| 38 | 178 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／無文／砂粒多量含む / 注36 B区-2 | 繩文中期 | 口縁部片 | |
| 39 | 178 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／無文／砂粒多量含む / 注36 C区-2 | 繩文中期 | 口縁部片 | |
| 40 | 178 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／無文／内面に赤土埋入／砂粒多量含む / 注36 D区-2 | 繩文中期 | 口縁部片 | |
| 41 | 178 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／無文／高さの柱状断面／砂粒多量含む / 注36 E区-2 | 繩文中期 | 底部片 | |
| 42 | 178 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | (0.0) | (2.0) | 輪縁み成形／無文／砂粒多量含む / 注36 F区-2 | 繩文中期 | 底部片 | | |
| 43 | 178 号住居跡 | 圓文土器・浅鉢 | (0.0) | (2.0) | 輪縁み成形／無文／砂粒多量含む / 注36 G区-2 | 繩文中期 | 底部片 | | |
| 44 | 178 号住居跡 | 石器・ナイフ形 | 1.0 | 0.33 | 0.4 | 重量 0.6kg／圓長柄刀を素形とし、基部の両側面をプランディング / 注36 H区-2 | 黒曜石 | 繩文時代・ 基部片 | |
| 45 | 178 号住居跡 | 石器・石斧 | 1.5 | 1.3 | 0.34 | 重量 0.5kg／打刃切削 / 注36 I区-2 | 黒曜石 | 繩文時代・ 完形 | |
| 46 | 178 号住居跡 | 石器・石斧 | 1.0 | 0.9 | 0.28 | 重量 0.2kg／打刃切削 / 注36 J区-2 | 黒曜石 | 繩文時代・ 基部欠 | |
| 47 | 178 号住居跡 | 石器・打製石斧 | 8.33 | 6.63 | 1.7 | 重量 112.6kg／兩面斜打技法 / 注36 K区-2 | 砂岩 | 繩文時代・ 完形 | |
| 48 | 178 号住居跡 | 石器・打製石斧 | 8.82 | 4.04 | 1.38 | 重量 55.9kg／兩面斜打技法 / 注36 L区-2 | ホルンフェルス | 繩文時代・ 完形 | |
| 49 | 178 号住居跡 | 石器・打製石斧 | 8 | (3.6) | 2.3 | 重量 78.4kg／兩面斜打技法 / 注36 M区-2 | ホルンフェルス | 繩文時代・ 月部-一部欠 | |
| 50 | 178 号住居跡 | 石器・打製石斧 | 4.15 | 4.1 | 1 | 重量 21.55g／兩面斜打技法 / 注36 N区-2 | ホルンフェルス | 繩文時代・ 基部欠 | |
| 51 | 178 号住居跡 | 石器・打製石斧 | 6.1 | 3.9 | 1.4 | 重量 55.34g／兩面斜打技法 / 注36 O区-2 | 砂岩 | 繩文時代・ 月部-一部欠 | |
| 52 | 178 号住居跡 | 石器・打製石斧 | 8.2 | 4.5 | 2.3 | 重量 136.40g／兩面斜打技法 / 注36 P区-2 | 砂岩 | 繩文時代・ 月部-一部欠 | |
| 53 | 178 号住居跡 | 石器・石斧 | 12.7 | 4.2 | 1.1 | 重量 107.43g／圓有孔器に類似有孔 / 注36 Q区-2 | チャート | 繩文時代・ 腰下分 | |
| 54 | 178 号住居跡 | 石器・石斧 | 6.2 | 2.9 | 0.6 | 重量 346.36g／径 2.5cm・深さ 1mの孔 1ヶ所 / 注36 R区-2 | 片岩 | 繩文時代・ 上部-下部欠 | |
| 1 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／圓文土器による圓形内面と口縁部から縫隙にて施文後、點打捺痕に沿って砂粒多量含む / 注37 A区-2 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 2 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 口縁部の渦巻状突起の一部 / 注37 B区-2 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 3 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／口縁は渦巻。口縁部へこの次突起を残らず／砂粒多量含む / 注37 C区-2 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 4 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／口縁は渦巻状突起を2本前後に斜めに引く / 砂粒多量含む / 同上 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 5 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／渦巻状突起帶を帯びて2本前後に斜めに引く / 砂粒多量含む / 同上 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 6 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／地文端位の渦巻 / 砂粒多量含む / 注37 D区-2 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 7 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／砂粒多量含む / 注37 E区-2 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 8 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／口縁は渦巻。口縁部に施文後、平行双輪の波状文 / 砂粒多量含む / 注37 F区-2 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 9 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形／砂粒は無。渦巻文を施文後、直線の懸垂文を3本組み波状文で施文 / 砂粒多量含む / 注37 G区-2 | 繩文中期・ 加曾利Ⅰ | 口縁部片 | |
| 10 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形 / 地文 / 砂粒多量含む / 注37 H区-2 | 繩文中期 | 底部片 | |
| 11 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | (0.0) | (1.8) | 輪縁み成形 / 地文 / 砂粒多量含む / 注37 I区-2 | 繩文中期 | 底部片 | | |
| 12 | 179 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形 / 地文 / 砂粒多量含む / 注37 J区-2 | 繩文中期 | 底部片 | |
| 13 | 179 号住居跡 | 石器・石器未成品 | 1.9 | 2.1 | 0.55 | 重量 151g／打刃切削。底部からの剥離時に先端部が欠けたと思われる / 砂粒多量含む / 注37 K区-2 | 黒曜石 | 繩文時代・ (未成品) | |
| 14 | 179 号住居跡 | 石器・磨製石斧 | 7.9 | 2.4 | 0.7 | 重量 22.8g／刃が鋭敏に削除された小石弾弓の両側面 / 輪縁斜打技法 / 斧形 / 途中 / 注37 L区-2 | 片岩 | 繩文時代・ 基部欠 | |
| 1 | 180 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | (3.18) | - | (22.1) | 輪縁み成形 / 口縁は 4 扇に所々に把手突起があると思われる。2 扇残存する。圓文正面部は浅縁状で有唇部を除く四つ角。口縁は立体的の把手が付わると記される。口縁文様の基本は、除帶により「S」字状の文様を施文する。除帶上部へラウンド工具による連続刺突。もしくは皆背工具による連続刺突である。区画内は円形、三角形を基本に、比肩による「S」字状の文様を施文する。除帶上部は三連押突で施文した除帶を残せる。除帶は右巻きの燃系文を施文。時計回りに重ねる「砂粒多量含む / 注38 が付く」。紹介 | 繩文中期・ 勝坂3 | 脚部下半欠、 口縁一部欠 | |
| 2 | 180 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | - | - | - | 輪縁み成形 / 区画内は比肩による渦巻文。渦巻内は比肩による三叉文で充填する。除帶は右巻きの燃系文を施文。時計回りに重ねる「砂粒多量含む / 注38 が付く」。 | 繩文中期・ 勝坂3 | 脚部中位の 1/2以下残存 | |
| 3 | 180 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | 34.0 | - | (20.2) | 輪縁み成形 / 口縁の部は外に出し、連鎖状態にする。口縁は無文。胴部との境は平行横隔間で交差する。胴部上半は斜面削成により円形、平面形、波状に文様を施する。縁帶上は一部へ方状工具による連続刺突。区画内は直線による円形文や三叉文で、連続刺突や交叉刺突及び比肩刺突で充填する。胴部はLR 文を羅文に重ねる「砂粒多量含む / 注38 が付く」。 | 繩文中期・ 勝坂3 | 脚部下半欠 | |
| 4 | 180 号住居跡 | 圓文土器・ 小把深鉢 | 12.0 | 17.6 | 15.8 | 輪縁み成形 / 口縁は 1 扇に把手突起があり引き抜きの跡が残る。口縁は無文。縁帶は斜面削成により円形、平面形、波状に文様を施す。縁帶上は一部へ方状工具による連続刺突。把手突起の裏側は羅文で充填される「砂粒多量含む / 注38 が付く」。 | 繩文中期・ 勝坂3 | ほぼ完形 | |
| 5 | 180 号住居跡 | 圓文土器・深鉢 | 22.0 | - | (14.5) | 輪縁み成形 / 口縁は最短 1 フラッシュに把手突起がある。輪縁周辺の文様は時計回り「U」字形等に區画し、区画内は直線で渦巻きや円形文などがなされ、波状削成、連続刺突、手平削作による平行横隔間などで充填する「砂粒多量含む / 注38 が付く」。 | 繩文中期・ 勝坂3 | 口縁部 1/2 以上残存 | |

| 地點番号 | 拓載番号 | 遺構名 | 種別・部種 | 口径・底径 | 高さ・幅 | 柱法・文様 | その他の | 石材・推定生産地 | 推定年代・時期 | 残存・現状 |
|------|---------|---------|--------|--------|--------|---|--|--------------|-----------------------|-------|
| 6 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/口縁は3本筋平口弦形でそらく四分割される。胴部との境は斜面が平行状況が並り、若干半周状になる。胴部は縦・横文を継ぎに施文する/砂粒多量含む/外周、縦や横状物が付着する/注3c.119、158、160、162、167、173、274 | 輪vfs成形/口縁は3本筋平口弦形でそらく四分割される。胴部との境は斜面が平行状況が並り、若干半周状になる。胴部は縦・横文を継ぎに施文する/砂粒多量含む/外周、縦や横状物が付着する/注3c.119、158、160、162、167、173、274 | 縦文中期・勝坂3 | 縦部1/4以上残存 | |
| 7 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | 18.0 | — | (3)2.3 | 輪vfs成形/口縁は3本筋平口弦形でそらく四分割される。文様部には把手突起があり、直线上に懸垂腰帶を有して、文様部が四方に割られる。文様部は腰帶でさらに上三分割される。腰帶の交差部分は腰帶中央へ十字縫に斜縫を入れ、その間は交互刺繡である。上部文様部は3ヶ所が腰帶上を矢状状に刺繡した斜縫み成形/口縁は3本筋平口弦形で、2ヶ所に内側、2ヶ所に外側/4ヶ所に把手突起があり、直线上に懸垂腰帶を有して、文様部が四方に割られる。文様部は腰帶でさらに上三分割される。腰帶の交差部分は腰帶中央へ十字縫に斜縫を入れ、その間は交互刺繡である。上部文様部は3ヶ所が腰帶上を矢状状に刺繡した斜縫み成形/口縁は3本筋平口弦形で、2ヶ所に内側、2ヶ所に外側/4ヶ所に把手突起があり、直线上に懸垂腰帶を有して、文様部が四方に割られる。文様部は腰帶でさらに上三分割される。腰帶の交差部分は腰帶中央へ十字縫に斜縫を入れ、その間は交互刺繡である。上部文様部は3ヶ所が腰帶上を矢状状に刺繡した斜縫み成形/口縁は3本筋平口弦形で、2ヶ所に内側、2ヶ所に外側/4ヶ所に把手突起があり、直线上に懸垂腰帶を有して、文様部が四方に割られる。文様部は腰帶でさらに上三分割される。腰帶の交差部分は腰帶中央へ十字縫に斜縫を入れ、その間は交互刺繡である。上部文様部は3ヶ所が腰帶上を矢状状に刺繡した斜縫み成形/口縁は3本筋平口弦形で、2ヶ所に内側、2ヶ所に外側/4ヶ所に把手突起があり、直线上に懸垂腰帶を有して、文様部が四方に割られる。上部文様部は3ヶ所が腰帶上を矢状状に斜縫を入れ、その間は把手突起がある。上下文様部は浅縫による渦巻文、三文文、波綱文等で施文されながら、無文の文様もある。胴部はR左巻きの筋文系を継ぎ、時計回りに重ねる/砂粒多量含む/注3d.141、462 | 輪vfs成形/口縁は3本筋平口弦形でそらく四分割される。胴部との境は斜面が平行状況が並り、若干半周状になる。胴部は縦・横文を継ぎに施文する/砂粒多量含む/外周、縦や横状物が付着する/注3c.119、158、160、162、167、173、274 | 縦文中期・勝坂3 | 底部欠 | |
| 8 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/大型の中空手打ちの口縁部。把手は円形や渦巻きを主体とし、浅縫で腰帶上をなぞる。口縁部はR縦文を横筋に施文して、2本筋の腰帶を貼付。把手で輪を握り付ける。口縁上端には浅縫状況を還らす/砂粒多量含む/注3e.566 | 輪vfs成形/大型の中空手打ちの口縁部。把手は円形や渦巻きを主体とし、浅縫で腰帶上をなぞる。口縁部はR縦文を横筋に施文して、2本筋の腰帶を貼付。把手で輪を握り付ける。口縁上端には浅縫状況を還らす/砂粒多量含む/注3e.566 | 縦文中期・勝坂末・中後式 | 口縫部 | |
| 9 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/口縁部相応の無文文様の下でR右巻きの燃れ文を施す。時計回りに重ねる。胴部との境に腰帶の端より腰帶上は4本杖工具による連続刺突である/砂粒多量含む/注3d.193、B区.5、C区.4・4、D区.3、H1 | 輪vfs成形/口縁部相応の無文文様の下でR右巻きの燃れ文を施す。時計回りに重ねる。胴部との境に腰帶の端より腰帶上は4本杖工具による連続刺突である/砂粒多量含む/注3d.193、B区.5、C区.4・4、D区.3、H1 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部/7・9c 9-11は同一個体 | |
| 10 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/横文土器帯は斜帶による輪内区画で、腰帶上はヘラ状工具により連続刺突される。区画部は平口弦形と連続刺突である。胴部はR右巻きの燃れ文を施す。時計回りに重ねる/砂粒多量含む/注3e.206～208、213、B区.5、C区.2・4 | 輪vfs成形/横文土器帯は斜帶による輪内区画で、腰帶上はヘラ状工具により連続刺突される。区画部は平口弦形と連続刺突である。胴部はR右巻きの燃れ文を施す。時計回りに重ねる/砂粒多量含む/注3e.206～208、213、B区.5、C区.2・4 | 縦文中期・勝坂3 | 胴部/7・9c 11-13は同一個体 | |
| 11 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/地紋はR右巻きの燃れ文を継ぎ。時計回りに重ねる/砂粒多量含む/注3e.209～211、219、220、231、BK.5、C区.4・7 | 輪vfs成形/地紋はR右巻きの燃れ文を継ぎ。時計回りに重ねる/砂粒多量含む/注3e.209～211、219、220、231、BK.5、C区.4・7 | 縦文中期・勝坂3 | 輪部/7・9c 11-13は同一個体 | |
| 12 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/大形把手の手の輪部。腰帶上は一部へラ状工具による連続刺突/砂粒多量含む/注3e.197、200 | 輪vfs成形/大形把手の手の輪部。腰帶上は一部へラ状工具による連続刺突/砂粒多量含む/注3e.197、200 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 13 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/人形把手の手の輪部。腰帶上はR右巻きの燃れ文を施す。時計回りに重ねる/砂粒多量含む/注3e.127 | 輪vfs成形/人形把手の手の輪部。腰帶上はR右巻きの燃れ文を施す。時計回りに重ねる/砂粒多量含む/注3e.127 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 14 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/把手突起から、直下に懸垂腰帶を隠す。腰帶上をヘラ状工具により矢先付近に連続刺突。柄部のR右巻きの燃れ文を2ヶ所に分けて施す/砂粒多量含む/注3e.115 | 輪vfs成形/把手突起から、直下に懸垂腰帶を隠す。腰帶上をヘラ状工具により矢先付近に連続刺突。柄部のR右巻きの燃れ文を2ヶ所に分けて施す/砂粒多量含む/注3e.115 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 15 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/把手突起から、直下に懸垂腰帶を隠す。腰帶上をヘラ状工具により矢先付近に連続刺突。柄部のR右巻きの燃れ文を2ヶ所に分けて施す/砂粒多量含む/注3e.115 | 輪vfs成形/把手突起から、直下に懸垂腰帶を隠す。腰帶上をヘラ状工具により矢先付近に連続刺突。柄部のR右巻きの燃れ文を2ヶ所に分けて施す/砂粒多量含む/注3e.115 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 16 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/小形把手突起から、直下に懸垂腰帶を隠す。腰帶上をヘラ状工具により上部連続刺突。柄部のR右巻きの燃れ文を2ヶ所に分けて施す/砂粒多量含む/注3e.115 | 輪vfs成形/小形把手突起から、直下に懸垂腰帶を隠す。腰帶上をヘラ状工具により上部連続刺突。柄部のR右巻きの燃れ文を2ヶ所に分けて施す/砂粒多量含む/注3e.115 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 17 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/二角形把手の手の輪部。腰帶上は連続刺突/砂粒多量含む/注3e.209 | 輪vfs成形/二角形把手の手の輪部。腰帶上は連続刺突/砂粒多量含む/注3e.209 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 18 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/腰帶は二角形/砂粒多量含む。腰帶内側に砂粒多量含む/注3e.270 | 輪vfs成形/腰帶は二角形/砂粒多量含む。腰帶内側に砂粒多量含む/注3e.270 | 縦文中期・阿立丘1中期 | 腰部 | |
| 19 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/三角形把手の手の輪部。腰帶上内側へ突出する。直下から懸垂腰帶/砂粒多量含む。直下から腰帶/砂粒多量含む/注3e.195 | 輪vfs成形/三角形把手の手の輪部。腰帶上内側へ突出する。直下から懸垂腰帶/砂粒多量含む。直下から腰帶/砂粒多量含む/注3e.195 | 縦文中期・阿立丘1中期 | 口縫部 | |
| 20 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/口縁部内側へ突出する/砂粒多量含む。直下から腰帶/砂粒多量含む/注3e.300、AB.46Lト1 | 輪vfs成形/口縁部内側へ突出する/砂粒多量含む。直下から腰帶/砂粒多量含む/注3e.300、AB.46Lト1 | 縦文中期 | 口縫部 | |
| 21 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/口縁部へ懸垂腰帶/砂粒多量含む/注3e.12 | 輪vfs成形/口縁部へ懸垂腰帶/砂粒多量含む/注3e.12 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 22 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/口縁部へ懸垂腰帶/砂粒多量含む/注3e.111、12、A区.1 | 輪vfs成形/口縁部へ懸垂腰帶/砂粒多量含む/注3e.111、12、A区.1 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 23 | 180号住居跡 | 縦文土器・小形 | — | — | — | 輪vfs成形/輪内側へ把手貼付で輪を施す/砂粒多量含む/注3e.425、H4 | 輪vfs成形/輪内側へ把手貼付で輪を施す/砂粒多量含む/注3e.425、H4 | 縦文中期・勝坂3 | 口縫部 | |
| 24 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/腰帶上へ連続刺突の渦巻文を施す。半周部より平行腰帶で区切る。E区内部は横筋の比較例で光透する/砂粒多量含む/注3e.93、440 | 輪vfs成形/腰帶上へ連続刺突の渦巻文を施す。半周部より平行腰帶で区切る。E区内部は横筋の比較例で光透する/砂粒多量含む/注3e.93、440 | 縦文中期・勝坂3 | 胴部 | |
| 25 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/上部を連続刺突した帶で区切る。区画部内は継ぎの比較例で光透する/砂粒多量含む/注3e.196、299、H1 | 輪vfs成形/上部を連続刺突した帶で区切る。区画部内は継ぎの比較例で光透する/砂粒多量含む/注3e.196、299、H1 | 縦文中期・勝坂3 | 胴部 | |
| 26 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | — | — | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.P5-1 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.P5-1 | 縦文中期 | 胴部 | |
| 27 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | (10.0) | (8.1) | — | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.CDベルト1 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.CDベルト1 | 縦文中期 | 近縫部 | |
| 28 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | — | 9.6 | (5.2) | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.382 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.382 | 縦文中期 | 底部 | |
| 29 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | (11.0) | (9.5) | — | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.B区.5、C区.4 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.B区.5、C区.4 | 縦文中期 | 底部 | |
| 30 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | (12.0) | (10.5) | — | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.BCベルト1 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.BCベルト1 | 縦文中期 | 底部 | |
| 31 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | (7.0) | (3.0) | — | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.302、364 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.302、364 | 縦文中期 | 底部 | |
| 32 | 180号住居跡 | 縦文土器・深鉢 | (12.0) | (7.0) | — | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.178、179 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.178、179 | 縦文中期・勝坂3 | 底部 | |
| 33 | 180号住居跡 | 縦文土器・浅鉢 | 24.5 | 10.5 | 17.2 | 輪vfs成形/口縁部内側へ盾溝し、口縁は内外に突出する。無文/砂粒多量含む/外周一部に赤色捺印痕有。内面黒帯付着/注3e.484、ABCベルト | 輪vfs成形/口縁部内側へ盾溝し、口縁は内外に突出する。無文/砂粒多量含む/外周一部に赤色捺印痕有。内面黒帯付着/注3e.484、ABCベルト | 縦文中期・勝坂3 | 1/2以上残存 | |
| 34 | 180号住居跡 | 縦文土器・浅鉢 | (31.1) | 10.0 | 13.0 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.349～355、355、394 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.349～355、355、394 | 縦文中期 | 3/4以下残存 | |
| 35 | 180号住居跡 | 縦文土器・浅鉢 | (39.0) | — | (11.4) | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.347 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.347 | 縦文中期 | 1/4以下残存 | |
| 36 | 180号住居跡 | 縦文土器・浅鉢 | (44.0) | — | (6.5) | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.248、249 | 輪vfs成形/RL縦文を横筋に施文する/砂粒多量含む/注3e.248、249 | 縦文中期 | 1/4以下残存 | |

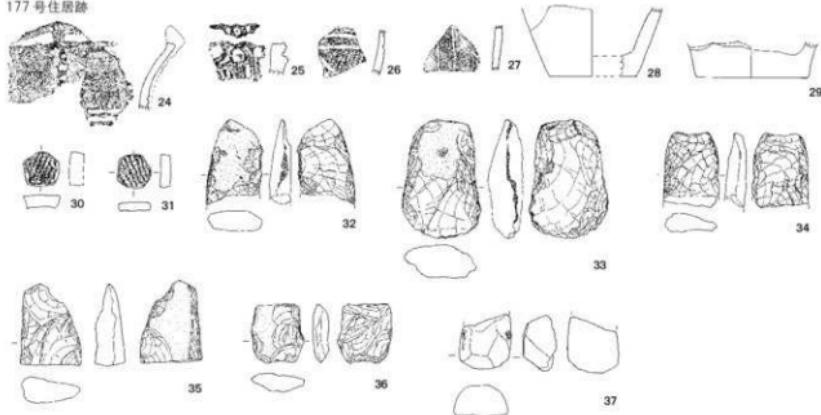
| 地図番号 | 遺構名 | 種別・部種 | 口径・長 | 口径・長 | 口径・長 | 柱法文 / 補文 / その他 | 石材 / 推定生産地 | 推定年代・時期 | 残存 / 考察 |
|------|---------|-------------|-------|-------|------|---|------------|---------------|---------|
| 37 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 口縁は内側に凸曲し、隆起が付ける / 研粒多量含む / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期 | 口縫部 |
| 38 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 口縁は内側に凸曲し、隆起が付ける / 研粒多量含む / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期 | 口縫部 |
| 39 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 口縁は内側に凸曲し、隆起が付ける / 研粒多量含む / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期 | 口縫部 |
| 40 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 口縁は内側に凸曲し、隆起が付ける / 研粒多量含む / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期 | 口縫部 |
| 41 | 180号住居跡 | 縄文土器・口口土器 | - | - | - | 輪郭み形成 / 直すとG1縁下端幅 3.5 mm の化が3cm 間隔で見る。穿孔は直前、洞は2つに通じ、輪郭の環状突起が付く / 研粒多量含む、内凹石合意 / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期・彌生3 | 注口部 |
| 42 | 180号住居跡 | 縄文土器・有孔附付土器 | - | - | - | 輪郭み形成 / 調査は直前に通じ、輪郭の環状突起が付く / 研粒多量含む、内凹石合意 / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期・新道3 | 口縫部 |
| 43 | 180号住居跡 | 縄文土器・有孔附付土器 | - | - | - | 輪郭み形成 / 輪郭の環状突起が付く / 研粒多量含む、内凹石合意 / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期・新道3 | 同一個体 |
| 44 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 口縁は内側に凸曲し、研粒多量含む / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期 | 口縫部 |
| 45 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 口縁は内側に凸曲し、研粒多量含む / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-2 | | 縄文中期 | 口縫部 |
| 46 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 口縁は内側に凸曲し、研粒多量含む / 内外面に赤色磨彩釉有 / 注文C区-4 | | 縄文中期 | 口縫部 |
| 47 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 内面は黒須もしくは黒色磨彩の上に赤色磨彩有 / 注文C区-5 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 48 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 内面は黒須もしくは黒色磨彩の上に赤色磨彩有 / 注文C区-3 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 49 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 内面は黒須もしくは黒色磨彩の上に赤色磨彩有 / 注文C区-3 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 50 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 内面は赤色磨彩有 / 外面は黒須もしくは黒色磨彩有 / 有 / 注文C区-5 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 51 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 内面は黒須もしくは黒色磨彩の上に赤色磨彩有 / 有 / 注文C区-5 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 52 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 内面は黒須もしくは黑色磨彩の上に赤色磨彩有 / 有 / 注文C区-3 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 53 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 外面は黒須もしくは黒色磨彩の上に赤色磨彩有 / 有 / 注文C区-5 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 54 | 180号住居跡 | 縄文土器・浅鉢 | - | - | - | 輪郭み形成 / 研粒多量含む / 内面は黒須もしくは黒色磨彩の上に赤色磨彩有 / 注文C区-4 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 55 | 180号住居跡 | 縄文土器・土質判別 | - | - | - | 土器片を円形に打ち欠く / 研粒多量含む / 内面に赤色磨彩有 / 注文B区-5 | | 縄文中期 | 輪郭 |
| 56 | 180号住居跡 | 土質品・埴輪 | - | - | - | 空筒ねじ成形 / 塗刷 / 土質品 / 注文B区-5 | | 19C後半 | 埴輪 |
| 57 | 180号住居跡 | 埴輪・粘土土器 | - | - | - | 注文CDヘルト1 | | 19C後半 | 埴輪 |
| 58 | 180号住居跡 | 骨器 | - | - | - | 剥離骨片の骨壁厚 / 注文D区-4 | | 痕良・平安 | |
| 59 | 180号住居跡 | 土質品・配子器 | 2.7 | 0.8 | 0.8 | 押押成形 / ヒコタコ。裏面に指痕圧痕 / 研粒少量含む / 注文B区-2 | | 1790年代~1890年代 | 完形 |
| 60 | 180号住居跡 | 石器・石器 | (1.7) | 1.34 | 0.37 | 重量 0.74g / 研粒剥離 / 注文C区-1 | チャート | 縄文時代 | 先端尖 |
| 61 | 180号住居跡 | 石器・石器 | 1.5 | 1.4 | 0.7 | 重量 0.95g / 両刃切法 / 注文C区-2 | 黒曜石 | 縄文時代 | 先形 |
| 62 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 11.2 | 4.4 | 1.55 | 重量 106.3g / 両刃切法 / 注文C区-2 | 砂岩 | 縄文時代 | 先形 |
| 63 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.43 | 4.85 | 1.45 | 重量 71.62g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 片岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 64 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.20 | 5.13 | 2.60 | 重量 123.7g / 西周打削法 / 注文C区-2 | ホルンブッシュ | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 65 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.95 | 4.90 | 3.10 | 重量 134.4g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 砂岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 66 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.70 | 5.08 | 1.78 | 重量 79.72g / 西周打削法 / 注文C区-2 | ホルンブッシュ | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 67 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.85 | 5.40 | 2.90 | 重量 189.3g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 砂岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 68 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.10 | 5.30 | 1.60 | 重量 88.1g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 砂岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 69 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.73 | 5.08 | 1.48 | 重量 66.65g / 西周打削法 / 注文C区-2 | ホルンブッシュ | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 70 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.020 | 5.00 | 1.95 | 重量 108.5g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 片岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 71 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.90 | 4.77 | 1.87 | 重量 106.8g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 黒色頁岩 | 縄文時代 | 完形 |
| 72 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.78 | 4.90 | 1.13 | 重量 45.2g / 西周打削法 / 注文C区-2 | ホルンブッシュ | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 73 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.45 | 4.65 | 2.17 | 重量 70.80g / 西周打削法 / 注文C区-2 | ホルンブッシュ | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 74 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.50 | 4.80 | 1.80 | 重量 50.31g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 片岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 75 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.40 | 4.90 | 1.27 | 重量 60.71g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 黑色頁岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 76 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 0.45 | 4.90 | 2.0 | 重量 53.24g / 西周打削法 / 注文C区-2 | ホルンブッシュ | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 77 | 180号住居跡 | 石器・打削石器 | 7.9 | 5.30 | 4.20 | 重量 195.0g / 西周打削法 / 注文C区-2 | 砂岩 | 縄文時代 | 刃部欠 |
| 78 | 180号住居跡 | 石器・石器 | 6.8 | 4.20 | 0.8 | 重量 38.64g / 注文C区-2 | 片岩 | 縄文時代 | 輪郭 |
| 79 | 180号住居跡 | 石器・磨石 | 11.0 | 4.40 | 4.1 | 重量 306.1g / 打削成形法 / 注文C区-2 | 輪郭岩 | 縄文時代 | 基部欠 |
| 80 | 180号住居跡 | 石器・磨石 | 6.7 | 1.90 | 1.6 | 重量 33.45g / 先端に打削有 / 注文C区-2 | 霞山岩? | 縄文時代 | 基部欠 |
| 81 | 180号住居跡 | 石器・磨石 | 7.6 | 4.50 | 3.1 | 重量 176.2g / 先端に打削有 / 注文C区-2 | 霞山岩? | 縄文時代 | 基部欠 |
| 82 | 180号住居跡 | 石器・磨石 | 11.0 | 5.10 | 2.0 | 重量 170.29g / 片岩に打削有 / 注文C区-2 | 砂岩 | 縄文時代 | 一端欠 |
| 83 | 180号住居跡 | 石器・磨石 | 11.0 | 3.10 | 1.2 | 重量 69.4g / 先端に打削有 / 注文C区-2 | 砂岩 | 縄文時代 | 一端欠 |
| 84 | 180号住居跡 | 石器・くぼみ石 | 11.0 | 13.90 | 1.9 | 重量 422.3g / 径 2.0 cm のL1ヶ所有 / 注文C区-2 | 片岩 | 縄文時代 | 一端欠 |

| 地點番号 | 施設番号 | 遺構名 | 種別・器種 | 口径・幅 | 底径・幅 | 高さ・厚 | 技法 / 文様 | その他の | 石材 / 推定生産地 | 推定年代・時期 | 残存 / 考査 |
|------|------|----------|-----------|-------|------|--|--|---------|--------------|---------|---------|
| 1 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 幅広口縁による文様変遷 / 砂利多量含む。角開石含む / 注 № 1D-2 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 2 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 障帶による区画文。障帶はヘラ工具による連続削除と交叉剪切。区画帯は障帶による二文と並行削除で形成する / 砂利多量含む / 注 № 1D-3 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 3 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 1D-4 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 4 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 1D-4 | | 縄文中期・加曾利E I | 口縁部片 | |
| 5 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 右巻きの燃系文を題材に施文。2本組みの障帶を削除し、障帶を注連線で接続される / 砂利多量含む / 注 № 1D-1 | | 縄文中期・加曾利E I | 口縁部片 | |
| 6 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 1D-3 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 7 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文。沈殿で軽石燃系文を描く / 砂利多量含む / 注 № 1D-3 | | 縄文中期・加曾利E II | 口縁部片 | |
| 8 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 1D-3 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 9 | 土坑1 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 口縁は内側に屈曲する。沈殿による文様 / 砂利多量含む / 注 № 1D-2 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 10 | 土坑1 | 縄文土器・鉢 | (底径 2.65) | - | - | - | 輪轉み成形 / 無文 / 砂利多量含む / 注 № 1D-2 | | 縄文時代 | 底部片 | |
| 11 | 土坑2 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 三瓣文で構成する / 砂利多量含む / 注 № 2D-2 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 12 | 土坑2 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 地文は R 右巻きの燃系文を題材に施文。障帶で削除。鈴を沈殿で押さえる / 砂利多量含む / 注 № 2D-2 | | 縄文中期・加曾利E I | 口縁部片 | |
| 13 | 土坑2 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 平浅腹内円筒工具で連続削除 / 砂利多量含む / 注 № 2D-2 | | 縄文中期・加曾利E II | 口縁部片 | |
| 14 | 土坑2 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 地文は R 右巻きの燃系文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 2D-2 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 15 | 土坑2 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 地文は R 右巻きの燃系文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 2D-3 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 16 | 土坑2 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文後、沈殿で軽石燃系文を描く / 砂利多量含む / 注 № 2D-2 | | 縄文中期・加曾利E II | 口縁部片 | |
| 17 | 土坑2 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 沈殿で底状を描く / 砂利多量含む / 注 № 2D-4 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 18 | 土坑2 | 縄文土器・鉢 | (底径 2.3) | - | - | - | 輪轉み成形 / 無文 / 砂利多量含む / 注 № 2D-4 | | 縄文時代 | 底部片 | |
| 19 | 土坑3 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 障帶による区画文 / 区画内は障帶の沈殿跡で充填する / 砂利多量含む / 注 № 3D-2 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 20 | 土坑3 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 沈殿で充填する / 砂利多量含む / 注 № 3D-1 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 21 | 土坑3 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 3D-1 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 22 | 土坑3 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № 3D-1 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 23 | P3 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 障帶による文様区画。障帶は底は連続削除 / 砂利多量含む / 注 № P3-2 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 24 | P6 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 障帶による文様区画。障帶は底は連続削除 / 砂利多量含む / 注 № P6 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 25 | P6 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 口縁部の小切手。障帶を削除する / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № P6 | | 縄文中期・阿玉台 | 口縁部片 | |
| 26 | P7 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 地文は R 右巻きの燃系文を題材に施文。小範の成状燃系文を題材に施す / 砂利多量含む / 注 № P7-2 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 27 | P8 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 障帶による文様区画。障帶は底は連続削除 / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № P8-2 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 28 | P8 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № P8-1 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 29 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 波紋線。障帶による区画内を隔て、斜面竹劈により平行した連続削除が温まる / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № H2 | | 縄文中期・阿玉台Ⅱ期 | 口縁部片 | |
| 30 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 障帶間に連続削除文 / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № H1 | | 縄文中期・阿玉台Ⅱ期 | 口縁部片 | |
| 31 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 波紋線の小切手。曲線を削除する。障帶は連続削除 / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № H2 | | 縄文中期・阿玉台Ⅱ期 | 口縁部片 | |
| 32 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 波紋線。障帶による区画内を隔て、斜面竹劈により平行した連続削除が温まる / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № H3 | | 縄文中期・阿玉台Ⅱ期 | 口縁部片 | |
| 33 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 沈殿と平行して連続削除と半円形削除を施文 / 砂利多量含む / 注 № H5 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 34 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 波紋線の縫合。口縫は輪郭の突端。腹部は右巻きの燃系文を題材に施文 / 砂利多量含む / 注 № H5 | | 縄文中期・勝坂3 | 口縁部片 | |
| 35 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 波紋線。調節輪は斜面に削除する。斜面は連続削除 / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № H6 | | 縄文中期・加曾利E I | 口縁部片 | |
| 36 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 無文 / 砂利多量含む / 注 № H7-1 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 37 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文。障帶で円筒と桶円区画を配り、鈴を沈殿で押さえ / 砂利多量含む / 注 № H7 | | 縄文中期・加曾利E II | 口縁部片 | |
| 38 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / R1 球文を題材に施文 / 砂利多量含む。雲母片含む / 注 № H5 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 39 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 地文と燃系文を題材に施文。口縫は輪郭を 2 列ずつ / 砂利多量含む / 注 № H1-1 | | 縄文中期・加曾利E II | 口縁部片 | |
| 40 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 地文と条縫を題材に施文。口縫は輪郭を 2 列と 3 列の連弧文 / 砂利多量含む / 注 № H1-1 | | 縄文中期・加曾利E II | 口縁部片 | |
| 41 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 沈殿による文様 / 砂利多量含む / 注 № H5 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 42 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 地文と条縫を題材に施文。沈殿で文様を削除 / 砂利多量含む / 注 № H3 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 43 | 遺構外 | 縄文土器・深鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 口縫の断面 - 角。背後の北縫より / 砂利多量含む / 注 № H5 | | 縄文中期 | 口縁部片 | |
| 44 | 遺構外 | 縄文土器・鉢 | - | - | - | - | 輪轉み成形 / 口縫の断面 - 角。背後の北縫より / 砂利多量含む / 注 № H5 | | 縄文中期・甘利田 | 口縁部片 | |
| 45 | 遺構外 | 縄文土器・鉢 | (6.0) | (1.5) | - | - | 輪轉み成形 / 無文 / 砂利多量含む / 注 № H5 | | 縄文時代 | 底部片 | |
| 46 | 遺構外 | 鐵製品・刀子 | - | - | - | - | 鐵製品・刀子 / 無文 / 注 № H8 | | 破片 | | |
| 47 | 遺構外 | 鐵製品・刃 | - | - | - | - | 鐵製品・刃 / 注 № H4 | | 破片、先端欠 | | |
| 48 | 遺構外 | 石器・打製作斧? | 4.3 | 5.3 | 1.0 | 重さ 33.56g / 注 № H1 | | ホルンフェルス | 縄文時代 | | |
| 49 | 遺構外 | 石器・打製作斧 | 16.37 | 8.05 | 4.35 | 重量 429.90g。内側敲打技法 / 注 № H1 | | 白石 | 縄文時代 | 完形 | |
| 50 | 遺構外 | 石器・ナイフ形 | (2.90) | 1.22 | 0.67 | 重量 1.49g。内側敲打技法を素材に、基部側面を削除して調節削除する / 注 № H1 | | 加羅石 | 旧石器時代 | 先端欠 | |
| 51 | 遺構外 | 石器・櫛形 | 2.1 | 1.5 | 0.6 | 重量 1.99g。内側敲打技法 / 注 № 2トレー | | 加羅石 | 縄文時代 | 完形 | |



第125図 東台遺跡第51地点177号住居跡出土遺物① (1/4)

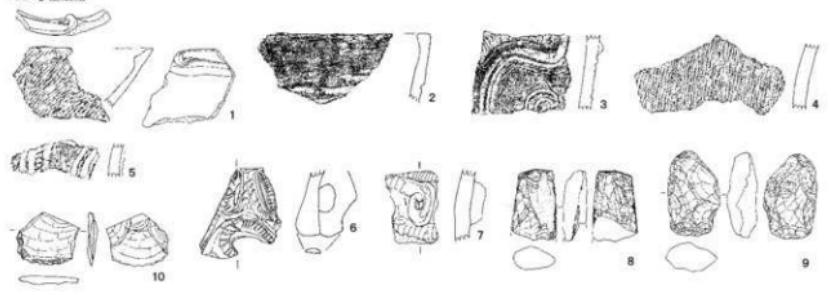
177 号住居跡



74 号住居跡

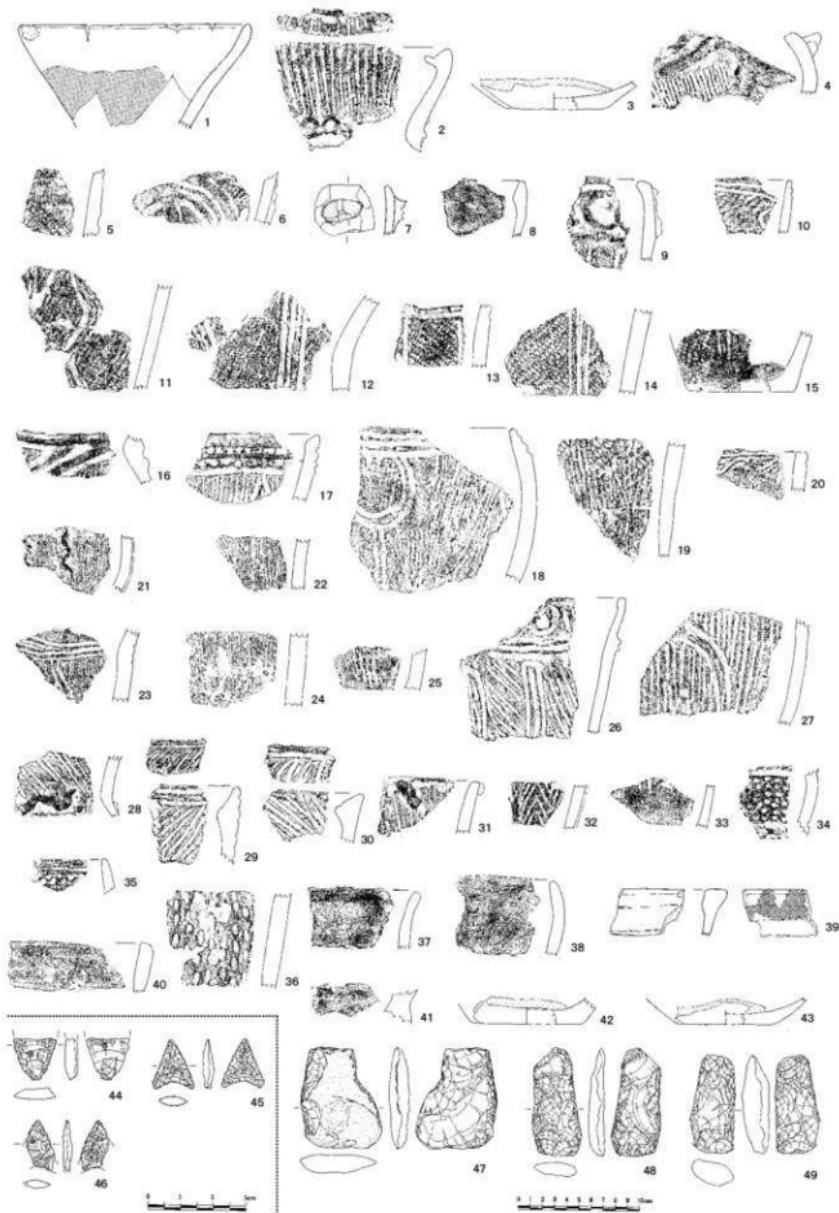


182 号住居跡



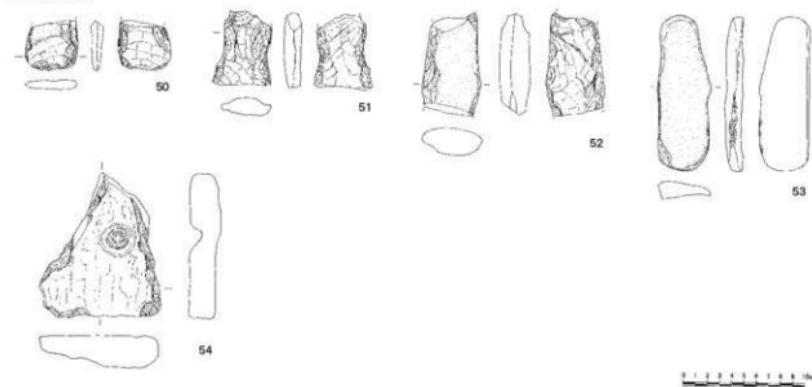
10cm

第 126 図 東台遺跡第 51 地點 177 号②・74 号・182 号住居跡出土遺物 (1/4)

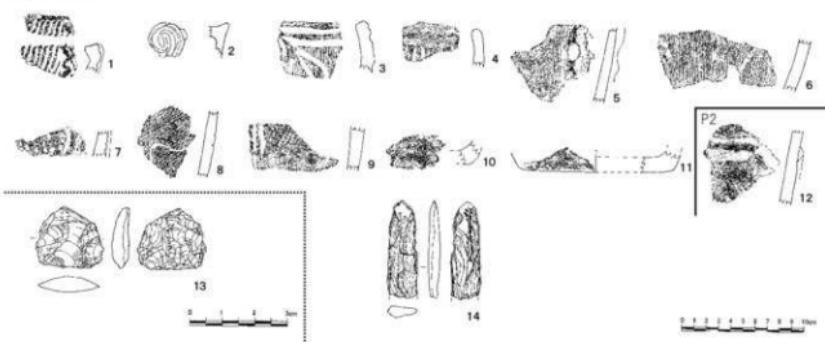


第127図 東台遺跡第51地点178号住居跡出土遺物① (1/4・2/3)

178 号住居跡



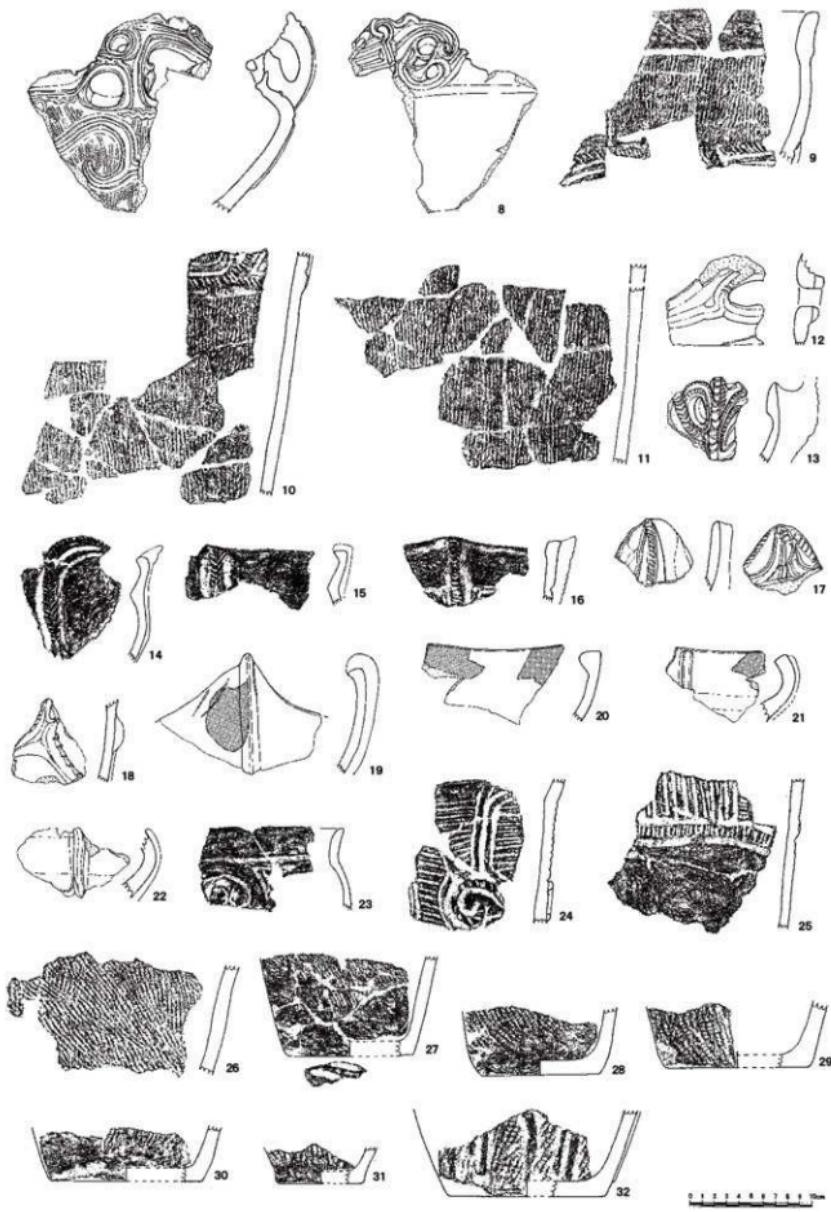
179 号住居跡



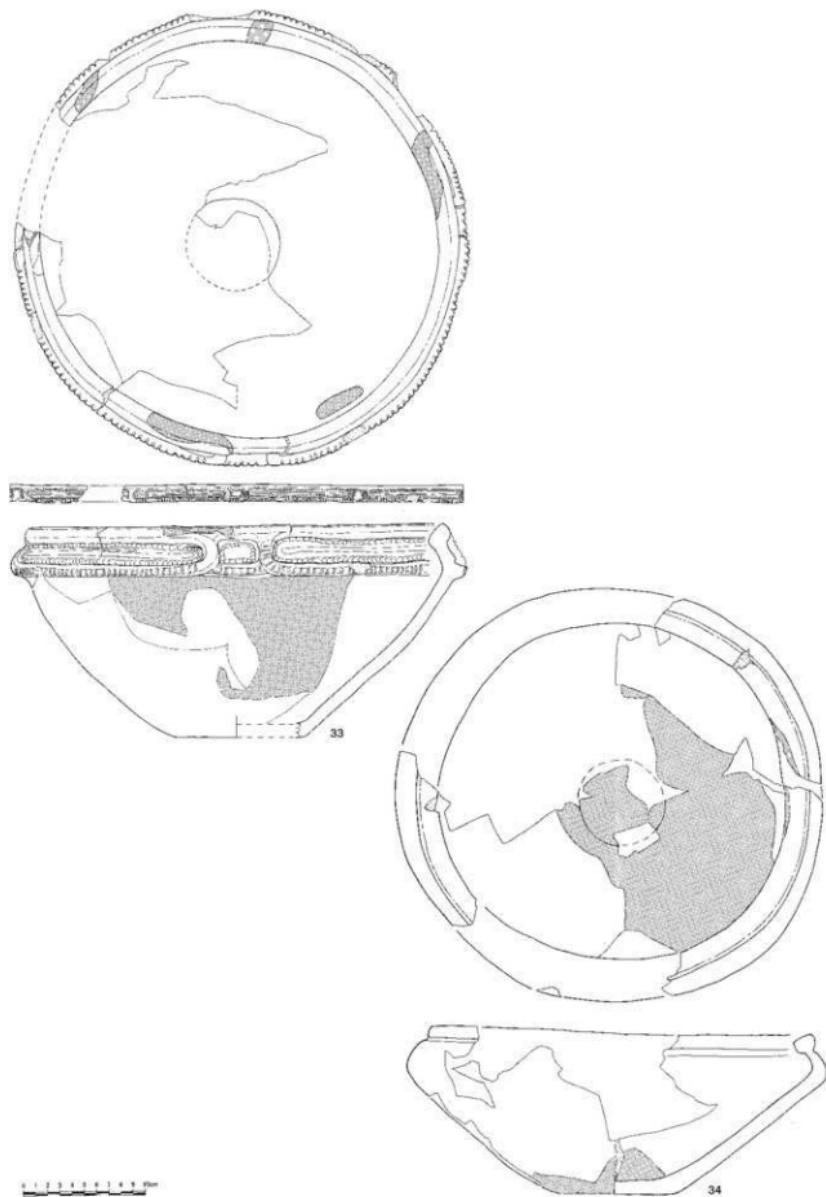
第 128 図 東台遺跡第 51 地點 178 号②・179 号住居跡出土遺物 (1/4・2/3)



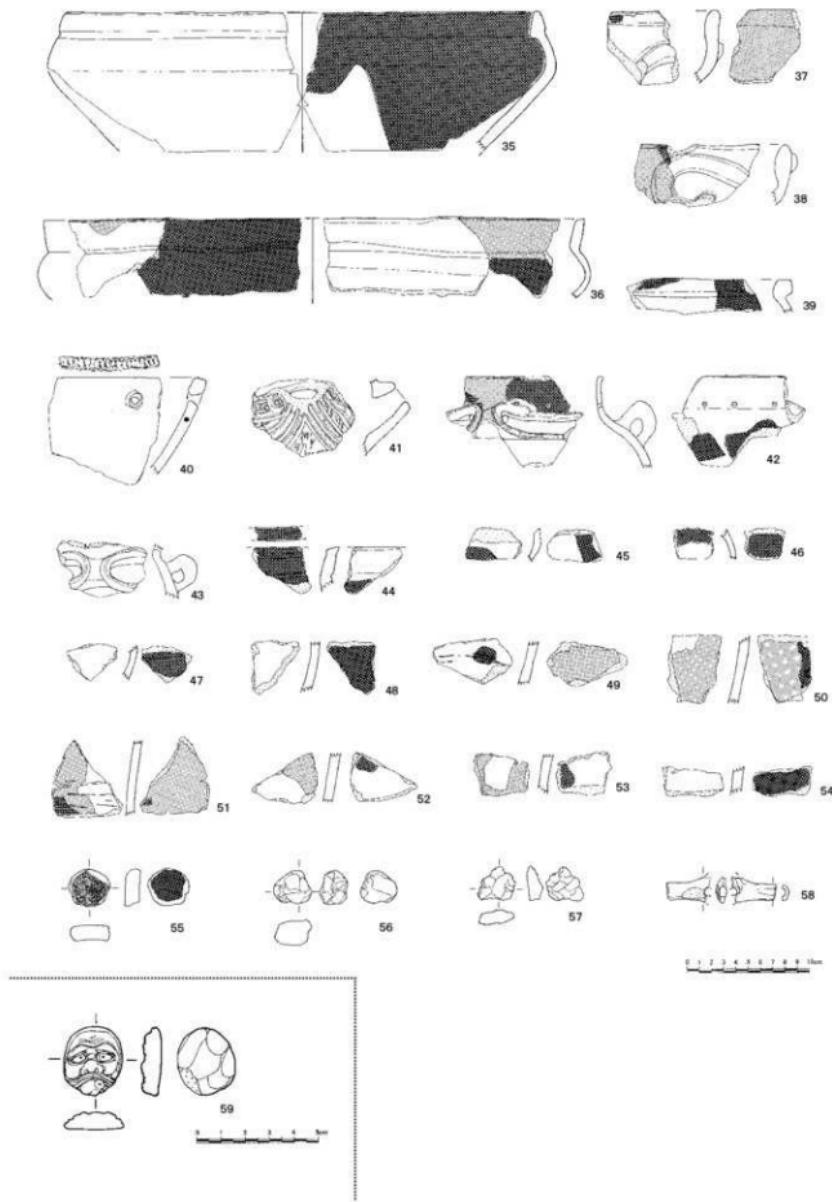
第129図 東台遺跡第51地点180号住居跡出土遺物① (1/4)



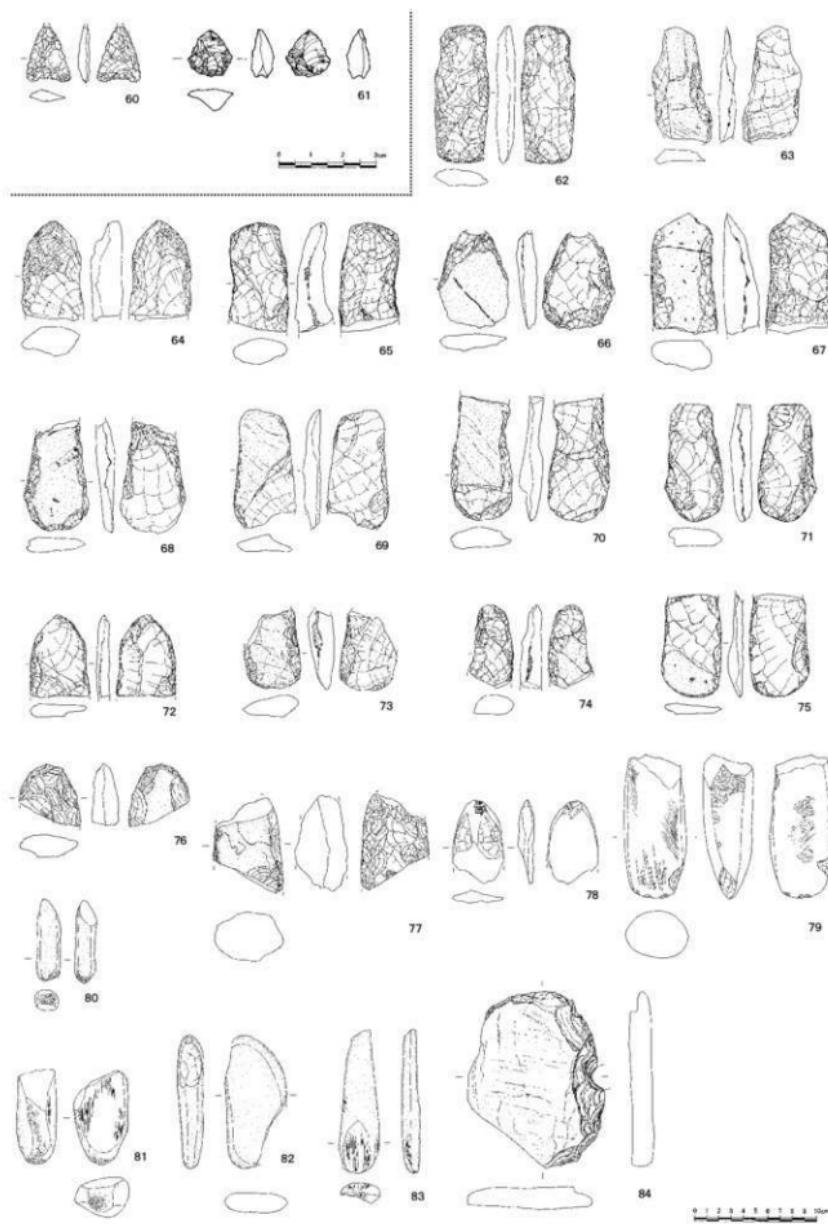
第 130 図 東台遺跡第 51 地點 180 号住居跡出土遺物② (1/4)



第131図 東台遺跡第51地点180号住居跡出土遺物③ (1/4)

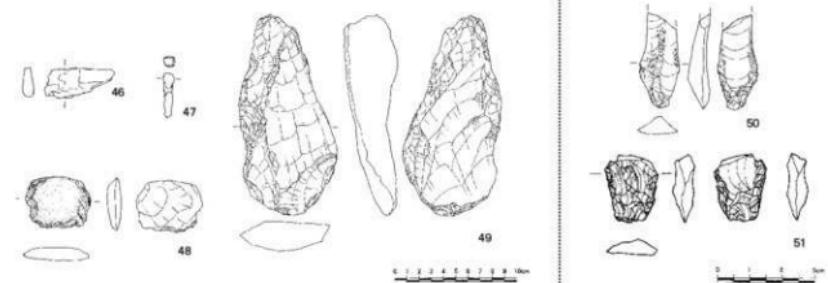
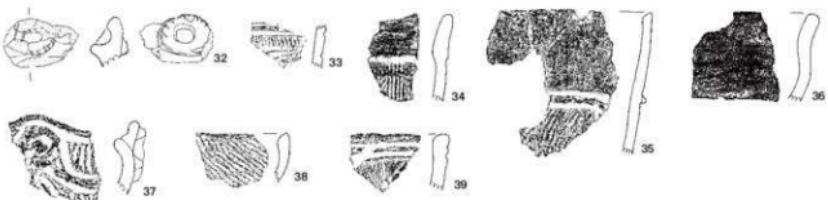
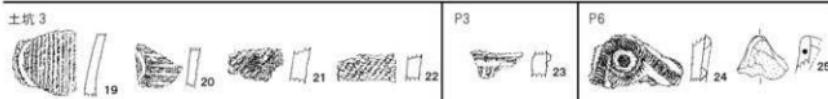
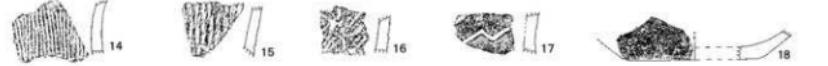
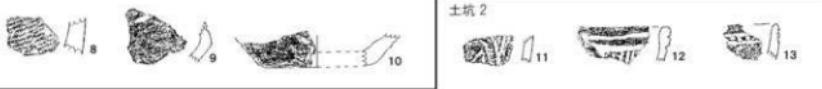


第 132 圖 東台遺跡第 51 地點 180 号住居跡出土遺物④ (1/4 • 1/2)



第133図 東台遺跡第51地点180号住居跡出土遺物⑤ (1/4・2/3)

土坑 1



第 134 図 東台遺跡第 51 地点土坑・ビット・遺構外出土遺物 (1/4・2/3)

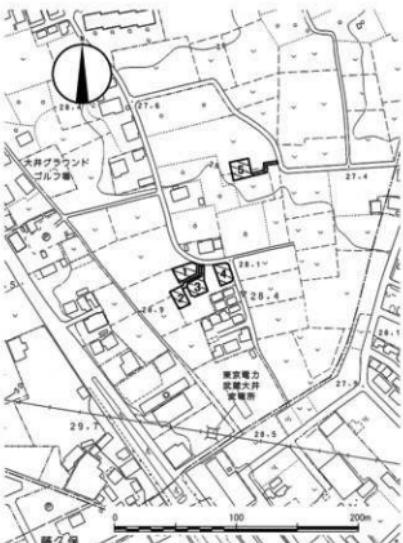
第17章 石塔畠遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

石塔畠遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約1.7km、砂川堀右岸の台地奥に位置する。砂川堀は挟山丘陵外縁に湧水を成し、武藏野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は28mである。

現在徳性寺に建つ弘安四年(1281年)の板碑は「大井坂上石塔の畠中より掘り出されたもの」(「大井町の散歩道」1974)と伝わる。弘安四年の板碑が発見され、徳性寺に持ち込まれた時期は不明であるが、この板碑は「大井町念佛講中」と刻まれた台石に埋め込まれており、江戸後期には発見されていたことが伺える。また、「石塔畠」の地は地元で鎌倉街道とも呼ばれる古道が通り、この地でクランク状に曲がる。中世に係わる遺構の検出が期待される。

周辺の遺跡は、北東300mに旧石器・縄文・古代の複合遺跡である東台遺跡、北250mに旧石器と近世の大井戸上遺跡、北西約300mに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、近世大井宿の上木戸跡が西側にある。



第135図 石塔畠遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 石塔畠遺跡第1地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年11月5日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

試掘調査は2008年11月17日から20日まで行なった。幅約2mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プランを確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、現代の溝状遺構(イモビツ)であった。他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで70~90cmを測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

III 石塔畠遺跡第2地点

(1) 調査の概要

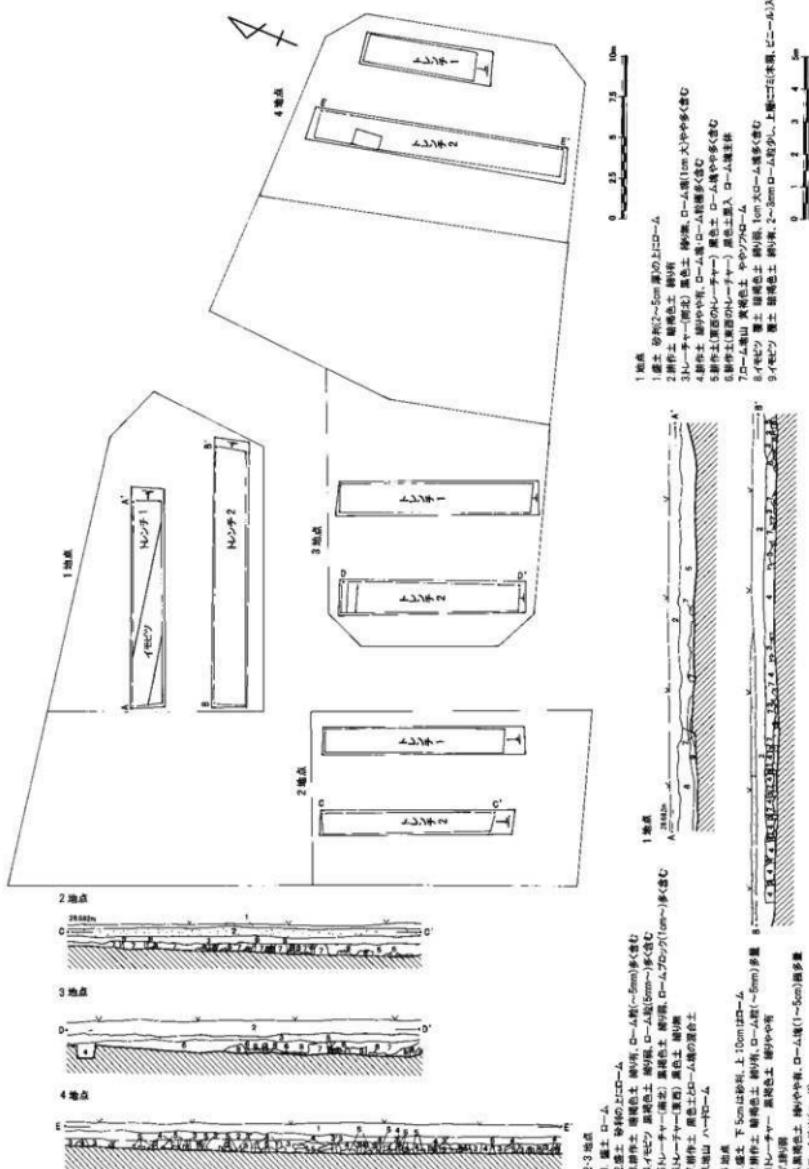
調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年11月5日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

試掘調査は2008年11月18日から21日まで行なった。幅約2mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土の遺構プランを確認したため、遺構の性格を確認するため一部調査したところ、現代の溝状遺構(イモビツ)であった。他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで70~90cmを測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

IV 石塔畠遺跡第3地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年11月5日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。



第136図 石塔塚遺跡第1～4地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)

試掘調査は2008年11月19日から25日まで行なった。幅約2mのトレチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで70~90cmを測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

V 石塔畠遺跡第4地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2008年11月13日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

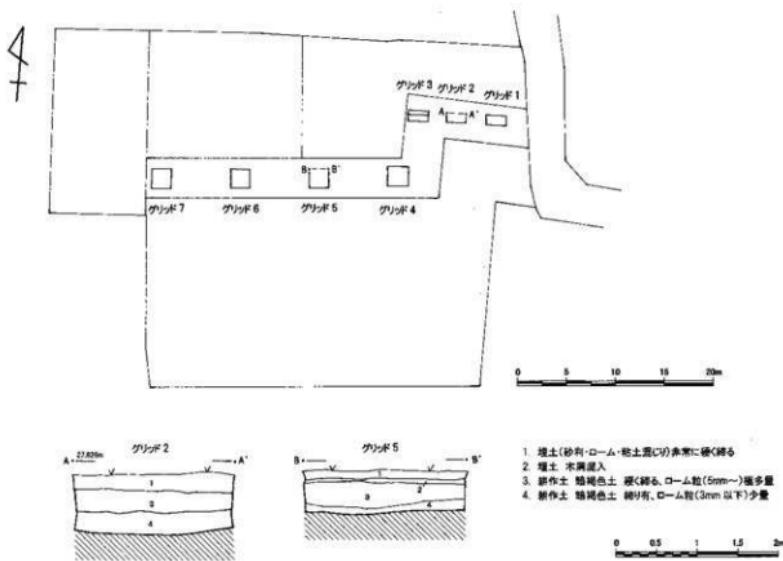
試掘調査は2008年11月20日から25日まで行なった。幅約2mのトレチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで70~90cmを測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。

VI 石塔畠遺跡第5地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2008年12月11日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲外であるが、鎌倉街道と伝承される古道に面しているため、申請者と協議の結果、遺跡範囲と遺構確認の試掘調査を実施することになった。

試掘調査は2009年1月13、14日に行なった。道路予定地に2×2mのグリッドを3ヵ所、2×1mのグリッドを3ヵ所設定し、人力による表土除去と表面精査を行なったが遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とした。確認面まで70~90cmを測る。写真撮影・平板測量による全測図等記録保存を行ない、調査を終了した。



第137図 石塔畠遺跡第5地点調査区域図（1/500）、土層図（1/60）

第18章 まとめ

2008（平成20）年度は、38件の試掘調査を行い、うち8件が個人住宅建設に伴う本調査、1件が公共工事に伴う本調査、3件が民間開発に伴う本調査に移行した。その他、20件の工事立会を行った。工事立会を除いた開発面積18,016m²のうち5,164m²を調査したことになる。前年度と比較すると調査面積は増加している。

開発の内容は、相続に伴い建売住宅や宅地開発する例が多かった。基礎工事が遺構面に影響を及ぼさないため宅地部分は保存し、道路部分や削平部分を発掘する等、部分的な発掘であった。

以下、本年度に行なった調査について、時代別に概観する。

【旧石器時代の調査】今年度は川崎遺跡第26地点で尖頭器1点、松山遺跡第45地点で剥片1点、神明後遺跡第34地点で縦長剥片1点、東台遺跡第51地点でナイフ形石器1点を検出した。いずれも表土や搅乱中からの検出であった。このうち松山遺跡第45地点、神明後遺跡第34地点、東台遺跡第50地点の3ヶ所で旧石器時代調査のため深掘りのグリッドを設定し調査したが、旧石器時代の遺構は確認できなかった。

【縄文時代】川崎遺跡は舌状に張り出した台地の突端で、そのまま緩やかに冲積地となる。1928年には川崎貝塚として報告されており、縄文時代早期から後期にかけての住居跡等を検出している。川崎遺跡第25・26・28～30地点では早期～中期にかけての土器片や石器が奈良・平安の遺構内や遺構外から出土していたが、縄文期の遺構は検出しなかった。

ハケ跡跡C区第8地点と亀居遺跡第63地点では中期の住居跡を検出したが、盛土保存の措置をとり本調査は行っていない。なお、亀居遺跡の住居跡は16号住居跡として隣接する第61地点で1/4を調査しており、阿玉台II期古相の炉体土器を作った。

東台遺跡第51点では中期の住居跡を6軒検出した。住宅の建設予定地に入る住居跡4軒と土坑・ピットの調査を行ない、残り2軒は盛土保存の措置をとったが、サブトレーナーを入れて深さや時期の確認を行なった。住居の時期は勝坂末3軒、加曾利E II期3軒である。

180号住居跡は多量の土器が廃棄されていた。床直上の土器もあるが、レンズ堆積した土の上に土器を廃棄した、いわゆる吹上パターンを示す。出土土器は阿

玉台I b式から加曾利E I期まで、勝坂3式が大半を占める。出土した土器には内面に文様が塗彩された浅鉢があった。（180頁第132図35）文様は半円形と斜めに垂下する線の組み合わせで、さらに右側の文様は不明であるが、半円形については明確に朱色で塗彩されていた。その他にも17点の破片に塗彩の痕跡があった。有孔釦付土器（180頁第132図42）の内外面も塗彩されていた。塗彩された土器の破片は以前から多数検出していたが、文様の描かれた土器の検出は近年類例が増えている。（高崎2008）破片の場合特に注意が必要である。また、黒曜石の剥片が覆土中から54点出土しており、石器製作の場、もしくは廃棄場所と思われる。

177号住居跡と180号住居跡では炉体土器を検出したが、いずれも2個体の土器を埋設し、炉の補修を行なっている様子が伺われる。

【古代】奈良・平安時代の住居跡は、川崎遺跡で11軒、松山遺跡で2軒調査した。川崎遺跡は8世紀代4軒、9世紀代6軒、不明1軒である。

川崎遺跡第25地点では平安時代の掘建柱建物跡を1棟検出し、P3からは灰釉陶器皿が出土した。川崎遺跡の中では北端に位置し、隣接する第17点では平安時代の竪穴住居跡が1軒検出されているものの、住居跡の密度が低い地域である。

川崎遺跡第30地点H61号住居跡から灰釉陶器皿が、H62号住居跡から「用」字が書かれた墨書き土器が出土した。また、H61号住居跡と、第26地点H54号住居跡からは窓内から支脚が出土した。

煤の付着した容器が川崎遺跡の各住居跡から出土している。第26地点H52号住居跡から須恵器坏2点と皿1点（31頁第18図9・10・19）、H54号住居跡から須恵器坏1点（33頁第20図48）、第29地点H59号住居跡から須恵器坏1点（53頁第37図6）等である。灯火具として利用された可能性が高いが、H52号住居跡出土の須恵器皿（31頁第18図19）の場合、煤が付着した破片と付着していない破片が接合しており、「芯押さえ」としての使用が考えられる。（坂野2005）

川崎遺跡28地点遺構外出土の円盤状土製品は用途不明の遺物である。埼玉県中堀遺跡出土の円盤状土製品より若干小ぶりであるが類似する。鍛冶や鋳造、製

鉄闇連の遺物と報告されており、(岩瀬1997)川崎遺跡でも今後注意が必要である。

松山遺跡第45地点H35号住居跡は焼失家屋と思われるが、幅10cm前後、長さ220cm（一部途切れる）の「クリ」の炭化材が出土した。住居跡の中央から角に向かう対角線方向に位置し、垂木と思われる。その他、菅と思しき「イネ科」の炭化材も出土しており、屋根などの部材や家屋内で使用していた調度類であった可能性がある。

【中世】駒林遺跡第5・7地点で時期不明の溝・堀跡を検出した。

駒林遺跡は広範囲で溝跡を検出している。(121頁第91図参照)南北方向に130m、第1地点で東方指向へ曲がる。その延長方向に当たる6ヶ所の調査地

点で同規模の溝跡を検出し、第7、第5地点を経てさらに東へ続く。連続した溝と仮定した場合、第1地点の曲がり角から第5地点までは東西275mを測る。

第1地点では、溝跡の覆土中に茶毬跡が構築されており、茶毬跡1で検出した炭化材の年代測定を行なったところ、中世(AD1316-1606)の結果を得た。

最後になりましたが、埼玉県埋蔵文化財調査事業団の田中広明氏には灰釉陶器について、富士見市立難波田城資料館の早坂廣人氏には縄文時代前期の土器について、川越市教育委員会の平野寛之氏には須恵器・土師器について御教示頂きました。また、同僚の鍋島直久、越村篤各氏には調査・整理にあたって助言を頂きました。誌上をもって謝意を記します。(高崎)

第6表引用文献

- ②安孫子昭二 1988「勝坂式土器様式」「縄文土器大観」2 小学館
- ③鈴木保彦・山本暉久 1988「加曾利E式土器様式」「縄文土器大観」2 小学館
- ③植木弘 1994「行司免遺跡出土の中期土器群の変遷」「比企郡市における埋蔵文化財の成果と概要」
- ④黒尾和久 1995「縄文中期集落遺跡の基礎的検討(1)」「論集『宇津木台』第1集 宇津木台地区考古学研究会
- ⑤谷井彪他 1982「縄文中期土器群の再編」「研究紀要」埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- ⑥小林達雄他 1981「シンポジウム『北関東を中心とする縄文中期の諸問題』考古学協会

第1回引用文献

- 塙口萬吉 1980「埼玉県の地形と地質」「新編 埼玉県史 別冊3 自然」埼玉県

参考文献

- 今井亮・小泉功・坪田幹男 1989「大井町史 資料編I 原始古代 中世」大井町教育委員会

- 今井亮・坪田幹男・鍋島直久 1996「西ノ原遺跡」大井町遺跡調査会

- 岩瀬謙 1997「V1(10)円盤状土製品」「中堀遺跡」(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団

- 大川清ほか 1996「日本人土器事典」雄山閣出版株式会社

- 大橋康二ほか 2000「九州陶磁の編年」九州近世陶磁学会

- 川名広文ほか 1999「上福岡市史 資料編第1巻 自然史・考古」上福岡市教育委員会

- 国平健三 1986「相模型壺の成立過程をめぐる土器様相」「神奈川考古」第22号 神奈川考古同人会

- 河野喜喰 1986「8世紀前半の杯形土器の実年代について」「神奈川考古」第22号 神奈川考古同人会

- 小林達雄ほか 2008「秘覧 縄文土器」株式会社アム・プロモーション

- 酒井清治 1987「埼玉県の須恵器の変遷について」「埼玉の古代窯業調査報告書」埼玉県立歴史資料館

- 桜井準也 2006「ガラス瓶の考古学」六一書房

- 高崎直成 2008「神明後遺跡出土の縄文中期塗彩土器について」「市内遺跡群3」ふじみ野市教育委員会

- 田中広明 1997「V1(7)灰釉陶器」「中堀遺跡」(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団

- 寺島孝一ほか 2001「園城 江戸考古学研究事典」柏書房株式会社

- 長佐古真也ほか 1996「シンポジウム 江戸出土陶磁器・土器の諸問題II」江戸陶磁土器研究グループ

- 藤澤良祐 1986「瀬戸大窯発掘調査報告」「研究紀要 V」瀬戸市歴史民俗資料館

- 藤澤良祐 1987「西茨第1・2号窯発掘調査報告」「研究紀要 VI」瀬戸市歴史民俗資料館

- 藤澤良祐 1988「本業焼きの研究(2)」「研究紀要 VII」瀬戸市歴史民俗資料館

- 藤澤良祐 1988「本業焼きの研究(3)」「研究紀要 VIII」瀬戸市歴史民俗資料館

- 藤澤良祐 1991「瀬戸古窯址群II-古瀬戸後期様式の編年-」「研究紀要 X」瀬戸市歴史民俗資料館

- 坂野千登勢 2005「再利用された土器群の考察」「若葉台遺跡発掘調査報告書VI」坂戸市教育委員会

- 水本和美 1998「陶磁器・土器 分類・計数基準」「伝中・上富士前II」豊島区教育委員会

- 渡辺一 1990「鳩山窯跡群II」鳩山町教育委員会

附編 自然化学分析

松山遺跡第45地点における放射性炭素年代(AMS測定)

(株) 加速器分析研究所

1 測定対象試料

松山遺跡第45地点は、埼玉県ふじみ野市築地3丁目4-7(北緯35°52'21"、東経139°31'51")に所在する。測定対象試料は、35号住居跡から出土した炭化材より採取した炭化物No.1 (IAAA-90421)、No.22 (IAAA-90422)、合計2点である。

2 測定の意義

住居跡の構築年代を推定する。

3 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- (2) 酸処理、アルカリ処理、酸処理(AAA: Acid Alkali Acid)により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では1Nの塩酸(80°C)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では1Nの水酸化ナトリウム水溶液(80°C)を用いて数時間処理する。なお、AAA処理において、アルカリ濃度が1N未満の場合、表中にAaAと記載する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では1Nの塩酸(80°C)を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90°Cで乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- (3) 試料を酸化銅と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500°Cで30分、850°Cで2時間加熱する。
- (4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用して、真空ラインで二酸化炭素(CO₂)を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出(水素で還元)し、グラファイトを作製する。
- (6) グラファイトを内径1mmのカソードに詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着する。

4 測定方法

測定機器は、3MVタンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用する。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOx II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) 年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polash 1977)。
- (2)¹⁴C年代(Libby Age:yrBP)は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(OyrBP)として選ぶ年代である。この値は、δ¹³Cによって補正された値である。¹⁴C年代と誤差は、1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。また、¹⁴C年代の誤差(±1σ)は、試料の¹⁴C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) δ¹³Cは、試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを示した値である。同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差(‰)で表される。測定には質量分析計あるいは加速器を用いる。加速器により¹³C/¹²Cを測定した場合には表中に(AMS)と注記する。
- (4) pMC(percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の¹⁴C濃度の割合である。
- (5) 历年較正年代とは、年代が既知の試料の¹⁴C濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の¹⁴C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。历年較正年代は、¹⁴C年代に対応する較正曲線上の历年較正範囲であり、1標準偏差(1σ = 68.2%)あるいは2標準偏差(2σ = 95.4%)で表示される。历年較正プログラムに入力される値は、下一桁を四捨五入しない¹⁴C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データ

の蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、曆年較正年代の計算に、IntCal04 データベース(Reimer et al 2004) を用い、OxCalv4.1 較正プログラム(Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001)を使用した。

6 測定結果

松山遺跡第45地点試料の¹⁴C 年代は、炭化物 No.1 が 1270 ± 30 yrBP、炭化物 No.22 が 1360 ± 30 yrBP である。曆年較正年代 (1σ) は、No.1 が 7 ~ 8 世紀、No.22 が 7 世紀となった。両試料は同じ焼失住居跡の構築材と考えられており、 2σ の範囲で曆年較正年代が重なる。

いずれも炭素含有率が 60% を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

| 測定番号 | 試料名 | 採取場所 | 試料形態 | 処理方法 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正あり | | | |
|------------|-----------|------------------|------|------|---------------------------------|------------------|--------------|--|
| | | | | | $\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS) | Libby Age (yrBP) | pMC (%) | |
| IAAA-90421 | 炭化物 No.1 | 松山遺跡第45地点 35号住居跡 | 炭化物 | AAA | -27.13 ± 0.56 | 1,270 ± 30 | 85.32 ± 0.30 | |
| IAAA-90422 | 炭化物 No.22 | 松山遺跡第45地点 35号住居跡 | 炭化物 | AAA | -11.54 ± 0.51 | 1,360 ± 30 | 84.45 ± 0.27 | |

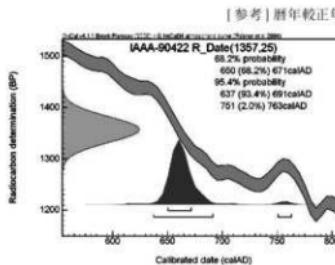
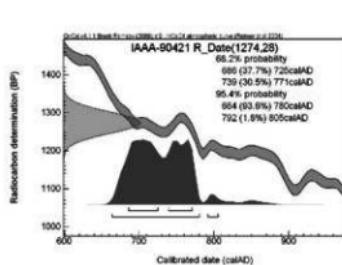
[#2978]

| 測定番号 | $\delta^{13}\text{C}$ 補正なし | | | 曆年較正用 (yrBP) | 1σ 曆年範囲 | | 2σ 曆年範囲 | |
|------------|----------------------------|--------------|------------|--|---|--|---------|--|
| | Age (yrBP) | pMC (%) | | | | | | |
| IAAA-90421 | 1,310 ± 30 | 84.95 ± 0.28 | 1,274 ± 28 | 686AD - 725AD (37.7%) 739AD - 771AD (30.5%) | 664AD - 780AD (93.6%) 792AD - 805AD (1.8%) | | | |
| IAAA-90422 | 1,140 ± 20 | 86.80 ± 0.26 | 1,357 ± 25 | 650AD - 671AD (68.2%) | 637AD - 691AD (93.4%) 751AD - 763AD (2.0%) | | | |

[参考値]

参考文献

- Stuiver M. and Polash H.A. 1977 Discussion: Reporting of ¹⁴C data, Radiocarbon 19, 355-363
 Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, Radiocarbon 37(2), 425-430
 Bronk Ramsey C. 2001 Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon 43(2A), 355-363
 Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggle Matching' radiocarbon dates, Radiocarbon 43(2A), 381-389
 Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, Radiocarbon 46, 1029-1058



[参考] 曆年較正年代グラフ

松山遺跡・本村遺跡出土炭化材の樹種

1. 松山遺跡第45地点

はじめに

松山遺跡は、新河岸川右岸の台地上に立地する。第45地点の調査で検出された35号住居跡は古代の焼失住居であり、住居構築材と考えられる炭化材が出土している。

本報告では、出土した炭化材を対象として、木材利用を明らかにするための樹種同定を実施する。

1. 試料

試料は、35号住居跡から出土した炭化材2点（炭化物No.1,22）である。

2. 分析方法

試料を自然乾燥させた後、木口（横断面）・柵目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴については、島地・伊東（1982）およびWheeler他（1998）を参考にする。また、日本産木材の組織配列については、林（1991）や伊東（1995,1996,1997,1998,1999）を参考にする。

3. 結果

表1. 松山遺跡第45地点の樹種同定結果

| 遺構 | 試料名 | 用途など | 樹種 |
|--------|----------|---------|-----|
| 35号住居跡 | 炭化物No.1 | 住居構築材 | クリ |
| | 炭化物No.22 | 屋根材（萱材） | イネ科 |

樹種同定結果を表1に示す。炭化材は、クリとイネ科に同定された。解剖学的特徴等を記す。

・クリ（*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.） ブナ科クリ属

環孔材で、孔隙部は3-4列、孔隙外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、單列、1-15細胞高。

・イネ科（Gramineae）

試料は、厚さ1mm以内で、中空の円筒状、あるいは破損して薄い板状を呈する。横断面では、原生木部の小径の道管の左右に1対の大型の道管があり、その外側に師部細胞がある。これらを厚壁の纖維細胞（維管束鞘）が囲んで維管束を形成する。維管束は柔組織中に散在し、不齊中心柱をなす。放射組織は認められない。

4. 考察

35号住居跡から出土した炭化材のうち、炭化物No.1は住居の隅から住居中央に向かって直線上に延びる5点の炭化材内の1点である。5点の炭化材は、同一部材に由来すると考えられており、合計で長さ215cmある。炭化物No.1は、住居の隅に近い試料で、長さは約73cmあり、床上5cmの位置から検出されている。出土状況から、垂木などの部材が推定される。樹種は落葉広葉樹のクリであり、重硬で強度・耐朽性に優れた木材が利用されていたことが推定される。一方、炭化物No.22は、住居東端の床上5cmから出土しており、出土状況から屋根材として利用された萱材の可能性が考えられている。炭化物はイネ科に同定されており、同定結果からも萱材であることが裏付けられた。萱材に利用される種類としては、ヨシ属やススキ属などが考えられ、これらのイネ科植物が屋根材に利用された可能性がある。

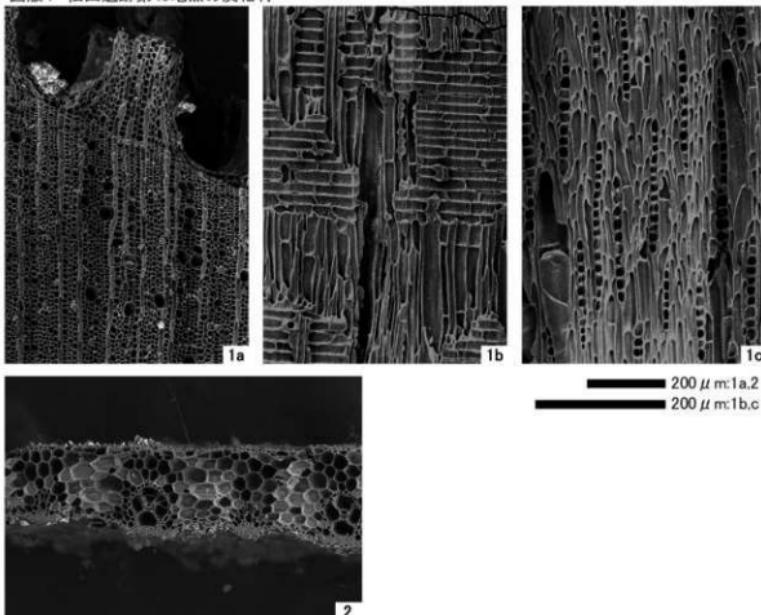
埼玉県内で、古代の住居構築材と考えられる炭化材にクリが確認された例は、勝呂廃寺（坂戸市）、谷津遺跡（富士見市）、鳩山窯跡群（鳩山町）、西久保遺跡（狭山市）、中道遺跡（志木市）、泉水山・下ノ原遺跡（朝霞市）等の報告例がある（パリノ・サーヴェイ株式会社,1989;藤根,1990;鈴木ほか,1993;藤根・吉川,1995;植田,1999;鈴木,2003）。

勝呂庵寺では、8世紀頃と考えられる資料に、針葉樹のカヤ、広葉樹のオニグルミ、ケヌギ節と共に確認されている。谷津遺跡では、平安時代とされる資料にケヌギ節とコナラ節を主体とした種類構成が認められ、クリが僅かに混じる。鳩山窯跡群では、主に8世紀後半～9世紀前半の資料にケヌギ節とコナラ節を主体とした種類構成が認められ、アカガシ亞属、クリ、モクレン属、サクラ属、ヌルデ、エゴノキ属が少數混じる。西久保遺跡では、9世紀とされる資料にクリを中心に、針葉樹の複雜管束亞属、モミ属、カヤ、広葉樹のオニグルミ、ケヌギ節、コナラ節、アカガシ亞属、ケヤキ、モモ、サクラ属が少數混じる組成である。中道遺跡では、10世紀前半とされる資料にクリを中心にコナラ節やトチノキが混じる。泉水山・下ノ原遺跡では、奈良時代とされる資料の6点中5点がクリ、1点がケヌギ節であった。これらの結果から、クリは住居構築材として比較的よく利用される木材の一つであったと考えられる。これまでの結果では、ケヌギ節やコナラ節を主体とすることが多いが、クリを主体とする事例も西久保遺跡や泉水山・下ノ原遺跡で認められる。本遺跡の35号住居跡においても、他の試料の樹種を調べ、組成を検討することが望まれる。

引用文献

- 藤根 久,1990.谷津遺跡の炭化材樹種同定.「宮脇遺跡・谷津遺跡発掘調査報告書(2)」,富士見市遺跡調査会調査報告第34集,埼玉県富士見市遺跡調査会,50-54.
- 藤根 久・吉川 純子,1995.西久保遺跡出土炭化材及び炭化種実類.「狹山市 西久保／金井上 首都圏中央連絡自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告－V－」,埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第156集,埼玉県埋蔵文化財調査事業団,293-297.
- 林 昭三,1991.日本産木材顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
- 伊東 隆夫,1995.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料,31,京都大学木質科学研究所,81-181.
- 伊東 隆夫,1996.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料,32,京都大学木質科学研究所,66-176.
- 伊東 隆夫,1997.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料,33,京都大学木質科学研究所,83-201.
- 伊東 隆夫,1998.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料,34,京都大学木質科学研究所,30-166.
- 伊東 隆夫,1999.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料,35,京都大学木質科学研究所,47-216.
- パリノ・サーヴェイ株式会社,1989.1号住居址出土炭化材同定.「勝呂庵寺 勝呂庵寺F地区(西入間警察署勝呂駐在所)発掘調査報告書」,坂戸市遺跡発掘調査団,45-47.
- 島地 謙・伊東 隆夫,1982.國説木材組織.地球社,176p.
- 鈴木 三男,2003.泉水山・富士谷遺跡第16地区焼失住居址の炭化材.「埼玉県朝霞市 泉水山・下ノ原遺跡Ⅱ 1981年度発掘調査報告書 第二分冊」,朝霞市泉水山・下ノ原遺跡調査会,763-766.
- 鈴木 三男・渡辺 一・能城 修一,1993.埼玉県比企郡鳩山窯跡群(8～9世紀)出土炭化材の樹種と燃料材の用材. Ann Sci Kanazawa Univ,30,金沢大学,65-88.
- 植田 弥生,1999.城山遺跡第35地点から出土した炭化材の樹種同定.「志木市遺跡群9」,志木市の文化財第27集,埼玉県志木市教育委員会,120-126.
- Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (編),1998.広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東 隆夫・藤井 智之・佐伯 浩(日本語版監修),海青社,122p. [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.(1989)IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].

図版1 松山遺跡第45地点の炭化材



1. クリ(35号住居跡・炭化物No.1) a:木口,b:柾目,c:板目
2. イネ科(35号住居跡・炭化物No.22) イネ科